

令和4年11月定例会

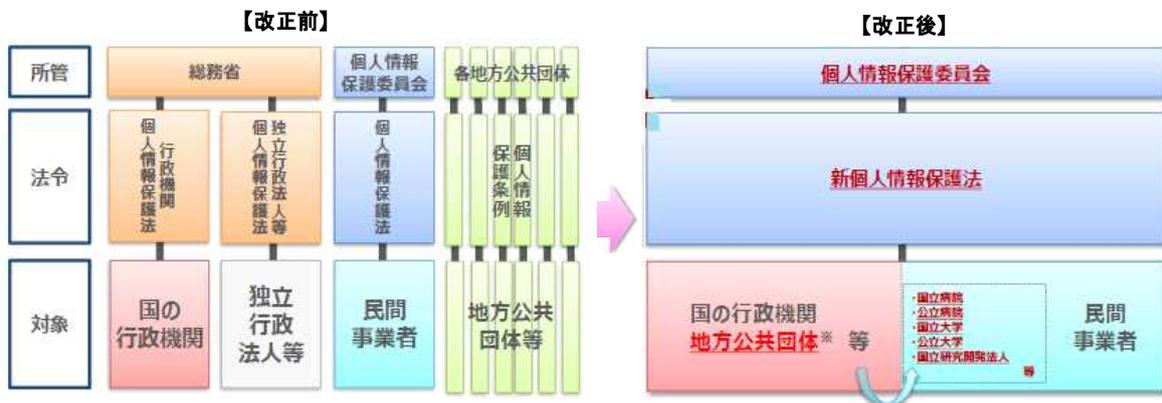
総務委員会資料

(総務部)

秋田市個人情報の保護に関する法律施行条例の設定等について

個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「法」という。）の一部改正に伴い、令和5年4月1日から個人情報保護制度が一元化されるため、新たに秋田市個人情報の保護に関する法律施行条例（以下「法施行条例」という。）を設定するものである。

また、これに伴い、現行の秋田市個人情報保護条例を廃止し、関係条例の一部改正を行う。



1 法施行条例の趣旨

法が直接適用となるため、開示請求に係る手数料など法が条例に委任する事項や法の趣旨・目的に照らし引き続き条例で定めることが許容される事項を規定するもの

2 法施行条例の主な内容

(1) 登録簿（第3条関係）

実施機関の個人情報を取り扱う事務の状況を一元的に把握し、市民等が自己に関する個人情報を的確に把握できるよう、引き続き作成し、公表するもの。名称については、国の標準例に従い、登録簿に変更するもの

(2) 開示決定等の期限等（第5条・第6条関係）

開示請求があった場合の決定期限を現行条例と実質的に同じ期間（開示請求があった日の翌日から起算して14日以内）とするもの。また、開示対象が著しく大量であるため事務処理上困難な場合の延長期限の取扱いを現行条例と同じ期間（当初の開示決定の期限から30日以内）とするもの

(3) 開示請求に係る手数料および費用負担（第7条・第8条関係）

手数料は無料とし、コピー代等の実費負担は現行と同様とするもの

(4) 運用状況の公表（第10条関係）

本市の個人情報保護制度の運用状況を明らかにするため、引き続き公表するもの

(5) 附則関係

ア 施行は、令和5年4月1日からとするもの

イ 現行の秋田市個人情報保護条例を廃止し、それに伴う経過措置を規定するもの

ウ 次に掲げる条例の一部を改正し、規定を整備するもの

(ア) 秋田市災害対策基本条例の一部改正（附則第8項関係）

引用条文を現行条例から法に改めるもの

(イ) 秋田市暴力団排除条例の一部改正（附則第9項関係）

現行条例を引用して実施機関を規定していたため、実施機関を規定し直すとともに、引用条文を法に改めるもの

(ウ) 秋田市行政不服審査法施行条例の一部改正（附則第10項関係）

審理員手続の適用除外規定から現行条例を削るもの

3 今後のスケジュール（予定）

| | |
|----------|------------------------------|
| 令和4年11月 | 法施行条例案提案 |
| 令和5年 1月～ | 個人情報保護委員会へ報告 市民、職員への内容の周知 |
| 4月 | 法および法施行条例の施行 |

議案第121号 秋田市個人情報の保護に関する法律施行条例を設定する件

秋田市災害対策基本条例新旧対照表（附則第8項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|--|
| <p>目次（略） 前文（略） 第1条～第13条（略） （災害時要援護者への支援） 第14条（略） 2 市は、前項に規定する体制の整備を行うため、 災害時要援護者に係る<u>個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）第2条第1項</u>に規定する個人情報（以下「個人情報」という。）のうち規則で定めるものについて、自主防災組織、民生委員法（昭和23年法律第198号）に規定する民生委員および地方自治法（昭和22年法律第67号）第260条の2第1項に規定する地縁による団体に対し提供し、必要な個人情報を共有させることができる。 3（略） 以下（略）</p> | <p>目次（略） 前文（略） 第1条～第13条（略） （災害時要援護者への支援） 第14条（略） 2 市は、前項に規定する体制の整備を行うため、 災害時要援護者に係る<u>秋田市個人情報保護条例（平成17年秋田市条例第11号）第2条第2号</u>に規定する個人情報（以下「個人情報」という。）のうち規則で定めるものについて、自主防災組織、民生委員法（昭和23年法律第198号）に規定する民生委員および地方自治法（昭和22年法律第67号）第260条の2第1項に規定する地縁による団体に対し提供し、必要な個人情報を共有させることができる。 3（略） 以下（略）</p> |

秋田市暴力団排除条例新旧対照表（附則第9項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| <p>第1条～第8条（略） （個人情報の収集および提供） 第9条 <u>実施機関（市長、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会、公営企業管理者、消防長および議会ならびに市が設立した地方独立行政法人（地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第2条第1項に規定する地方独立行政法人をいう。）をいう。以下同じ。）</u>は、暴力団の排除のため必要な個人情報（<u>個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）第2条第1項</u>に規定する個人情報をいう。以下同じ。）を必要かつ最小限の範囲内で収集するものとする。 2（略） 第10条（略）</p> | <p>第1条～第8条（略） （個人情報の収集および提供） 第9条 <u>秋田市個人情報保護条例（平成17年秋田市条例第11号）第2条第1号</u>に規定する実施機関（以下「実施機関」という。）は、暴力団の排除のため必要な個人情報（<u>同条第2号</u>に規定する個人情報をいう。以下同じ。）を必要かつ最小限の範囲内で収集するものとする。 2（略） 第10条（略）</p> |

秋田市行政不服審査法施行条例新旧対照表（附則第10項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|---|
| <p>目次（略）</p> <p>第1条および第2条（略）</p> <p>第2章 審理手続 （適用除外）</p> <p>第3条 法第9条第1項ただし書に規定する条例に基づく処分 で条例に特別の定めがある場合は、次の各号に掲げる 条例に基づく処分に対する審査請求がされた場合とする。</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2)（略）</p> <p>以下（略）</p> | <p>目次（略）</p> <p>第1条および第2条（略）</p> <p>第2章 審理手続 （適用除外）</p> <p>第3条 法第9条第1項ただし書に規定する条例に基づく 処分 で条例に特別の定めがある場合は、次の各号に掲げる 条例に基づく処分に対する審査請求がされた場合とする。</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) <u>秋田市個人情報保護条例（平成17年秋田市条例第11号）</u></p> <p>(3)（略）</p> <p>以下（略）</p> |

議案第122号 秋田市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する件

秋田市情報公開・個人情報保護審査会条例新旧対照表

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|--|
| <p>第1条 (略)</p> <p>(設置等)</p> <p>第2条 次に掲げる事務を行うため、秋田市情報公開・個人情報保護審査会(以下「審査会」という。)を置く。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) <u>個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号。以下「個人情報保護法」という。)第105条第3項において準用する同条第1項の規定による諮問に応じ、審査請求について調査審議すること。</u></p> <p>(3) <u>秋田市個人情報の保護に関する法律施行条例(令和4年秋田市条例第 号)第9条の規定による諮問に応じ、調査審議すること。</u></p> <p>2 (略)</p> <p>(組織)</p> <p>第3条 審査会は、委員<u>6人</u>以内をもって組織する。</p> <p>第4条 (略)</p> <p>(審査会の調査権限)</p> <p>第5条 審査会は、必要があると認めるときは、情報公開条例第17条又は<u>個人情報保護法第105条第3項において準用する同条第1項の規定により諮問をした実施機関</u>(以下この条において「諮問実施機関」という。)に対し、情報公開条例第11条各項の決定(第3項において「公文書の開示決定等」という。)に係る公文書又は<u>個人情報保護法第82条各項の決定、個人情報保護法第93条各項の決定もしくは個人情報保護法第101条各項の決定</u>(第3項において「保有個人情報の開示決定等」という。)に係る保有個人情報の提示を求めることができる。この場合においては、何人も、審査会に対し、その提示された公文書又は保有個人情報の開示を求めることができない。</p> <p>2～4 (略)</p> <p>第6条～第8条 (略)</p> <p>(提出資料の写しの送付等)</p> <p>第9条 審査会は、第5条第3項もしくは第4項もしくはは</p> | <p>第1条 (略)</p> <p>(設置等)</p> <p>第2条 次に掲げる事務を行うため、秋田市情報公開・個人情報保護審査会(以下「審査会」という。)を置く。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) <u>秋田市個人情報保護条例(平成17年秋田市条例第11号。以下「個人情報保護条例」という。)第36条の規定による諮問に応じ、審査請求について調査審議すること。</u></p> <p>(3) <u>個人情報保護条例第4条第2項第4号、第5条第2項第7号および第3項第2号、第6条第2項第6号、第7条第2号ならびに第11条第3項第5号の規定により実施機関に意見を述べること。</u></p> <p>2 (略)</p> <p>(組織)</p> <p>第3条 審査会は、委員<u>8人</u>以内をもって組織する。</p> <p>第4条 (略)</p> <p>(審査会の調査権限)</p> <p>第5条 審査会は、必要があると認めるときは、情報公開条例第17条又は<u>個人情報保護条例第36条</u>の規定により諮問をした実施機関(以下この条において「諮問実施機関」という。)に対し、情報公開条例第11条各項の決定(第3項において「公文書の開示決定等」という。)に係る公文書又は<u>個人情報保護条例第17条各項の決定、個人情報保護条例第26条各項の決定もしくは個人情報保護条例第33条各項の決定</u>(第3項において「保有個人情報の開示決定等」という。)に係る保有個人情報の提示を求めることができる。この場合においては、何人も、審査会に対し、その提示された公文書又は保有個人情報の開示を求めることができない。</p> <p>2～4 (略)</p> <p>第6条～第8条 (略)</p> <p>(提出資料の写しの送付等)</p> <p>第9条 審査会は、第5条第3項もしくは第4項又は第7</p> |

| | |
|--|---|
| <p><u>第7条の規定による意見書もしくは資料の提出又は個人情報保護法第106条第2項の規定により読み替えて適用する行政不服審査法（平成26年法律第68号）第81条第3項において準用する同法第74条もしくは同項において準用する同法第76条の規定による主張書面もしくは資料の提出があったときは、これらの意見書、資料又は主張書面の写し（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下この項および次項において同じ。）にあっては、当該電磁的記録に記載された事項を記載した書面）を当該意見書、資料又は主張書面を提出した審査請求人等以外の審査請求人等に送付するものとする。ただし、第三者の利益を害するおそれがあると認められるとき、<u>その他</u>正当な理由があるときは、この限りでない。</u></p> | <p><u>条の規定による意見書又は資料の提出があったときは、当該意見書又は資料の写し（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下この項および次項において同じ。）にあっては、当該電磁的記録に記載された事項を記載した書面）を当該意見書又は資料を提出した審査請求人等以外の審査請求人等に送付するものとする。ただし、第三者の利益を害するおそれがあると認められるとき<u>その他</u>正当な理由があるときは、この限りでない。</u></p> |
| <p>2～4 （略） （調査審議手続の非公開）</p> | <p>2～4 （略） （調査審議手続の非公開）</p> |
| <p>第10条 審査会の行う情報公開条例第17条および<u>個人情報保護法第105条第3項において準用する同条第1項の規定による諮問に係る審査請求の調査審議の手続は、公開しない。</u> （答申書の送付等）</p> | <p>第10条 審査会の行う情報公開条例第17条および<u>個人情報保護条例第36条の規定による諮問に係る審査請求の調査審議の手続は、公開しない。</u> （答申書の送付等）</p> |
| <p>第11条 審査会は、情報公開条例第17条の規定による諮問に対する答申をしたときは、答申書の写しを審査請求人および参加人に送付するとともに、答申の内容を公表するものとする。 <u>（他の制度との調整）</u></p> | <p>第11条 審査会は、情報公開条例第17条<u>又は個人情報保護条例第36条</u>の規定による諮問に対する答申をしたときは、答申書の写しを審査請求人および参加人に送付するとともに、答申の内容を公表するものとする。</p> |
| <p>第12条 <u>個人情報保護法第105条第3項において準用する同条第1項の規定による諮問に係る審査請求の調査審議の手続については、第5条第4項、第6条、第7条、第8条（同項および第6条第1項本文の規定に係る部分に限る。）ならびに第9条第2項、第3項（同条第2項の規定に係る部分に限る。）および第4項の規定にかかわらず、個人情報保護法および行政不服審査法の定めるところによる。</u></p> | |
| <p>第13条 （略）</p> | <p>第12条 （略）</p> |

議案第123号 秋田市公文書管理条例の一部を改正する件

秋田市公文書管理条例新旧対照表

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|---|
| <p>目次 (略)</p> <p>第1条～第13条 (略)</p> <p>第4章 歴史公文書等の保存、利用等 (特定歴史公文書等の保存等)</p> <p>第14条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 市長は、特定歴史公文書等に個人情報(個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)第2条第1項に規定する個人情報をいう。以下同じ。)又は死者に関する情報(死者に係る個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。))をいう。以下同じ。)が記録されている場合は、当該個人情報等の漏えいの防止のために必要な措置を講じなければならない。</p> <p>4 (略)</p> <p>第15条 (略) (本人情報等の取扱い)</p> <p>第16条 (略)</p> <p>2 次に掲げる者は、この条例の定めるところにより、市長に対し、市長の保有する死者に関する情報(当該死者を本人とするものに限る。)で当該各号に定める情報が記載された特定歴史公文書等の利用請求をすることができる。</p> <p>(1)および(2) (略)</p> <p>(3) 死亡当時未成年者であった死者の親権者 当該死者の情報が記載された特定歴史公文書等</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) 市長が公文書管理委員会の意見を聴いた上で認める者 当該死者の情報が記載された特定歴史公文書等で市長が公文書管理委員会の意見を聴いた上で認める範囲のもの</p> <p>3 (略)</p> | <p>目次 (略)</p> <p>第1条～第13条 (略)</p> <p>第4章 歴史公文書等の保存、利用等 (特定歴史公文書等の保存等)</p> <p>第14条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 市長は、特定歴史公文書等に個人情報(秋田市個人情報保護条例(平成17年秋田市条例第11号)第2条第2号に規定する個人情報をいう。以下同じ。)が記録されている場合は、当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置を講じなければならない。</p> <p>4 (略)</p> <p>第15条 (略) (本人情報等の取扱い)</p> <p>第16条 (略)</p> <p>2 次に掲げる者は、この条例の定めるところにより、市長に対し、市長の保有する死者を本人とする個人情報で当該各号に定める情報が記載された特定歴史公文書等の利用請求をすることができる。</p> <p>(1)および(2) (略)</p> <p>(3) 死亡当時未成年者であった死者の親権者 当該死者に関する情報が記載された特定歴史公文書等</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) 市長が公文書管理委員会の意見を聴いた上で認める者 当該死者に関する情報が記載された特定歴史公文書等で市長が公文書管理委員会の意見を聴いた上で認める範囲のもの</p> <p>3 (略)</p> |

第17条～第20条 (略)

(情報公開条例および情報公開・個人情報保護審査会条例の準用)

第21条 (略)

2 秋田市情報公開・個人情報保護審査会条例(平成28年秋田市条例第8号)第5条から第11条までの規定は、前条の規定による審査請求について準用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる秋田市情報公開・個人情報保護審査会条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

| (略) | | |
|-----|---|-----|
| 第5条 | (略) | |
| 第1項 | 情報公開条例第17条又は個人情報保護法第105条第3項において準用する同条第1項の規定により諮問をした実施機関(以下この条において「諮問実施機関」という。) | (略) |
| | 情報公開条例第11条各項の決定(第3項において「公文書の開示決定等」という。)に係る公文書又は個人情報保護法第82条各項の決定、個人情報保護法第93条各項の決定もしくは個人情報保護法第101条各項の決定(第3項において「保有個人情報の開示決定等」という。)に係る保有個人情報 | (略) |
| (略) | | |

| (略) | | |
|-----|---|------|
| 第9条 | (略) | |
| 第1項 | 第5条第3項もしくは第4項もしくは第7条 | (略) |
| | もしくは資料の提出又は個人情報保護法第106条第2項の規定により読み替えて適用する行政不服審査法(平成26年法律第68号)第81条第3項において準用する同法第74条もしくは同項において準用する同法第76条の規定による主張書 | 又は資料 |

第17条～第20条 (略)

(情報公開条例および情報公開・個人情報保護審査会条例の準用)

第21条 (略)

2 秋田市情報公開・個人情報保護審査会条例(平成28年秋田市条例第8号)第5条から第11条までの規定は、前条の規定による審査請求について準用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる秋田市情報公開・個人情報保護審査会条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

| (略) | | |
|-----|---|-----|
| 第5条 | (略) | |
| 第1項 | 情報公開条例第17条又は個人情報保護条例第36条の規定により諮問をした実施機関(以下この条において「諮問実施機関」という。) | (略) |
| | 情報公開条例第11条各項の決定(第3項において「公文書の開示決定等」という。)に係る公文書又は個人情報保護条例第17条各項の決定、個人情報保護条例第26条各項の決定もしくは個人情報保護条例第33条各項の決定(第3項において「保有個人情報の開示決定等」という。)に係る保有個人情報 | (略) |
| (略) | | |

| (略) | | |
|-----|--------------------|-----|
| 第9条 | (略) | |
| 第1項 | 第5条第3項もしくは第4項又は第7条 | (略) |
| | | |

| | | |
|------|---|-----------|
| | 面もしくは資料 | |
| | これらの意見書、資料又は主張書面 | 当該意見書又は資料 |
| | 当該意見書、資料又は主張書面 | 当該意見書又は資料 |
| (略) | | |
| 第10条 | (略) | |
| | 情報公開条例第17条および個人情報保護法第105条第3項において準用する同条第1項 | (略) |
| 第11条 | (略) | |
| | 情報公開条例第17条 | (略) |

以下 (略)

| | | |
|------|---------------------------|-----|
| | | |
| (略) | | |
| 第10条 | (略) | |
| | 情報公開条例第17条および個人情報保護条例第36条 | (略) |
| 第11条 | (略) | |
| | 情報公開条例第17条又は個人情報保護条例第36条 | (略) |

以下 (略)

秋田市職員の定年等に関する条例の一部を改正する件ほか5件について
(議案第124号～第129号)

改正理由

地方公務員法の一部改正（令和3年法律第63号）に伴い、職員の定年等について改めるとともに、規定を整備するため、必要な関係例規を改正しようとするもの

1 改正等が必要な関係例規および主な改正の概要

(1) 秋田市職員の定年等に関する条例（議案第124号）

ア 職員の定年を、現行60歳から2年に1歳ずつ段階的に引き上げて65歳とする。
(第3条、附則第2項)

| | | | | | | |
|----|-----|--------------|--------------|---------------|----------------|-------------|
| | 現行 | R5年度 R6年度 | R7年度 R8年度 | R9年度 R10年度 | R11年度 R12年度 | R13年度 以降 |
| 定年 | 60歳 | 61歳 | 62歳 | 63歳 | 64歳 | 65歳 |

イ 組織の新陳代謝を確保し、組織活力を維持するため、課長補佐級以上の管理監督職にある職員を、60歳となる年度の翌年度の4月1日に管理監督職以外の職に異動させる。
(第6条～第12条)

ウ 職員の多様な働き方のニーズに対応するため、60歳以降に退職した職員を、本人の意向を踏まえた上で定年前再任用短時間勤務職員として再任用する（任期は定年退職日まで）。
(第13条)

エ 60歳に到達する前年度に任用、給与等に関する情報提供を行い、60歳以降の勤務の意思を確認する。
(附則第3項、改正条例附則第21項)

オ 暫定再任用職員制度については、定年引上げ前の再任用制度と同様の取扱いとする。
(改正条例附則第5項～第12項)

カ 秋田市職員の再任用に関する条例を廃止する。(改正条例附則第22項)

(2) 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例等
(議案第125号)

次の5条例について、所要の規定の整備を行う。

- ・ 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例
- ・ 秋田市職員の育児休業等に関する条例
- ・ 秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- ・ 秋田市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例
- ・ 秋田市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例

(3) 秋田市職員給与条例等（議案第126号）

ア 職員の給料月額を60歳に達した日以後に7割水準とする。

（附則第17項）

イ 定年前再任用短時間勤務職員および暫定再任用職員の給料月額について、
現行の再任用職員に適用する給料表によることとする。

（第4条、改正条例附則第3項～第9項）

ウ 秋田市職員の懲戒の**手続及び効果に関する条例**の一部を改正し、懲戒による減給処分後に7割水準措置となった場合、減給の額は7割水準措置後の給料月額で算定することができるように改める。

（第2条関係）

エ 次の6条例について、所要の規定の整備を行う。

- ・ 秋田市公営企業職員の給与に関する条例
- ・ 秋田市職員の育児休業等に関する条例
- ・ 秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- ・ 秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例
- ・ 秋田市職員の修学部分休業に関する条例
- ・ 秋田市職員の高齢者部分休業に関する条例

(4) 秋田市職員の降給の事由に関する条例（議案第127号）

ア 給料月額を7割水準とする措置を、職員の意に反する降給とする。

イ 秋田市職員の**分限に関する手続及び効果に関する条例**の一部を改正し、
所要の規定の整備を行う。

(5) 秋田市職員の退職手当に関する条例（議案第128号）

60歳に達した日以後に定年前の退職を選択した職員が不利にならないよう、
定年を理由とする退職と同様に退職手当を算定する。

（附則第21項～第29項）

(6) 秋田市職員定数条例（議案第129号）

市長の事務部局の職員等の定数を改める。

2 施行期日

一部を除き、令和5年4月1日から施行

議案第124号 秋田市職員の定年等に関する条例の一部を改正する件

秋田市職員の定年等に関する条例新旧対照表

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|---|
| <p>目次</p> <p><u>第1章 総則（第1条）</u></p> <p><u>第2章 定年制度（第2条—第5条）</u></p> <p><u>第3章 管理監督職務上限年齢制（第6条—第12条）</u></p> <p><u>第4章 定年前再任用短時間勤務制（第13条）</u></p> <p><u>第5章 雑則（第14条）</u></p> <p>附則</p> <p><u>第1章 総則</u></p> <p>（趣旨）</p> <p>第1条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号。以下「法」という。）第22条の4第1項および第2項、第28条の2、第28条の5、第28条の6第1項から第3項までならびに第28条の7の規定に基づき、職員の定年等に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p><u>第2章 定年制度</u></p> <p>第2条 （略）</p> <p>（定年）</p> <p>第3条 職員の定年は、年齢<u>65年</u>とする。ただし、医師の定年は、年齢70年とする。</p> <p>（定年による退職の特例）</p> <p>第4条 任命権者は、定年に達した職員が第2条の規定により退職すべきこととなる場合において、次に掲げる事由があると認めるときは、<u>同条の規定にかかわらず、当該職員に係る定年退職日の翌日から起算して1年を超えない範囲内で期限を定め、当該職員を当該定年退職日において従事している職務に従事させるため、引き続き勤務させることができる。ただし、第9条の規定により異動期間（同条第1項に規定する異動期間をいう。以下この項および次項において同じ。）（同条第1項又は第2項の規定により延長された異動期間を含む。）を延長した職員であって、定年退職日において管理監督職（第6条に規定する職をいう。以下この条および次章において同じ。）を占めている職員については、第9条第1項又は第2項の規定により当該異動期間を延長した場合であって、引き続き勤務させることについて市長の承認を得たときに限るものとし、当該期限は、当該職員が占めている管理監督職に係る異動期間の末日の翌日から起算して3年を超えることができない。</u></p> <p>（1）当該職務が高度の知識、技能又は経験を必要とする</p> | <p>（趣旨）</p> <p>第1条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第28条の2第1項から第3項までおよび第28条の3の規定に基づき、職員の定年等に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>第2条 （略）</p> <p>（定年）</p> <p>第3条 職員の定年は、年齢<u>60年</u>とする。ただし、医師の定年は、年齢65年とする。</p> <p>（定年による退職の特例）</p> <p>第4条 任命権者は、定年に達した職員が第2条の規定により退職すべきこととなる場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、<u>その職員に係る定年退職日の翌日から起算して1年を超えない範囲内で期限を定め、その職員を当該職務に従事させるため引き続き勤務させることができる。</u></p> <p>（1）当該職務が高度の知識、技能又は経験を必要とする</p> |

ものであるため、当該職員の退職により生ずる欠員を容易に補充することができず公務の運営に著しい支障が生ずること。

(2) 当該職務に係る勤務環境その他の勤務条件に特殊性があるため、当該職員の退職による欠員を容易に補充することができず公務の運営に著しい支障が生ずること。

(3) 当該職務を担当する者の交替が当該業務の遂行上重大な障害となる特別の事情があるため、当該職員の退職により公務の運営に著しい支障が生ずること。

2 任命権者は、前項の期限又はこの項の規定により延長された期限が到来する場合において、前項各号に掲げる事由が引き続きあると認めるときは、市長の承認を得て、これらの期限の翌日から起算して1年を超えない範囲内で期限を延長することができる。ただし、当該期限は、当該職員に係る定年退職日（同項ただし書に規定する職員にあっては、当該職員が占めている管理監督職に係る異動期間の末日）の翌日から起算して3年を超えることができない。

3 任命権者は、第1項の規定により職員を引き続き勤務させる場合又は前項の規定により期限を延長する場合には、当該職員の同意を得なければならない。

4 任命権者は、第1項の規定により引き続き勤務することとされた職員および第2項の規定により期限が延長された職員について、第1項の期限又は第2項の規定により延長された期限が到来する前に第1項各号に掲げる事由がなくなったと認めるときは、当該職員の同意を得て、期日を定めて当該期限を繰り上げるものとする。

5 (略)

第5条 (略)

第3章 管理監督職勤務上限年齢制

(管理監督職勤務上限年齢制の対象となる管理監督職)

第6条 法第28条の2第1項に規定する条例で定める職は、次に掲げる職（医師が占める職を除く。）とする。

(1) 秋田市職員給与条例（昭和28年秋田市条例第4号）

第13条の2第1項又は秋田市公営企業職員の給与に関する条例（昭和28年秋田市条例第17号）第10条の2に規定する管理職手当を支給される職員の職

(2) 前号に掲げる職に準ずる職として規則で定める職

(管理監督職勤務上限年齢)

第7条 法第28条の2第1項に規定する管理監督職勤務上限年齢は、年齢60年とする。

(他の職への降任等を行うに当たって遵守すべき基準)

第8条 任命権者は、法第28条の2第4項に規定する他の

ものであるため、その職員の退職により公務の運営に著しい支障が生ずるとき。

(2) 当該職務に係る勤務環境その他の勤務条件に特殊性があるため、その職員の退職による欠員を容易に補充することができないとき。

(3) 当該職務を担当する者の交替がその業務の遂行上重大な障害となる特別の事情があるため、その職員の退職により公務の運営に著しい支障が生ずるとき。

2 任命権者は、前項の期限又はこの項の規定により延長された期限が到来する場合において、前項の事由が引き続き存すると認めるときは、市長の承認を得て、1年を超えない範囲内で期限を延長することができる。ただし、その期限は、その職員に係る定年退職日の翌日から起算して3年を超えることができない。

3 任命権者は、第1項の規定により職員を引き続き勤務させる場合又は前項の規定により期限を延長する場合には、当該職員の同意を得なければならない。

4 任命権者は、第1項の期限又は第2項の規定により延長された期限が到来する前に第1項の事由が存しなくなったと認めるときは、当該職員の同意を得て、期日を定めてその期限を繰り上げて退職させることができる。

5 (略)

第5条 (略)

職への降任等（以下この章において「他の職への降任等」という。）を行うに当たっては、法第13条、第15条、第23条の3、第27条第1項および第56条に定めるもののほか、次に掲げる基準を遵守しなければならない。

(1) 当該職員の人事評価の結果又は勤務の状況および職務経歴等に基づき、降任又は転任（降給を伴う転任に限る。）（以下この条および第10条において「降任等」という。）をしようとする職の属する職制上の段階の標準的な職に係る法第15条の2第1項第5号に規定する標準職務遂行能力（次条第3項において「標準職務遂行能力」という。）および当該降任等をしようとする職についての適性を有すると認められる職に、降任等をする。

(2) 人事の計画その他の事情を考慮した上で、管理監督職以外の職のうちできる限り上位の職制上の段階に属する職に、降任等をする。

(3) 当該職員の他の職への降任等をする際に、当該職員が占めていた管理監督職が属する職制上の段階より上位の職制上の段階に属する管理監督職を占める職員（以下この号において「上位職職員」という。）の他の職への降任等もする場合には、第1号に掲げる基準に従った上での状況その他の事情を考慮してやむを得ないと認められる場合を除き、上位職職員の降任等をした職が属する職制上の段階と同じ職制上の段階又は当該職制上の段階より下位の職制上の段階に属する職に、降任等をする。

（管理監督職勤務上限年齢による降任等および管理監督職への任用の制限の特例）

第9条 任命権者は、他の職への降任等をすべき管理監督職を占める職員について、次に掲げる事由があると認めるときは、当該職員が占める管理監督職に係る異動期間（当該管理監督職に係る管理監督職勤務上限年齢に達した日の翌日から同日以後における最初の4月1日までの間をいう。以下この章において同じ。）の末日の翌日から起算して1年を超えない期間内（当該期間内に定年退職日がある職員にあっては、当該異動期間の末日の翌日から定年退職日までの期間内。第3項において同じ。）で当該異動期間を延長し、引き続き当該管理監督職を占める職員に、当該管理監督職を占めたまま勤務をさせることができる。

(1) 当該職務が高度の知識、技能又は経験を必要とするものであるため、当該職員の他の職への降任等により生ずる欠員を容易に補充することができず公務の運営に著しい支障が生ずること。

(2) 当該職務に係る勤務環境その他の勤務条件に特殊性があるため、当該職員他の職への降任等による欠員を容易に補充することができず公務の運営に著しい支障が生ずること。

(3) 当該職務を担当する者の交替が当該業務の遂行上重大な障害となる特別の事情があるため、当該職員他の職への降任等により公務の運営に著しい支障が生ずること。

2 任命権者は、前項又はこの項の規定により異動期間（これらの規定により延長された期間を含む。）が延長された管理監督職を占める職員について、前項各号に掲げる事由が引き続きあると認めるときは、市長の承認を得て、延長された当該異動期間の末日の翌日から起算して1年を超えない期間内（当該期間内に定年退職日がある職員にあっては、延長された当該異動期間の末日の翌日から定年退職日までの期間内。第4項において同じ。）で延長された当該異動期間を更に延長することができる。ただし、更に延長される当該異動期間の末日は、当該職員が占める管理監督職に係る異動期間の末日の翌日から起算して3年を超えない。

3 任命権者は、第1項の規定により異動期間を延長することができる場合を除き、他の職への降任等をすべき特定管理監督職群（職務の内容が相互に類似する複数の管理監督職であつて、これらの欠員を容易に補充することができない年齢別構成その他の特別の事情がある管理監督職として規則で定める管理監督職をいう。以下この項において同じ。）に属する管理監督職を占める職員について、当該特定管理監督職群に属する管理監督職の属する職制上の段階の標準的な職に係る標準職務遂行能力および当該管理監督職についての適性を有すると認められる職員（当該管理監督職に係る管理監督職勤務上限年齢に達した職員を除く。）の数が当該管理監督職の数に満たない等の事情があるため、当該職員他の職への降任等により当該管理監督職に生ずる欠員を容易に補充することができず業務の遂行に重大な障害が生ずると認めるときは、当該職員が占める管理監督職に係る異動期間の末日の翌日から起算して1年を超えない期間内で当該異動期間を延長し、引き続き当該管理監督職を占めている職員に当該管理監督職を占めたまま勤務をさせ、又は当該職員を当該管理監督職が属する特定管理監督職群の他の管理監督職に降任し、もしくは転任することができる。

4 任命権者は、第1項もしくは第2項の規定により異動期間（これらの規定により延長された期間を含む。）が

延長された管理監督職を占める職員について前項に規定する事由があると認めるとき（第2項の規定により延長された当該異動期間を更に延長することができるときを除く。）、又は前項もしくはこの項の規定により異動期間（前3項又はこの項の規定により延長された期間を含む。）が延長された管理監督職を占める職員について前項に規定する事由が引き続きあると認めるときは、市長の承認を得て、延長された当該異動期間の末日の翌日から起算して1年を超えない期間内で延長された当該異動期間を更に延長することができる。

（異動期間の延長等に係る職員の同意）

第10条 任命権者は、前条の規定により異動期間を延長する場合および同条第3項の規定により他の管理監督職に降任等をする場合には、あらかじめ職員の同意を得なければならない。

（延長した異動期間の期限の繰上げ）

第11条 任命権者は、第9条第1項又は第2項の規定により異動期間を延長した場合において、当該異動期間の末日の到来前に同条第4項の規定を適用しようとするときは、当該異動期間の期限を繰り上げることができる。

（異動期間の延長事由が消滅した場合の措置）

第12条 任命権者は、第9条の規定により異動期間を延長した場合において、当該異動期間の末日の到来前に当該異動期間の延長の事由が消滅したときは、他の職への降任等をするものとする。

第4章 定年前再任用短時間勤務制

（定年前再任用短時間勤務職員の任用）

第13条 任命権者は、年齢60年に達した日以後に退職（臨時的に任用される職員その他の法律により任期を定めて任用される職員および非常勤職員が退職する場合を除く。）をした者（以下この条において「年齢60年以上退職者」という。）を、従前の勤務実績その他の規則で定める情報に基づく選考により、短時間勤務の職（当該職を占める職員の1週間当たりの通常の勤務時間が、常時勤務を要する職でその職務が当該短時間勤務の職と同種の職を占める職員の1週間当たりの通常の勤務時間に比し短い時間である職をいう。以下この条において同じ。）に採用することができる。ただし、年齢60年以上退職者がその者を採用しようとする短時間勤務の職に係る定年退職日相当日（短時間勤務の職を占める職員が、常時勤務を要する職でその職務が当該短時間勤務の職と同種の職を占めているものとした場合における定年退職日をいう。）を経過した者であるときは、この限りでない。

第5章 雑則

(委任)

第14条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 (略)

(定年に関する経過措置)

2 令和5年4月1日から令和13年3月31日までの間における第3条の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる期間の区分に応じ、同条本文中「65年」とあるのはそれぞれ同表の中欄に掲げる字句と、同条ただし書中「70年」とあるのはそれぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

| | | |
|-------------------------|-----|-----|
| 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで | 61年 | 66年 |
| 令和7年4月1日から令和9年3月31日まで | 62年 | 67年 |
| 令和9年4月1日から令和11年3月31日まで | 63年 | 68年 |
| 令和11年4月1日から令和13年3月31日まで | 64年 | 69年 |

(情報の提供および勤務の意思の確認)

3 任命権者は、当分の間、職員（臨時的に任用される職員その他の法律により任期を定めて任用される職員、非常勤職員および第3条ただし書に規定する職員を除く。以下この項において同じ。）が年齢60年に達する日の属する年度の前年度（以下この項において「情報の提供および勤務の意思の確認を行うべき年度」という。）（情報の提供および勤務の意思の確認を行うべき年度に職員でなかった者で、当該情報の提供および勤務の意思の確認を行うべき年度の末日後に採用された職員（異動等により情報の提供および勤務の意思の確認を行うべき年度の末日を経過することとなった職員（以下この項において「末日経過職員」という。）を除く。）にあつては当該職員が採用された日から同日の属する年度の末日までの期間、末日経過職員にあつては当該職員の異動等の日が属する年度（当該日が年度の初日である場合は、当該年度の前年度））において、当該職員に対し、当該職員が年齢60年に達する日以後に適用される任用および給与に関する措置の内容その他の必要な情報を提供するものとするとともに、同日の翌日以後における勤務の意思を確認するよう努めるものとする。

附 則

1 (略)

(経過措置)

2 第4条の規定は、地方公務員法の一部を改正する法律（昭和56年法律第92号）附則第3条の規定により職員が退職すべきこととなる場合について準用する。この場合において、第4条第1項中「第2条」とあるのは「地方公務員法の一部を改正する法律（昭和56年法律第92号）附則第3条」と、同項および同条第2項中「その職員に係る定年退職日」とあるのは「昭和60年3月31日」と読み替えるものとする。

議案第125号 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例等の一部を改正する件

外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例新旧対照表（第1条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|---|
| <p>第1条（略） （職員の派遣）</p> <p>第2条（略）</p> <p>2 法第2条第1項に規定する条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)～(4)（略）</p> <p>(5) <u>秋田市職員の定年等に関する条例第9条の規定により同条第1項に規定する異動期間（同条の規定により延長された期間を含む。）を延長された同条例第4条第1項に規定する管理監督職を占める職員</u></p> <p>(6)（略）</p> <p>以下（略）</p> | <p>第1条（略） （職員の派遣）</p> <p>第2条（略）</p> <p>2 法第2条第1項に規定する条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)～(4)（略）</p> <p>(5)（略）</p> <p>以下（略）</p> |

秋田市職員の育児休業等に関する条例新旧対照表（第2条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| <p>第1条（略） （育児休業をすることができない職員）</p> <p>第2条 育児休業法第2条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1) および(2)（略）</p> <p><u>(3) 秋田市職員の定年等に関する条例第9条の規定により同条第1項に規定する異動期間（同条の規定により延長された期間を含む。）を延長された同条例第4条第1項に規定する管理監督職を占める職員</u></p> <p><u>(4)</u>（略）</p> <p>第2条の2～第9条（略） （育児短時間勤務をすることができない職員）</p> <p>第10条 育児休業法第10条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1) および(2)（略）</p> <p><u>(3) 秋田市職員の定年等に関する条例第9条の規定により同条第1項に規定する異動期間（同条の規定により延長された期間を含む。）を延長された同条例第4条第1項に規定する管理監督職を占める職員</u></p> <p>第11条～第22条（略） （部分休業をすることができない職員）</p> <p>第23条 育児休業法第19条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 勤務日の日数および勤務日ごとの勤務時間を考慮して規則で定める非常勤職員以外の非常勤職員（地方公務員法第22条の4第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員（以下「<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>」という。）を除く。）</p> <p>（部分休業の承認）</p> <p>第24条 部分休業の承認は、正規の勤務時間（非常勤職員（<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>を除く。以下この条において同じ。）にあっては、当該非常勤職員について定められた勤務時間）の始め又は終わりにおいて、30分を単位として行うものとする。</p> <p>2および3（略） 以下（略）</p> | <p>第1条（略） （育児休業をすることができない職員）</p> <p>第2条 育児休業法第2条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1) および(2)（略）</p> <p><u>(3)</u>（略）</p> <p>第2条の2～第9条（略） （育児短時間勤務をすることができない職員）</p> <p>第10条 育児休業法第10条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1) および(2)（略）</p> <p>第11条～第22条（略） （部分休業をすることができない職員）</p> <p>第23条 育児休業法第19条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 勤務日の日数および勤務日ごとの勤務時間を考慮して規則で定める非常勤職員以外の非常勤職員（地方公務員法第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員（以下「<u>再任用短時間勤務職員</u>」という。）を除く。）</p> <p>（部分休業の承認）</p> <p>第24条 部分休業の承認は、正規の勤務時間（非常勤職員（<u>再任用短時間勤務職員</u>を除く。以下この条において同じ。）にあっては、当該非常勤職員について定められた勤務時間）の始め又は終わりにおいて、30分を単位として行うものとする。</p> <p>2および3（略） 以下（略）</p> |

秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例新旧対照表（第3条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|---|
| <p>第1条（略） （1週間の勤務時間）</p> <p>第2条（略）</p> <p>2（略）</p> <p>3 地方公務員法第22条の4第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員（以下「<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>」という。）の勤務時間は、第1項の規定にかかわらず、休憩時間を除き、4週間を超えない期間につき1週間当たり15時間30分から31時間までの範囲内で、任命権者が定める。</p> <p>4および5（略） （週休日および勤務時間の割振り）</p> <p>第3条 日曜日および土曜日は、週休日（勤務時間を割り振らない日をいう。以下同じ。）とする。ただし、任命権者は、育児短時間勤務職員等については、必要に応じ、当該育児短時間勤務等の内容に従いこれらの日に加えて月曜日から金曜日までの5日間において週休日を設けるものとし、<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>および任期付短時間勤務職員については、日曜日および土曜日に加えて月曜日から金曜日までの5日間において週休日を設けることができる。</p> <p>2 任命権者は、月曜日から金曜日までの5日間において、1日につき7時間45分の勤務時間を割り振るものとする。ただし、育児短時間勤務職員等については、1週間ごとの期間について、当該育児短時間勤務等の内容に従い1日につき7時間45分を超えない範囲内で勤務時間を割り振るものとし、<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>および任期付短時間勤務職員については、1週間ごとの期間について、1日につき7時間45分を超えない範囲内で勤務時間を割り振るものとする。</p> <p>第4条（略）</p> <p>2 任命権者は、前項の規定により週休日および勤務時間の割振りを定める場合には、規則の定めるところにより、4週間ごとの期間につき8日の週休日（育児短時間勤務職員等にあつては8日以上で当該育児短時間勤務等の内容に従った週休日、<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>および任期付短時間勤務職員にあつては8日以上で当該公署の特殊の必要（育児短時間勤務職員等にあつては、当該育児短時間勤務等の内容）により、4週間ごとの期間につき8日（育児短時間勤務職員等、<u>定年前再</u></p> | <p>第1条（略） （1週間の勤務時間）</p> <p>第2条（略）</p> <p>2（略）</p> <p>3 地方公務員法第28条の4第1項又は第28条の5第1項の規定により採用された職員で同項に規定する短時間勤務の職を占めるもの（以下「<u>再任用短時間勤務職員</u>」という。）の勤務時間は、第1項の規定にかかわらず、休憩時間を除き、4週間を超えない期間につき1週間当たり15時間30分から31時間までの範囲内で、任命権者が定める。</p> <p>4および5（略） （週休日および勤務時間の割振り）</p> <p>第3条 日曜日および土曜日は、週休日（勤務時間を割り振らない日をいう。以下同じ。）とする。ただし、任命権者は、育児短時間勤務職員等については、必要に応じ、当該育児短時間勤務等の内容に従いこれらの日に加えて月曜日から金曜日までの5日間において週休日を設けるものとし、<u>再任用短時間勤務職員</u>および任期付短時間勤務職員については、日曜日および土曜日に加えて月曜日から金曜日までの5日間において週休日を設けることができる。</p> <p>2 任命権者は、月曜日から金曜日までの5日間において、1日につき7時間45分の勤務時間を割り振るものとする。ただし、育児短時間勤務職員等については、1週間ごとの期間について、当該育児短時間勤務等の内容に従い1日につき7時間45分を超えない範囲内で勤務時間を割り振るものとし、<u>再任用短時間勤務職員</u>および任期付短時間勤務職員については、1週間ごとの期間について、1日につき7時間45分を超えない範囲内で勤務時間を割り振るものとする。</p> <p>第4条（略）</p> <p>2 任命権者は、前項の規定により週休日および勤務時間の割振りを定める場合には、規則の定めるところにより、4週間ごとの期間につき8日の週休日（育児短時間勤務職員等にあつては8日以上で当該育児短時間勤務等の内容に従った週休日、<u>再任用短時間勤務職員</u>および任期付短時間勤務職員にあつては8日以上で当該公署の特殊の必要（育児短時間勤務職員等にあつては、当該育児短時間勤務等の内容）により、4週間ごとの期間につき8日（育児短時間勤務職員等、<u>再任用短時間勤務</u></p> |

任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員にあつては、8日以上)の週休日を設けることが困難である職員について、規則の定めるところにより、4週間を超えない期間につき1週間当たり1日以上の割合で週休日(育児短時間勤務職員等にあつては、4週間を超えない期間につき1週間当たり1日以上の割合で当該育児短時間勤務等の内容に従った週休日)を設ける場合には、この限りでない。

第5条～第11条 (略)

(年次有給休暇)

第12条 年次有給休暇は、1の年ごとにおける休暇とし、その日数は、1の年において、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる日数とする。

(1) 次号および第3号に掲げる職員以外の職員 20日
(育児短時間勤務職員等、定年前再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員にあつては、その者の勤務時間等を考慮し20日を超えない範囲内で規則で定める日数)

(2)および(3) (略)

2および3 (略)

第13条～第17条 (略)

(非常勤職員の勤務時間、休暇等)

第18条 非常勤職員(定年前再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員を除く。)の勤務時間、休暇等については、第2条から前条までの規定にかかわらず、その職務の性質等を考慮して、規則の定める基準に従い、任命権者が定める。

職員および任期付短時間勤務職員にあつては、8日以上)の週休日を設けることが困難である職員について、規則の定めるところにより、4週間を超えない期間につき1週間当たり1日以上の割合で週休日(育児短時間勤務職員等にあつては、4週間を超えない期間につき1週間当たり1日以上の割合で当該育児短時間勤務等の内容に従った週休日)を設ける場合には、この限りでない。

第5条～第11条 (略)

(年次有給休暇)

第12条 年次有給休暇は、1の年ごとにおける休暇とし、その日数は、1の年において、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる日数とする。

(1) 次号および第3号に掲げる職員以外の職員 20日
(育児短時間勤務職員等、再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員にあつては、その者の勤務時間等を考慮し20日を超えない範囲内で規則で定める日数)

(2)および(3) (略)

2および3 (略)

第13条～第17条 (略)

(非常勤職員の勤務時間、休暇等)

第18条 非常勤職員(再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員を除く。)の勤務時間、休暇等については、第2条から前条までの規定にかかわらず、その職務の性質等を考慮して、規則の定める基準に従い、任命権者が定める。

秋田市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例新旧対照表（第4条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| <p>第1条 （略） （職員の派遣）</p> <p>第2条 （略）</p> <p>2 法第2条第1項に規定する条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)～(4) （略）</p> <p><u>(5) 秋田市職員の定年等に関する条例第9条の規定により同条第1項に規定する異動期間（同条の規定により延長された期間を含む。）を延長された同条例第4条第1項に規定する管理監督職を占める職員</u></p> <p>(6) （略）</p> <p>3 （略）</p> <p>第3条～第10条 （略） （法第10条第1項に規定する条例で定める職員）</p> <p>第11条 法第10条第1項に規定する条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)～(4) （略）</p> <p><u>(5) 秋田市職員の定年等に関する条例第9条の規定により同条第1項に規定する異動期間（同条の規定により延長された期間を含む。）を延長された同条例第4条第1項に規定する管理監督職を占める職員</u></p> <p>(6) （略）</p> <p>以下 （略）</p> | <p>第1条 （略） （職員の派遣）</p> <p>第2条 （略）</p> <p>2 法第2条第1項に規定する条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)～(4) （略）</p> <p>(5) （略）</p> <p>3 （略）</p> <p>第3条～第10条 （略） （法第10条第1項に規定する条例で定める職員）</p> <p>第11条 法第10条第1項に規定する条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)～(4) （略）</p> <p>(5) （略）</p> <p>以下 （略）</p> |

秋田市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例新旧対照表（第5条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|---|
| <p>第1条および第2条（略） （報告事項）</p> <p>第3条 前条の規定により人事行政の運営の状況に関し、任命権者が報告しなければならない事項は、職員（臨時に任用された職員および非常勤職員（地方公務員法第22条の2第1項第2号に掲げる職員および同法第22条の4第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員を除く。）を除く。以下同じ。）に係る次に掲げる事項とする。</p> <p>(1)～(11)（略）</p> <p>以下（略）</p> | <p>第1条および第2条（略） （報告事項）</p> <p>第3条 前条の規定により人事行政の運営の状況に関し、任命権者が報告しなければならない事項は、職員（臨時に任用された職員および非常勤職員（地方公務員法第22条の2第1項第2号に掲げる職員および同法第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員を除く。）を除く。以下同じ。）に係る次に掲げる事項とする。</p> <p>(1)～(11)（略）</p> <p>以下（略）</p> |

議案第126号 秋田市職員給与条例等の一部を改正する件

秋田市職員給与条例新旧対照表（第1条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|---|
| <p>第1条および第2条（略） （給料表等）</p> <p>第3条 法第3条第2項に規定する一般職に属する職員（法第57条に規定する単純な労務に雇用される者（以下「単純労務職員」という。）および非常勤の職員（<u>法第22条の4第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員を除く。以下同じ。</u>）を除く。以下「職員」という。）の職務は、その複雑、困難および責任の度に基づきこれを給料表に定める職務の級に分類する。</p> <p>2～5（略） （昇給等の基準）</p> <p>第4条（略） 2～5（略）</p> <p>6 法第22条の4第1項の規定により採用された職員（以下「<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>」という。）の給料月額は、<u>当該定年前再任用短時間勤務職員に適用される給料表の定年前再任用短時間勤務職員の欄に掲げる基準給料月額のうち、当該定年前再任用短時間勤務職員の属する職務の級に応じた額に、秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成7年秋田市条例第4号。以下「勤務時間条例」という。）第2条第3項の規定により定められた当該定年前再任用短時間勤務職員の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額とする。</u></p> <p>7および8（略） 第4条の2</p> <p>任期付職員条例第4条の規定により任期を定めて採用された短時間勤務職員（以下「任期付短時間勤務職員」という。）の給料月額は、前条第7項の規定にかかわらず、同項の規定による給料月額に、勤務時間条例第2条第4項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た</p> | <p>第1条および第2条（略） （給料表等）</p> <p>第3条 法第3条第2項に規定する一般職に属する職員（法第57条に規定する単純な労務に雇用される者（以下「単純労務職員」という。）および非常勤の職員（<u>法第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員を除く。以下同じ。</u>）を除く。以下「職員」という。）の職務は、その複雑、困難および責任の度に基づきこれを給料表に定める職務の級に分類する。</p> <p>2～5（略） （昇給の基準）</p> <p>第4条（略） 2～5（略）</p> <p>6 法第28条の4第1項又は第28条の5第1項の規定により採用された職員（以下「<u>再任用職員</u>」という。）の給料月額は、<u>その者に適用される給料表の再任用職員の欄に掲げる給料月額のうち、その者の属する職務の級に応じた額とする。</u></p> <p>7および8（略） 第4条の2 <u>法第28条の5第1項の規定により採用された職員（以下「再任用短時間勤務職員」という。）の給料月額は、前条第6項の規定にかかわらず、同項の規定による給料月額に、秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成7年秋田市条例第4号。以下「勤務時間条例」という。）第2条第3項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額とする。</u></p> <p>2 任期付職員条例第4条の規定により任期を定めて採用された短時間勤務職員（以下「任期付短時間勤務職員」という。）の給料月額は、前条第7項の規定にかかわらず、同項の規定による給料月額に、勤務時間条例第2条第4項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た</p> |

額とする。

第4条の3～第7条 (略)

(給料の調整額)

第7条の2 (略)

2 前項の規定にかかわらず、医療職給料表(2)の適用を受ける職員で食肉衛生検査所に勤務する職員(所長を除く。)に対して支給する給料の調整額は、当該職員に適用される給料表および職務の級に応じて規則で定める調整基本額にその者に係る規則で定める調整数を乗じて得た額(定年再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員にあっては、その額に勤務時間条例第2条第3項および第4項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額)とする。ただし、その額が給料月額100分の25を超えるときは、給料月額100分の25に相当する額とする。

第8条～第10条 (略)

(地域手当)

第10条の2 地域手当は、東京都のうち特別区の地域に在勤する職員および規則で定める地域に在勤する職員ならびに医療職給料表(1)の適用を受ける職員(定年再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員を除く。以下この条において同じ。)に支給する。

2 (略)

第10条の3 (略)

(通勤手当)

第11条 (略)

2 通勤手当の額は、次の各号に掲げる職員の区分に依り、当該各号に定める額とする。

(1) (略)

(2) 前項第2号に掲げる職員 支給単位期間につき、3万8,100円を超えない範囲内で規則で定める額(定年再任用短時間勤務職員、任期付短時間勤務職員、法第26条の2第1項に規定する修学部分休業をしている職員および法第26条の3第1項に規定する高齢者部分休業をしている職員のうち、支給単位期間当たりの通勤回数を考慮して規則で定める職員にあっては、その額から、その額に規則で定める割合を乗じて得た額を減じた額)

(3) (略)

(4) 前項第4号に掲げる職員 2,600円(定年再任用短時間勤務職員、任期付短時間勤務職員、法第26条の2第1項に規定する修学部分休業をしている職員および法第26条の3第1項に規定する高齢者部分休業をして

額とする。

第4条の3～第7条 (略)

(給料の調整額)

第7条の2 (略)

2 前項の規定にかかわらず、医療職給料表(2)の適用を受ける職員で食肉衛生検査所に勤務する職員(所長を除く。)に対して支給する給料の調整額は、当該職員に適用される給料表および職務の級に応じて規則で定める調整基本額にその者に係る規則で定める調整数を乗じて得た額(再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員にあっては、その額に勤務時間条例第2条第3項および第4項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額)とする。ただし、その額が給料月額100分の25を超えるときは、給料月額100分の25に相当する額とする。

第8条～第10条 (略)

(地域手当)

第10条の2 地域手当は、東京都のうち特別区の地域に在勤する職員および規則で定める地域に在勤する職員ならびに医療職給料表(1)の適用を受ける職員(再任用職員および任期付短時間勤務職員を除く。以下この条において同じ。)に支給する。

2 (略)

第10条の3 (略)

(通勤手当)

第11条 (略)

2 通勤手当の額は、次の各号に掲げる職員の区分に依り、当該各号に定める額とする。

(1) (略)

(2) 前項第2号に掲げる職員 支給単位期間につき、3万8,100円を超えない範囲内で規則で定める額(再任用短時間勤務職員、任期付短時間勤務職員、法第26条の2第1項に規定する修学部分休業をしている職員および法第26条の3第1項に規定する高齢者部分休業をしている職員のうち、支給単位期間当たりの通勤回数を考慮して規則で定める職員にあっては、その額から、その額に規則で定める割合を乗じて得た額を減じた額)

(3) (略)

(4) 前項第4号に掲げる職員 2,600円(再任用短時間勤務職員、任期付短時間勤務職員、法第26条の2第1項に規定する修学部分休業をしている職員および法第26条の3第1項に規定する高齢者部分休業をして

ている職員のうち、支給単位期間当たりの通勤回数を考慮して規則で定める職員にあっては、その額から、その額に規則で定める割合を乗じて得た額を減じた額)

3～6 (略)

第11条の2～第14条 (略)

(時間外勤務手当)

第15条 (略)

2 (略)

3 定年前再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員が、正規の勤務時間が割り振られた日において、正規の勤務時間を超えてした勤務のうち、その勤務の時間とその勤務をした日における正規の勤務時間との合計が7時間45分に達するまでの間の勤務に対する第1項の規定の適用については、同項中「正規の勤務時間を超えてした次に掲げる勤務の区分に応じてそれぞれ100分の125から100分の150までの範囲内で規則で定める割合」とあるのは、「100分の100」とする。

4 正規の勤務時間を超えて勤務することを命ぜられ、正規の勤務時間を超えてした勤務(勤務時間条例第3条第1項、第4条および第5条の規定に基づく週休日における勤務のうち規則で定めるものを除く。)の時間が1箇月について60時間を超えた職員には、その60時間を超えて勤務した全時間に対して、第1項の規定にかかわらず、勤務1時間について、時間給に100分の150(その勤務が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、100分の175)を乗じて得た額を時間外勤務手当として支給する。

5および6 (略)

第16条～第25条の2 (略)

(期末手当)

第26条 期末手当は、別に規則で定める者を除き、6月1日および12月1日(以下この条から第26条の3までにおいてこれらの日を「基準日」という。)にそれぞれその日に在職する職員に対してそれぞれ基準日の属する月の規則で定める日(次条および第26条の3においてこれらの日を「支給日」という。)に支給する。これらの基準日前1箇月以内に退職し、又は死亡した職員(第23条第6項の規定の適用を受ける職員および別に定める職員を除く。)については、それぞれその日に在職したものとみなし支給する。

2 (略)

3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適

職員のうち、支給単位期間当たりの通勤回数を考慮して規則で定める職員にあっては、その額から、その額に規則で定める割合を乗じて得た額を減じた額)

3～6 (略)

第11条の2～第14条 (略)

(時間外勤務手当)

第15条 (略)

2 (略)

3 再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員が、正規の勤務時間が割り振られた日において、正規の勤務時間を超えてした勤務のうち、その勤務の時間とその勤務をした日における正規の勤務時間との合計が7時間45分に達するまでの間の勤務に対する第1項の規定の適用については、同項中「正規の勤務時間を超えてした次に掲げる勤務の区分に応じてそれぞれ100分の125から100分の150までの範囲内で規則で定める割合」とあるのは、「100分の100」とする。

4 正規の勤務時間を超えて勤務することを命ぜられ、正規の勤務時間を超えてした勤務(勤務時間条例第3条第1項、第4条および第5条の規定に基づく週休日における勤務のうち規則で定めるものを除く。)の時間が1箇月について60時間を超えた職員には、その60時間を超えて勤務した全時間に対して、第1項(前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。)の規定にかかわらず、勤務1時間について、時間給に100分の150(その勤務が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、100分の175)を乗じて得た額を時間外勤務手当として支給する。

5および6 (略)

第16条～第25条の2 (略)

(期末手当)

第26条 期末手当は、別に規則で定める者を除き、6月1日および12月1日(以下この条から第26条の3までおよび附則第17項第4号においてこれらの日を「基準日」という。)にそれぞれその日に在職する職員に対してそれぞれ基準日の属する月の規則で定める日(次条および第26条の3においてこれらの日を「支給日」という。)に支給する。これらの基準日前1箇月以内に退職し、又は死亡した職員(第23条第6項の規定の適用を受ける職員および別に定める職員を除く。)については、それぞれその日に在職したものとみなし支給する。

2 (略)

3 再任用職員に対する前項の規定の適用については、同

用については、同項中「100分の117.5」とあるのは、「100分の65」とする。

4 第2項の期末手当基礎額は、それぞれその基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、又は死亡した日現在）において職員が受けるべき給料および扶養手当の月額ならびにこれらに対する地域手当の月額の合計額とする。

5および6 (略)

第26条の2および第26条の3 (略)

(勤勉手当)

第27条 勤勉手当は、6月1日および12月1日（以下この条においてこれらの日を「基準日」という。）にそれぞれ在職する職員に対し、基準日以前6箇月以内の期間における当該職員の勤務成績に応じて、それぞれ基準日の属する月の規則で定める日に支給する。これらの基準日前1箇月以内に退職し、又は死亡した職員（別に定める職員を除く。）については、それぞれその日に在職したものとみなし支給する。

2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、別に定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、勤勉手当の額の、次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。

(1) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額およびこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に100分の92.5を乗じて得た額の総額

(2) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員 当該定年前再任用短時間勤務職員の勤勉手当基礎額に100分の45を乗じて得た額の総額

3～5 (略)

第27条の2 (略)

(単純労務職員の給与の種類および基準)

第27条の3 (略)

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる者に支給される給与の種類は、当該各号に定めるものとする。

(1) 法第22条の4第1項の規定により雇用される単純労務職員 給料、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、宿日直手当、期末手当および勤勉手当

(2) (略)

項中「100分の117.5」とあるのは、「100分の65」とする。

4 第2項の期末手当基礎額は、それぞれその基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、又は死亡した日現在。附則第17項第4号において同じ。）において職員が受けるべき給料および扶養手当の月額ならびにこれらに対する地域手当の月額の合計額とする。

5および6 (略)

第26条の2および第26条の3 (略)

(勤勉手当)

第27条 勤勉手当は、6月1日および12月1日（以下この条および附則第17項第5号においてこれらの日を「基準日」という。）にそれぞれ在職する職員に対し、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の勤務成績に応じて、それぞれ基準日の属する月の規則で定める日に支給する。これらの基準日前1箇月以内に退職し、又は死亡した職員（別に定める職員を除く。）については、それぞれその日に在職したものとみなし支給する。

2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、別に定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、勤勉手当の額の、次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。

(1) 前項の職員のうち再任用職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、又は死亡した日現在。次項および附則第17項第5号において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額およびこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に100分の92.5を乗じて得た額の総額

(2) 前項の職員のうち再任用職員 当該再任用職員の勤勉手当基礎額に100分の45を乗じて得た額の総額

3～5 (略)

第27条の2 (略)

(単純労務職員の給与の種類および基準)

第27条の3 (略)

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる者に支給される給与の種類は、当該各号に定めるものとする。

(1) 法第28条の4第1項又は第28条の5第1項の規定により雇用される単純労務職員 給料、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、宿日直手当、期末手当および勤勉手当

(2) (略)

3 (略)

(定年前再任用短時間勤務職員等についての適用除外)

第27条の4 第4条第1項から第5項まで、第4条の3、第8条から第10条まで、第10条の3、第25条および第25条の2の規定は、定年前再任用短時間勤務職員には、適用しない。

2 (略)

第28条～第30条 (略)

附 則

1～16 (略)

3 (略)

(再任用職員等についての適用除外)

第27条の4 第8条から第10条まで、第10条の3、第25条および第25条の2の規定は、再任用職員には、適用しない。

2 (略)

第28条～第30条 (略)

附 則

1～16 (略)

17 令和3年3月31日までの間、職員（次の表の給料表欄に掲げる給料表の適用を受ける職員（再任用職員を除く。）のうち、その職務の級が次の表の職務の級欄に掲げる職務の級以上である者であってその号俸がその職務の級における最低の号俸でないものに限る。以下この項および次項において「特定職員」という。）に対する次に掲げる給与の支給に当たっては、当該特定職員が55歳に達した日後における最初の4月1日（特定職員以外の者が55歳に達した日後における最初の4月1日後に特定職員となった場合にあっては、特定職員となった日）以後、次の各号に掲げる給与の額から、それぞれ当該各号に定める額に相当する額を減ずる。

(1) 給料月額 当該特定職員の給料月額に100分の1を乗じて得た額（当該特定職員の給料月額に100分の99を乗じて得た額が、当該特定職員の属する職務の級における最低の号俸の給料月額に達しない場合（以下この項、附則第19項および附則第20項において「最低号俸に達しない場合」という。）にあっては、当該特定職員の給料月額から当該特定職員の属する職務の級における最低の号俸の給料月額を減じた額（以下この項および附則第19項において「給料月額減額基礎額」という。））

(2) 給料の調整額（第7条の2第1項に規定するものに限る。以下この項および附則第19項において同じ。）

当該特定職員の給料月額に対する給料の調整額の月額に100分の1を乗じて得た額（最低号俸に達しない場合にあっては、当該特定職員の給料月額から当該特定職員の属する職務の級における最低の号俸の給料月額を減じた額に100分の4を乗じて得た額（以下この項および附則第19項において「給料調整額減額基礎額」という。））

(3) 地域手当 当該特定職員の給料月額および給料月額に対する給料の調整額の月額に対する地域手当の月額に100分の1を乗じて得た額（最低号俸に達しない場

合にあつては、給料月額減額基礎額および給料調整額減額基礎額に対する地域手当の月額)

(4) 期末手当 それぞれその基準日現在において当該特定職員が受けるべき給料月額および給料月額に対する給料の調整額の月額ならびにこれらに対する地域手当の月額の合計額(第26条第5項の規定の適用を受ける職員にあつては、当該合計額に、当該合計額に同項に規定する100分の20を超えない範囲内で規則で定める割合を乗じて得た額を加算した額)に、当該特定職員に支給される期末手当に係る同条第2項各号列記以外の部分に規定する割合を乗じて得た額に、当該特定職員に支給される期末手当に係る同項各号に定める割合を乗じて得た額に、100分の1を乗じて得た額(最低号俸に達しない場合にあつては、それぞれその基準日現在において当該特定職員が受けるべき給料月額減額基礎額および給料調整額減額基礎額ならびにこれらに対する地域手当の月額の合計額(同条第5項の規定の適用を受ける職員にあつては、当該合計額に、当該合計額に同項に規定する100分の20を超えない範囲内で規則で定める割合を乗じて得た額を加算した額)に、当該特定職員に支給される期末手当に係る同条第2項各号列記以外の部分に規定する割合を乗じて得た額に、当該特定職員に支給される期末手当に係る同項各号に定める割合を乗じて得た額)

(5) 勤勉手当 それぞれその基準日現在において当該特定職員が受けるべき給料月額および給料月額に対する給料の調整額の月額ならびにこれらに対する地域手当の月額の合計額(第27条第4項において準用する第26条第5項の規定の適用を受ける職員にあつては、当該合計額に、当該合計額に同項に規定する100分の20を超えない範囲内で規則で定める割合を乗じて得た額を加算した額。附則第20項において「勤勉手当減額対象額」という。)に、当該特定職員に支給される勤勉手当に係る第27条第2項前段に規定する割合を乗じて得た額に100分の1を乗じて得た額(最低号俸に達しない場合にあつては、それぞれその基準日現在において当該特定職員が受けるべき給料月額減額基礎額および給料調整額減額基礎額ならびにこれらに対する地域手当の月額の合計額(同条第4項において準用する第26条第5項の規定の適用を受ける職員にあつては、当該合計額に、当該合計額に同項に規定する100分の20を超えない範囲内で規則で定める割合を乗じて得た額を加算した額。附則第20項において「勤勉手当減額基礎額」という。)に、当該特定職員に支給される勤勉手

当に係る第27条第2項前段に規定する割合を乗じて得た額)

(6) 第23条第1項から第6項までの規定により支給される給与 当該特定職員に適用される次に掲げる規定の区分に応じ、それぞれ次に定める額

ア 第23条第1項 前各号に定める額

イ 第23条第2項又は第3項 第1号から第4号までに定める額に100分の80を乗じて得た額

ウ 第23条第4項 第1号から第3号までに定める額に、同項の規定により当該特定職員に支給される給与に係る割合を乗じて得た額

エ 第23条第5項 第1号から第4号までに定める額に、同項の規定により当該特定職員に支給される給与に係る割合を乗じて得た額

オ 第23条第6項 第4号に定める額に100分の80を乗じて得た額 (同条第5項の規定により給与の支給を受ける職員にあっては、同号に定める額に、同項の規定により当該職員に支給される給与に係る割合を乗じて得た額)

| 給料表 | 職務の級 |
|-----------|------|
| 行政職給料表(1) | 6級 |
| 医療職給料表(2) | 6級 |

18 前項に規定するもののほか、特定職員以外の者が月の初日以外の日に特定職員となった場合における同項の減ずる額の計算その他同項の規定の実施に関し必要な事項は、別に定める。

19 附則第17項の規定により給与が減ぜられて支給される職員についての第14条から第17条までに規定する時間給は、第21条の規定にかかわらず、同条の規定により算出した時間給から、給料月額および給料月額に対する給料の調整額の月額ならびにこれらに対する地域手当の月額ならびに寒冷地手当の月額の合計額に12を乗じ、その額を1週間当たりの正規の勤務時間に52を乗じたものから規則で定める時間を減じたもので除した額に100分の1を乗じて得た額 (最低号俸に達しない場合にあっては、給料月額減額基礎額および給料調整額減額基礎額ならびにこれらに対する地域手当の月額ならびに寒冷地手当の月額の合計額に12を乗じ、その額を1週間当たりの正規の勤務時間に52を乗じたものから規則で定める時間を減じたもので除した額) に相当する額を減じた額とする。

20 附則第17項の規定が適用される間、第27条第2項第1号に定める額は、同号の規定にかかわらず、同号の規定により算出した額から、同号に掲げる職員で附則第17項の規定により給与が減ぜられて支給されるものの勤勉手

当減額対象額に100分の0.925を乗じて得た額（最低号俵に達しない場合にあつては、勤勉手当減額基礎額に100分の92.5を乗じて得た額）の総額に相当する額を減じた額とする。

17 当分の間、職員の給料月額は、当該職員が60歳に達した日後における最初の4月1日（附則第19項において「特定日」という。）以後、当該職員に適用される給料表の給料月額のうち、第3条第1項および第3項の規定により当該職員の属する職務の級ならびに第4条第2項および第5項ならびに規則の規定により当該職員の受ける号俵に応じた額に100分の70を乗じて得た額（当該額に、50銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、50銭以上1円未満の端数を生じたときはこれを1円に切り上げるものとする。）とする。

18 前項の規定は、次に掲げる職員には適用しない。

(1) 臨時的に任用される職員その他の法律により任期を定めて任用される職員および非常勤職員

(2) 秋田市職員の定年等に関する条例（昭和59年秋田市条例第13号）第3条ただし書に規定する職員

(3) 秋田市職員の定年等に関する条例第4条第1項又は第2項の規定により勤務している職員（同条例第2条に規定する定年退職日において前項の規定が適用されていた職員を除く。）

(4) 秋田市職員の定年等に関する条例第9条第1項又は第2項の規定により同条第1項に規定する異動期間（同項又は同条第2項の規定により延長された期間を含む。）を延長された同条例第6条に規定する職を占める職員

19 法第28条の2第4項に規定する他の職への降任等をされた職員であつて、当該他の職への降任等をされた日（以下この項および附則第21項において「異動日」という。）の前日から引き続き同一の給料表の適用を受ける職員のうち、特定日に附則第17項の規定により当該職員の受ける給料月額（以下この項において「特定日給料月額」という。）が異動日の前日に当該職員が受けていた給料月額に100分の70を乗じて得た額（当該額に、50銭未満の端数を生じたときはこれを切り捨て、50銭以上1円未満の端数を生じたときはこれを1円に切り上げるものとする。以下この項において「基礎給料月額」という。）に達しないこととなる職員（規則で定める職員を除く。）には、当分の間、特定日以後、附則第17項の規定により当該職員の受ける給料月額のほか、基礎給料月額と特定日給料月額との差額に相当する額を給料として支給する。

20 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員
の受ける給料月額との合計額が第3条第1項の規定に
より当該職員の属する職務の級における最高の号俸の給
料月額を超える場合における前項の規定の適用につい
ては、同項中「基礎給料月額と特定日給料月額」とあるの
は、「第3条第1項の規定により当該職員の属する職務
の級における最高の号俸の給料月額と当該職員が受ける
給料月額」とする。

21 異動日の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員
(附則第17項の規定の適用を受ける職員に限り、附則第
19項に規定する職員を除く。)であつて、同項の規定に
よる給料を支給される職員との権衡上必要があると認め
られる職員には、当分の間、当該職員が受ける給料月額
のほか、規則で定めるところにより、前2項の規定に準
じて算出した額を給料として支給する。

22 附則第19項又は前項の規定による給料を支給される職員
以外の附則第17項の規定の適用を受ける職員であつ
て、任用の事情を考慮して当該給料を支給される職員と
の権衡上必要があると認められる職員には、当分の間、
当該職員が受ける給料月額のほか、規則で定めるところ
により、前3項の規定に準じて算出した額を給料として
支給する。

23 附則第17項から前項までに定めるもののほか、附則第
17項の規定による給料月額、附則第19項の規定による給
料その他附則第17項から前項までの規定の施行に関し必
要な事項は、規則で定める。

24 (略)

25 (略)

別表第1および別表第2 別紙のとおり

以下 (略)

21 (略)

22 (略)

別表第1および別表第2 別紙のとおり

以下 (略)

改正案

別表第1 行政職給料表（第3条関係）

ア 行政職給料表(1)

| 職員 の 区分 | 職務 の 級 号 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 | 7 級 | 8 級 |
|--|-------------------|------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 |
| 定年前 再任用 短時間 勤務職 員およ び任期 付職員 以外の 職員 | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) |
| 定年前 再任用 短時間 勤務職 員 | | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 |
| | | 円 188,976 | 円 216,663 | 円 256,935 | 円 276,467 | 円 291,669 | 円 317,242 | 円 359,226 | 円 392,551 |
| 任期付 職員 | | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 |
| | 1 2 | 円 149,610 円 181,928 | | | | | | | |

現 行

別表第1 行政職給料表（第3条関係）

ア 行政職給料表(1)

| 職員 の 区分 | 職務 の 級 号 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 | 7 級 | 8 級 |
|--|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 給料 月額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) |
| 再任用 職員 | | 188,976 | 216,663 | 256,935 | 276,467 | 291,669 | 317,242 | 359,226 | 392,551 |
| 任期付 職員 | 1 | 149,610 | | | | | | | |
| | 2 | 181,928 | | | | | | | |

改 正 案

別表第2 医療職給料表（第3条関係）

ア 医療職給料表(1)

| 職員の 区分 | 職務 の級 号 俸 | 1 級 | 2 級 | 3 級 |
|--|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 |
| 定年前 再任用 短時間 勤務職 員およ び任期 付職員 以外の 職員 | (略) | (略) | (略) | (略) |
| 定年前 再任用 短時間 勤務職 員 | | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 |
| | | 円 296,200 | 円 338,600 | 円 393,000 |
| 任期付 職員 | | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 |
| | | 円 272,600 | | |

現 行

別表第2 医療職給料表（第3条関係）

ア 医療職給料表(1)

| 職員の 区分 | 職務 の級 号 俸 | 1 級 | 2 級 | 3 級 |
|--|-----------------|------------|------------|------------|
| | | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | (略) | (略) | (略) | (略) |
| 再任用 職員 | | 296,200 | 338,600 | 393,000 |
| | | | | |
| 任期付 職員 | | 272,600 | | |
| | | | | |

改 正 案

イ 医療職給料表(2)

| 職員の 区分 | 職務 の級 号 俸 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 |
|--|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| | | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 |
| 定年前 再任用 短時間 勤務職 員およ び任期 付職員 以外の 職員 | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) |
| 定年前 再任用 短時間 勤務職 員 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 | 基 準 給料月額 |
| | 円 189,983 | 円 216,764 | 円 245,155 | 円 258,646 | 円 284,018 | 円 324,995 | |
| 任期付 職員 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 |
| | | 円 188,170 | | | | | |

現 行

イ 医療職給料表(2)

| 職員の 区分 | 職務 の級 号 俸 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 |
|--|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 給 料 月 額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) | (略) |
| 再任用 職員 | | 189,983 | 216,764 | 245,155 | 258,646 | 284,018 | 324,995 |
| 任期付 職員 | | | 188,170 | | | | |

秋田市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例新旧対照表（第2条関係）

| 改正案 | 現行 |
|--|--|
| <p>第1条および第2条（略） （減給の効果）</p> <p>第3条 減給は、1日以上6月以下の期間、その発令の日に<u>受ける給料</u>（地方公務員法第22条の2第1項第1号に掲げる職員にあっては、秋田市会計年度任用職員の給与等に関する条例（令和元年秋田市条例第22号）第2条第1項第1号に規定する基本報酬）の<u>額の10分の1以下に相当する額を、給与から減ずるものとする。この場合において、その減ずる額が現に受ける給料（同条例第15条第1項の給料を除く。）の額の10分の1に相当する額を超えるときは、当該額を給与から減ずるものとする。</u></p> <p>以下（略）</p> | <p>第1条および第2条（略） （減給の効果）</p> <p>第3条 減給は、1日以上6月以下<u>給料</u>（地方公務員法第22条の2第1項第1号に掲げる職員にあっては、秋田市会計年度任用職員の給与等に関する条例（令和元年秋田市条例第22号）第2条第1項第1号に規定する基本報酬）の<u>10分の1以下を減ずるものとする。</u></p> <p>以下（略）</p> |

秋田市公営企業職員の給与に関する条例新旧対照表（第3条関係）

| 改正案 | 現行 |
|---|--|
| <p>第1条（略） （給与の種類）</p> <p>第2条 秋田市職員定数条例（昭和24年秋田市条例第37号）に規定する企業職員で常時勤務を要するものおよび地方公務員法（昭和25年法律第261号）<u>第22条の4第1項</u>に規定する短時間勤務の職を占める職員（以下「職員」という。）の給与の種類は、給料および手当とする。</p> <p>2および3（略）</p> <p>第3条～第17条（略） （定年前再任用短時間勤務職員等についての適用除外）</p> <p>第18条 第4条、第4条の2、第11条および第14条の規定は、地方公務員法第22条の4第1項、地方公務員の育児休業等に関する法律第18条第1項又は秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成18年秋田市条例第4号）第4条の規定により採用された職員には、適用しない。</p> <p>第19条（略）</p> | <p>第1条（略） （給与の種類）</p> <p>第2条 秋田市職員定数条例（昭和24年秋田市条例第37号）に規定する企業職員で常時勤務を要するものおよび地方公務員法（昭和25年法律第261号）<u>第28条の5第1項</u>に規定する短時間勤務の職を占める職員（以下「職員」という。）の給与の種類は、給料および手当とする。</p> <p>2および3（略）</p> <p>第3条～第17条（略） （再任用職員等についての適用除外）</p> <p>第18条 第4条、第4条の2、第11条および第14条の規定は、地方公務員法<u>第28条の4第1項</u>もしくは<u>第28条の5第1項</u>、地方公務員の育児休業等に関する法律第18条第1項又は秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成18年秋田市条例第4号）第4条の規定により採用された職員には、適用しない。</p> <p>第19条（略）</p> |

秋田市職員の育児休業等に関する条例新旧対照表（附則第11項関係）

| 改 正 案 | | 現 行 | |
|---|--|---|---|
| 第1条～第16条（略） （育児短時間勤務職員についての秋田市職員給与条例の特例） | | 第1条～第16条（略） （育児短時間勤務職員についての秋田市職員給与条例の特例） | |
| 第17条 育児短時間勤務職員についての秋田市職員給与条例の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる同条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。 | | 第17条 育児短時間勤務職員についての秋田市職員給与条例の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる同条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。 | |
| (略) | | (略) | |
| 第4条 第2項 | (略) | 第4条 第2項 | (略) |
| 第4条 第6項 | 秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成7年秋田市条例第4号。以下「勤務時間条例」という。） | | |
| 第4条 第7項 | (略) | 第4条 第6項 および 第7項 | (略) |
| | | 第4条 の2第 1項 | 秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成7年秋田市条例第4号。以下「勤務時間条例」という。） |
| 第7条 の2第 2項 | （定年前再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員にあっては、その額に勤務時間条例第2条第3項および第4項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額） | 第7条 の2第 2項 | （再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員にあっては、その額に勤務時間条例第2条第3項および第4項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額） |
| 第11条 第2項 第2号 および 第4号 | 定年前再任用短時間勤務職員、任期付短時間勤務職員、法第26条の2第1項に規定する修学部分休業をしている職員および法第26条の3第1項に規定する高 | 第11条 第2項 第2号 および 第4号 | 再任用短時間勤務職員、任期付短時間勤務職員、法第26条の2第1項に規定する修学部分休業をしている職員および法第26条の3第1項に規定する高齢者 |

| | | |
|-------------|----------------------------|---|
| | 年齢部分休業をしている職員 | |
| 第15条 第3項 | 定年前再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員 | (略) |
| ----- | | |
| 第15条 第5項 | (略) | 要しない。ただし、当該時間が秋田市職員の育児休業等に関する条例（平成4年秋田市条例第6号）第17条の規定により読み替えられた第3項に規定する7時間45分に達するまでの間の勤務に係る時間である場合にあっては、時間給に100分の150（その時間が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、100分の175）から100分の100（その時間が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、100分の125）を減じた割合を乗じて得た額とする |
| (略) | | |

第18条～第21条 (略)

(短時間勤務職員についての秋田市職員給与条例の特例)

第22条 短時間勤務職員についての秋田市職員給与条例の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる同条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

| | |
|------------|------------|
| | (略) |
| 第4条 第6項 | (略) |
| 第7条 | (定年前再任用短時間 |

| | | |
|-------------|-------------------------|--|
| | 部分休業をしている職員 | |
| 第15条 第3項 | 再任用短時間勤務職員および任期付短時間勤務職員 | (略) |
| 第15条 第4項 | 前項 | 秋田市職員の育児休業等に関する条例（平成4年秋田市条例第6号。以下「育児休業条例」という。）第17条 |
| 第15条 第5項 | (略) | 要しない。ただし、当該時間が育児休業条例第17条の規定により読み替えられた第3項に規定する7時間45分に達するまでの間の勤務に係る時間である場合にあっては、時間給に100分の150（その時間が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、100分の175）から100分の100（その時間が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、100分の125）を減じた割合を乗じて得た額とする |
| (略) | | |

第18条～第21条 (略)

(短時間勤務職員についての秋田市職員給与条例の特例)

第22条 短時間勤務職員についての秋田市職員給与条例の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる同条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

| | |
|------------------|------------|
| | (略) |
| 第4条 の2第 1項 | (略) |
| 第7条 | (再任用短時間勤務職 |

| | | | | | |
|----------------------------------|--|--|----------------------------------|---|---|
| の2第 2項 | 勤務職員および任期付 短時間勤務職員にあっ ては、その額に勤務時 間条例第2条第3項お よび第4項の規定によ り定められたその者の 勤務時間を同条第1項 に規定する勤務時間で 除して得た数を乗じて 得た額) | (略) | の2第 2項 | 員および任期付短時間 勤務職員にあつては、 その額に勤務時間条例 第2条第3項および第 4項の規定により定め られたその者の勤務時 間を同条第1項に規定 する勤務時間で除して 得た数を乗じて得た 額) | (略) |
| 第11条 第2項 第2号 および 第4号 | 定年前再任用短時間勤 務職員、任期付短時間 勤務職員、法第26条の 2第1項に規定する修 学部分休業をしている 職員および法第26条の 3第1項に規定する高 齢者部分休業をしてい る職員 | (略) | 第11条 第2項 第2号 および 第4号 | 再任用短時間勤務職 員、任期付短時間勤務 職員、法第26条の2第 1項に規定する修学部 分休業をしている職員 および法第26条の3第 1項に規定する高齢者 部分休業をしている職 員 | (略) |
| 第15条 第3項 | 定年前再任用短時間勤 務職員および任期付短 時間勤務職員 | (略) | 第15条 第3項 | 再任用短時間勤務職員 および任期付短時間勤 務職員 | (略) |
| | | | 第15条 第4項 | 前項 | 秋田市職員の育児休業 等に関する条例（平成 4年秋田市条例第6 号。以下「育児休業条 例」という。）第22条 |
| 第15条 第5項 | (略) | 要しない。ただし、当 該時間が秋田市職員の 育児休業等に関する条 例（平成4年秋田市条 例第6号）第22条の規 定により読み替えられ た第3項に規定する7 時間45分に達するま での間の勤務に係る時 間である場合にあって は、時間給に100分の 150（その時間が午後 10時から翌日の午前5 時までの間である場合 は、100分の175）から 100分の100（その時 間が午後10時から翌日 | 第15条 第5項 | (略) | 要しない。ただし、当 該時間が育児休業条例 第22条の規定により読 み替えられた第3項に 規定する7時間45分 に達するまでの間の勤 務に係る時間である 場合にあっては、時間 給に100分の150（そ の時間が午後10時か ら翌日の午前5時ま である場合は、100分 の175）から100分 の100（その時間が 午後10時から翌日の 午前5時までの間は、 100分の125）を減じ |

| | |
|-----|--|
| | 午前5時までの間である場合は、100分の125)を減じた割合を乗じて得た額とする |
| (略) | |

第23条～第28条 (略)

附 則

1～3 (略)

(秋田市職員給与条例附則第17項の規定が適用される育児短時間勤務職員に関する読替え)

| | |
|-----|--------------|
| | 割合を乗じて得た額とする |
| (略) | |

第23条～第28条 (略)

附 則

1～3 (略)

(秋田市職員給与条例附則第17項の規定により給与が減ぜられて支給される育児短時間勤務職員等に関する読替え)

4 育児短時間勤務職員に対する秋田市職員給与条例附則第17項第1号、第2号、第4号および第5号の規定の適用については、同項第1号中「号俸の給料月額に」とあるのは「号俸の給料月額に勤務時間条例第2条第2項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数（以下この項において「算出率」という。）を乗じて得た額に」と、「を減じた」とあるのは「に算出率を乗じて得た額を減じた」と、同項第2号中「を減じた」とあるのは「に算出率を乗じて得た額を減じた」と、同項第4号および第5号中「給料月額および給料月額に対する給料の調整額の月額」とあるのは「給料月額を算出率で除して得た額および給料月額に対する給料の調整額の月額を算出率で除して得た額」と、「給料月額減額基礎額および給料調整額減額基礎額」とあるのは「給料月額減額基礎額を算出率で除して得た額および給料調整額減額基礎額を算出率で除して得た額」とする。

5 育児休業法第17条の規定による勤務をしている職員が秋田市職員給与条例附則第17項の規定により給与が減ぜられて支給される場合における第20条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「前3条および附則第4項」とする。

6 短時間勤務職員に対する秋田市職員給与条例附則第17項第1号および第2号の規定の適用については、同項第1号中「号俸の給料月額に」とあるのは「号俸の給料月額に勤務時間条例第2条第4項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数（以下この号および次号において「算出率」という。）を乗じて得た額に」と、「を減じた」とあるのは「に算出率を乗じて得た額を減じた」と、同項第2号中「を減じた」とあるのは「に算出率を乗じて得た額を減じた」とする。

7 秋田市職員給与条例附則第17項の規定により給与が減

| | |
|---|---|
| <p>4 育児短時間勤務職員に対する秋田市職員給与条例附則第17項の規定の適用については、同項中「<u>」とする」とあるのは、「<u>」に勤務時間条例第2条第2項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額とする」とする。</u></u></p> | <p><u>ぜられて支給される職員に対する第25条第1項の規定の適用については、同項中「第21条」とあるのは、「附則第19項」とする。</u></p> |
|---|---|

秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例新旧対照表（附則第12項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|--|
| <p>第1条～第18条（略） 附 則 第1条～第5条（略）</p> | <p>第1条～第18条（略） 附 則 第1条～第5条（略） <u>（秋田市職員給与条例附則第17項の規定により給与が減ぜられて支給される職員に関する読替え）</u> 第6条 秋田市職員給与条例附則第17項の規定により給与が減ぜられて支給される職員に対する第15条第3項の規定の適用については、同項中「第21条」とあるのは、「<u>附則第19項」とする。</u></p> |

秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例新旧対照表（附則第13項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|---|
| <p>第1条～第10条（略） 附 則 この条例は、平成18年4月1日から施行する。</p> | <p>第1条～第10条（略） 附 則 1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。 2 <u>第4条の規定により任期を定めて採用された短時間勤務職員（企業職員である短時間勤務職員を除く。）に対する秋田市職員給与条例附則第17項第1号および第2号の規定の適用については、同項第1号中「号俸の給料月額に」とあるのは「号俸の給料月額に秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例第2条第4項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数（以下この号および次号において「算出率」という。）を乗じて得た額に」と、「を減じた」とあるのは「に算出率を乗じて得た額を減じた」と、同項第2号中「を減じた」とあるのは「に算出率を乗じて得た額を減じた」とする。</u></p> |
| <p>別表（略）</p> | <p>別表（略）</p> |

秋田市職員の修学部分休業に関する条例新旧対照表（附則第14項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| <p>第1条～第5条（略）</p> <p>附 則</p> <p>この条例は、平成18年4月1日から施行する。</p> | <p>第1条～第5条（略）</p> <p>附 則</p> <p>1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。</p> <p>2 <u>秋田市職員給与条例附則第17項の規定により給与が減</u> <u>ぜられて支給される職員に対する第3条の規定の適用に</u> <u>ついては、同項中「含む」とあるのは「含み、給料月額</u> <u>および給料の調整額については、同条例附則第17項第1</u> <u>号および第2号に定める額に相当する額を減じた額」と</u> <u>する。</u></p> |

秋田市職員の高齢者部分休業に関する条例新旧対照表（附則第15項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| <p>第1条～第7条（略）</p> <p>附 則</p> <p>この条例は、平成18年4月1日から施行する。</p> | <p>第1条～第7条（略）</p> <p>附 則</p> <p>1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。</p> <p>2 <u>秋田市職員給与条例附則第17項の規定により給与が減</u> <u>ぜられて支給される職員に対する第3条の規定の適用に</u> <u>ついては、同項中「含む」とあるのは「含み、給料月額</u> <u>および給料の調整額については、同条例附則第17項第1</u> <u>号および第2号に定める額に相当する額を減じた額」と</u> <u>する。</u></p> |

議案第127号 秋田市職員の降給の事由に関する条例を設定する件

秋田市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例新旧対照表（附則第2項関係）

| 改正案 | 現行 |
|---|---|
| <p>秋田市職員の分限に関する手続および効果に関する条例 (この条例の目的)</p> <p>第1条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号。以下「法」という。）第28条第3項および第4項の規定に基づき、職員の意に反する降任、免職、<u>休職および降給の手続および効果</u>に関し規定することを目的とする。</p> <p>(降任、免職、<u>休職および降給</u>の手続)</p> <p>第2条 任命権者は、法第28条第1項第2号の規定に該当するものとして職員を降任し、<u>もしくは免職する場合又は同条第2項第1号の規定に該当するものとして職員を休職する場合においては、医師2名を指定してあらかじめ診断を行わせなければならない。</u></p> <p>2 職員の意に反する降任、<u>免職、休職又は降給の処分</u>は、その旨を記載した書面を当該職員に交付して行わなければならない。</p> <p>第3条～第6条 (略)</p> <p>附則 ①～③ (略)</p> <p>④ <u>第2条第2項の規定は、秋田市職員の降給の事由に関する条例（令和4年秋田市条例第 号）に定める事由による降給の場合には、適用しない。この場合において、当該事由に該当する職員には、当該事由により給料月額が異動することとなった旨の通知を行うものとする。</u></p> | <p>秋田市職員の分限に関する手続<u>及び効果</u>に関する条例 (この条例の目的)</p> <p>第1条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号。以下「法」という。）第28条第3項および第4項の規定に基づき、職員の意に反する降任、免職<u>及び休職の手続及び効果</u>に関し規定することを目的とする。</p> <p>(降任、免職<u>及び休職</u>の手続)</p> <p>第2条 任命権者は、法第28条第1項第2号の規定に該当するものとして職員を降任し、<u>若しくは免職する場合又は同条第2項第1号の規定に該当するものとして職員を休職する場合においては、医師2名を指定してあらかじめ診断を行わせなければならない。</u></p> <p>2 職員の意に反する降任、<u>若しくは免職又は休職の処分</u>は、その旨を記載した書面を当該職員に交付して行わなければならない。</p> <p>第3条～第6条 (略)</p> <p>附則 ①～③ (略)</p> |

議案第128号 秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する件

秋田市職員の退職手当に関する条例新旧対照表

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|--|
| <p>第1条 (略)</p> <p>(退職手当の支給)</p> <p>第2条 この条例の規定による退職手当は、前条に規定する職員のうち常時勤務に服することを要するもの(地方公務員法(昭和25年法律第261号)第22条の4第1項又は秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例(平成18年秋田市条例第4号)第4条の規定により採用された者を除く。以下「職員」という。)が退職した場合に、その者(死亡による退職の場合には、その遺族)に支給する。</p> <p>2 (略)</p> <p>第2条の2～第5条の2 (略)</p> <p>(定年前早期退職者に対する退職手当の基本額に係る特例)</p> <p>第5条の3 第5条第1項に規定する者(25年以上勤続し、法律の規定に基づく任期を終えて退職した者を除く。)のうち、定年に達する日の属する年度の前年度以前に退職した者であって、その勤続期間が25年以上であり、かつ、その年齢が退職の日において定められているその者に係る定年から15年を減じた年齢以上であるものに対する同項および前条第1項の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。</p> <p>表 (略)</p> <p>第5条の4～第6条の3 (略)</p> <p>(退職手当の調整額)</p> <p>第6条の4 退職した者に対する退職手当の調整額は、その者の基礎在職期間(第5条の2第2項に規定する基礎在職期間をいう。以下同じ。)の初日の属する月からその者の基礎在職期間の末日の属する月までの各月(地方公務員法第27条および第28条の規定による休職(公務上の傷病による休職、通勤による傷病による休職、職員を地方住宅供給公社法(昭和40年法律第124号)に規定する地方住宅供給公社、地方道路公社法(昭和45年法律第82号)に規定する地方道路公社もしくは公有地の拡大の推進に関する法律(昭和47年法律第66号)に規定する土地開発公社(以下「地方公社」という。))又は国家公務員退職手当法施行令(昭和28年政令第215号。以下「施</p> | <p>第1条 (略)</p> <p>(退職手当の支給)</p> <p>第2条 この条例の規定による退職手当は、前条に規定する職員のうち常時勤務に服することを要するもの(地方公務員法(昭和25年法律第261号)第28条の4第1項もしくは第28条の5第1項又は秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例(平成18年秋田市条例第4号)第4条の規定により採用された者を除く。以下「職員」という。)が退職した場合に、その者(死亡による退職の場合には、その遺族)に支給する。</p> <p>2 (略)</p> <p>第2条の2～第5条の2 (略)</p> <p>(定年前早期退職者に対する退職手当の基本額に係る特例)</p> <p>第5条の3 第5条第1項に規定する者(25年以上勤続し、法律の規定に基づく任期を終えて退職した者を除く。)のうち、定年に達する日の属する年度の前年度以前に退職した者であって、その勤続期間が25年以上であり、かつ、その年齢が退職の日において定められているその者に係る定年から10年を減じた年齢以上であるものに対する同項および前条第1項の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。</p> <p>表 (略)</p> <p>第5条の4～第6条の3 (略)</p> <p>(退職手当の調整額)</p> <p>第6条の4 退職した者に対する退職手当の調整額は、その者の基礎在職期間(第5条の2第2項に規定する基礎在職期間をいう。以下同じ。)の初日の属する月からその者の基礎在職期間の末日の属する月までの各月(地方公務員法第27条および第28条の規定による休職(公務上の傷病による休職、通勤による傷病による休職、職員を地方住宅供給公社法(昭和40年法律第124号)に規定する地方住宅供給公社、地方道路公社法(昭和45年法律第82号)に規定する地方道路公社もしくは公有地の拡大の推進に関する法律(昭和47年法律第66号)に規定する土地開発公社(以下「地方公社」という。))又は国家公務員退職手当法施行令(昭和28年政令第215号。以下「施</p> |

行令」という。)第6条に規定する法人(退職手当(これに相当する給与を含む。))に関する規程において、職員が地方公社又はその法人の業務に従事するために休職され、引き続いて地方公社又はその法人に使用される者となった場合におけるその者の在職期間の計算については、地方公社又はその法人に使用される者としての在職期間はなかったものとするものと定めているものに限る。以下「休職指定法人」という。)の業務に従事させるための休職および秋田市職員の休職の事由に関する条例(昭和61年秋田市条例第6号)第2条各号(同条第3号にあっては、公務に起因する場合に限る。)に掲げる場合の休職を除く。)、地方公務員法第29条の規定による停職その他これらに準ずる事由により現実に職務に従事することを要しない期間のある月(現実に職務に従事することを要する日のあった月を除く。第7条第4項において「休職月等」という。)のうち別に定めるものを除く。)ごとに当該各月にその者が属していた次の各号に掲げる職員の区分に応じて当該各号に定める額(以下この項および第5項において「調整月額」という。)のうちその額が最も多いものから順次その順位を付し、その第1順位から第60順位までの調整月額(当該各月の月数が60月に満たない場合には、当該各月の調整月額)を合計した額とする。

(1)～(7) (略)

2～5 (略)

第6条の5～第13条 (略)

(退職後禁錮以上の刑に処せられた場合等の退職手当の支給制限)

第14条 退職をした者に対しまだ当該退職に係る一般の退職手当等の額が支払われていない場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、当該退職に係る退職手当管理機関は、当該退職をした者(第1号又は第2号に該当する場合において、当該退職をした者が死亡したときは、当該一般の退職手当等の額の支払を受ける権利を承継した者)に対し、第12条第1項に規定する事情および同項各号に規定する退職をした場合の一般の退職手当等の額との権衡を勘案して、当該一般の退職手当等の全部又は一部を支給しないこととする処分を行うことができる。

(1) 当該退職をした者が刑事事件(当該退職後に起訴をされた場合にあつては、基礎在職期間中の行為に係る刑事事件に限る。)に関し当該退職後に禁錮以上の刑に処せられたとき。

(2) 当該退職をした者が当該一般の退職手当等の額の算

行令」という。)第6条に規定する法人(退職手当(これに相当する給与を含む。))に関する規程において、職員が地方公社又はその法人の業務に従事するために休職され、引き続いて地方公社又はその法人に使用される者となった場合におけるその者の在職期間の計算については、地方公社又はその法人に使用される者としての在職期間はなかったものとするものと定めているものに限る。以下「休職指定法人」という。)の業務に従事させるための休職および秋田市職員の休職の事由に関する条例(昭和61年秋田市条例第6号)第2条各号(同条第3号にあっては、公務に起因する場合に限る。)に掲げる場合の休職を除く。)、地方公務員法第29条の規定による停職その他これらに準ずる事由により現実に職務に従事することを要しない期間のある月(現実に職務に従事することを要する日のあった月を除く。以下「休職月等」という。)のうち別に定めるものを除く。)ごとに当該各月にその者が属していた次の各号に掲げる職員の区分に応じて当該各号に定める額(以下「調整月額」という。)のうちその額が最も多いものから順次その順位を付し、その第1順位から第60順位までの調整月額(当該各月の月数が60月に満たない場合には、当該各月の調整月額)を合計した額とする。

(1)～(7) (略)

2～5 (略)

第6条の5～第13条 (略)

(退職後禁錮以上の刑に処せられた場合等の退職手当の支給制限)

第14条 退職をした者に対しまだ当該退職に係る一般の退職手当等の額が支払われていない場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、当該退職に係る退職手当管理機関は、当該退職をした者(第1号又は第2号に該当する場合において、当該退職をした者が死亡したときは、当該一般の退職手当等の額の支払を受ける権利を承継した者)に対し、第12条第1項に規定する事情および同項各号に規定する退職をした場合の一般の退職手当等の額との権衡を勘案して、当該一般の退職手当等の全部又は一部を支給しないこととする処分を行うことができる。

(1) 当該退職をした者が刑事事件(当該退職後に起訴をされた場合にあつては、基礎在職期間中の行為に係る刑事事件に限る。)に関し当該退職後に禁錮以上の刑に処せられたとき。

(2) 当該退職をした者が当該一般の退職手当等の額の算

定の基礎となる職員としての引き続きいた在職期間中の行為に関し地方公務員法第29条第3項の規定による懲戒免職処分（以下「定年前再任用短時間勤務職員に対する免職処分」という。）を受けたとき。

- (3) 当該退職手当管理機関が、当該退職をした者（定年前再任用短時間勤務職員に対する免職処分の対象となる者を除く。）について、当該退職後に当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続きいた在職期間中に懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたと認めたととき。

2～6 （略）

（退職をした者の退職手当の返納）

第15条 退職をした者に対し当該退職に係る一般の退職手当等の額が支払われた後において、次の各号のいずれかに該当するときは、当該退職に係る退職手当管理機関は、当該退職をした者に対し、第12条第1項に規定する事情のほか、当該退職をした者の生計の状況を勘案して、当該一般の退職手当等の額（当該退職をした者が当該一般の退職手当等の支給を受けていなければ第10条第3項、第6項又は第8項の規定による退職手当の支給を受けることができた者（次条および第17条において「失業手当受給可能者」という。）であった場合には、これらの規定により算出される金額（次条および第17条において「失業者退職手当額」という。）を除く。）の全部又は一部の返納を命ずる処分を行うことができる。

- (1) 当該退職をした者が基礎在職期間中の行為に係る刑事事件に関し禁錮以上の刑に処せられたとき。
- (2) 当該退職をした者が当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続きいた在職期間中の行為に関し定年前再任用短時間勤務職員に対する免職処分を受けたとき。
- (3) 当該退職手当管理機関が、当該退職をした者（定年前再任用短時間勤務職員に対する免職処分の対象となる職員を除く。）について、当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続きいた在職期間中に懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたと認めたととき。

2～6 （略）

第16条 （略）

（退職手当受給者の相続人からの退職手当相当額の納付）

第17条 退職をした者（死亡による退職の場合には、その遺族）に対し当該退職に係る一般の退職手当等の額が支

定の基礎となる職員としての引き続きいた在職期間中の行為に関し地方公務員法第29条第3項の規定による懲戒免職処分（以下「再任用職員に対する免職処分」という。）を受けたとき。

- (3) 当該退職手当管理機関が、当該退職をした者（再任用職員に対する免職処分の対象となる者を除く。）について、当該退職後に当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続きいた在職期間中に懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたと認めたととき。

2～6 （略）

（退職をした者の退職手当の返納）

第15条 退職をした者に対し当該退職に係る一般の退職手当等の額が支払われた後において、次の各号のいずれかに該当するときは、当該退職に係る退職手当管理機関は、当該退職をした者に対し、第12条第1項に規定する事情のほか、当該退職をした者の生計の状況を勘案して、当該一般の退職手当等の額（当該退職をした者が当該一般の退職手当等の支給を受けていなければ第10条第3項、第6項又は第8項の規定による退職手当の支給を受けることができた者（次条および第17条において「失業手当受給可能者」という。）であった場合には、これらの規定により算出される金額（次条および第17条において「失業者退職手当額」という。）を除く。）の全部又は一部の返納を命ずる処分を行うことができる。

- (1) 当該退職をした者が基礎在職期間中の行為に係る刑事事件に関し禁錮以上の刑に処せられたとき。
- (2) 当該退職をした者が当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続きいた在職期間中の行為に関し再任用職員に対する免職処分を受けたとき。
- (3) 当該退職手当管理機関が、当該退職をした者（再任用職員に対する免職処分の対象となる職員を除く。）について、当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続きいた在職期間中に懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたと認めたととき。

2～6 （略）

第16条 （略）

（退職手当受給者の相続人からの退職手当相当額の納付）

第17条 退職をした者（死亡による退職の場合には、その遺族）に対し当該退職に係る一般の退職手当等の額が支

払われた後において、当該一般の退職手当等の額の支払を受けた者（以下この条において「退職手当の受給者」という。）が当該退職の日から6月以内に第15条第1項又は前条第1項の規定による処分を受けることなく死亡した場合（次項から第5項までに規定する場合を除く。）において、当該退職に係る退職手当管理機関が、当該退職手当の受給者の相続人（包括受遺者を含む。以下この項から第6項までにおいて同じ。）に対し、当該退職の日から6月以内に、当該退職をした者が当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続いた在職期間中に懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたことを疑うに足りる相当な理由がある旨の通知をしたときは、当該退職手当管理機関は、当該通知が当該相続人に到達した日から6月以内に限り、当該相続人に対し、当該退職をした者が当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続いた在職期間中に懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたと認められることを理由として、当該一般の退職手当等の額（当該退職をした者が失業手当受給可能者であった場合には、失業者退職手当額を除く。）の全部又は一部に相当する額の納付を命ずる処分を行うことができる。

2～4 （略）

5 退職手当の受給者が、当該退職の日から6月以内に当該退職に係る一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続いた在職期間中の行為に関し定年前再任用短時間勤務職員に対する免職処分を受けた場合において、第15条第1項の規定による処分を受けることなく死亡したときは、当該退職に係る退職手当管理機関は、当該退職手当の受給者の死亡の日から6月以内に限り、当該退職手当の受給者の相続人に対し、当該退職をした者が当該行為に関し定年前再任用短時間勤務職員に対する免職処分を受けたことを理由として、当該一般の退職手当等の額（当該退職をした者が失業手当受給可能者であった場合には、失業者退職手当額を除く。）の全部又は一部に相当する額の納付を命ずる処分を行うことができる。

6～8 （略）

第18条～第21条 （略）

附 則

1 および 2 （略）

払われた後において、当該一般の退職手当等の額の支払を受けた者（以下この条において「退職手当の受給者」という。）が当該退職の日から6月以内に第15条第1項又は前条第1項の規定による処分を受けることなく死亡した場合（次項から第5項までに規定する場合を除く。）において、当該退職に係る退職手当管理機関が、当該退職手当の受給者の相続人（包括受遺者を含む。以下この条において同じ。）に対し、当該退職の日から6月以内に、当該退職をした者が当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続いた在職期間中に懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたことを疑うに足りる相当な理由がある旨の通知をしたときは、当該退職手当管理機関は、当該通知が当該相続人に到達した日から6月以内に限り、当該相続人に対し、当該退職をした者が当該一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続いた在職期間中に懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたと認められることを理由として、当該一般の退職手当等の額（当該退職をした者が失業手当受給可能者であった場合にあつては、失業者退職手当額を除く。）の全部又は一部に相当する額の納付を命ずる処分を行うことができる。

2～4 （略）

5 退職手当の受給者が、当該退職の日から6月以内に当該退職に係る一般の退職手当等の額の算定の基礎となる職員としての引き続いた在職期間中の行為に関し再任用職員に対する免職処分を受けた場合において、第15条第1項の規定による処分を受けることなく死亡したときは、当該退職に係る退職手当管理機関は、当該退職手当の受給者の死亡の日から6月以内に限り、当該退職手当の受給者の相続人に対し、当該退職をした者が当該行為に関し再任用職員に対する免職処分を受けたことを理由として、当該一般の退職手当等の額（当該退職をした者が失業手当受給可能者であった場合にあつては、失業者退職手当額を除く。）の全部又は一部に相当する額の納付を命ずる処分を行うことができる。

6～8 （略）

第18条～第21条 （略）

附 則

1 および 2 （略）

3 昭和28年7月31日に現に在職していた職員であつて、職員以外の地方公務員等（もとの外地の地方公共団体又はこれに準ずるものに勤務していた公務員を含む。以下本項において同じ。）から引き続いて職員となったもの

3 (略)

4 (略)

及び同日に現に在職していた職員以外の地方公務員等であって同年8月1日以後に引き続いて職員となったものの同年7月31日以前における職員以外の地方公務員等としての勤続期間の計算については、附則第8項から第11項までの規定を準用するほか、第7条第5項及び第6項の規定の例による。この場合において第7条第5項但し書中「退職手当に相当する給与」とあるのは、「退職手当に相当する給与（附則第15項に規定する特殊退職および附則第16項に規定する職員又は職員以外の地方公務員として在職した後の退職の際支給を受けた給与を除く。）」と読み替えるものとする。

4 (略)

5 (略)

6 昭和29年3月31日に現に在職した職員で、同年4月1日以降引続いて職員となった者の、同年3月31日以前の勤続期間については、なお従前の例による。

7 この条例施行の日の前日に現に在職する地方公務員等であって、施行の日以後引き続いて職員となったものの施行の日の前日までの地方公務員等としての勤続期間の計算については、条例第7条第5項及び第6項の規定による。

8 昭和27年7月31日に現に在職していた職員の同日以前における次の各号に掲げる期間は、当該各号に規定する者の職員としての在職期間とみなす。この場合において、当該各号に規定する者が、当該各号に掲げる期間に係る者としての身分を失った際に、この条例の規定による退職手当に相当する給与の支給を受けているときは、当該給与の計算の基礎となった在職期間の3分の2の期間は、その者の職員としての引き続いた在職期間には、含まないものとする。

(1) 先に職員として在職した者であって、任命権者の承認又は勸奨を受け、引き続いて外国政府又は日本政府もしくは外国政府と特殊の関係があった法人で外国において日本たばこ産業株式会社法（昭和59年法律第69号）附則第12条第1項の規定による解散前の日本専売公社（以下「旧専売公社」という。）、日本国有鉄道改革法（昭和61年法律第87号）附則第2項の規定による廃止前の日本国有鉄道法（昭和23年法律第256号）第1条の規定により設立された日本国有鉄道（以下「旧日本国有鉄道」という。）もしくは日本電信電話株式会社等に関する法律（昭和59年法律第85号）附則第4条第1項の規定による解散前の日本電信電話公社（以下「旧電信電話公社」という。）の事業と同種の事業を行っていたもので、施行令附則第3項第3号の

規定により総務大臣が指定するものの職員（以下「外国政府職員等」という。）となるため退職し、かつ、外国政府職員等としての身分を失った後に引き続いて再び職員となったものの当該外国政府職員等としての引き続いた在職期間の3分の2の期間

(2) 先に職員として在職した者であって、任命権者の承認又は勸奨を受け、引き続いて旧国民医療法（昭和17年法律第70号）に規定する日本医療団（以下「医療団」という。）の職員（以下「医療団職員」という。）となるため退職し、かつ、医療団の業務の地方公共団体への引継ぎとともに引き続いて再び職員となったものの当該医療団職員としての引き続いた在職期間の3分の2の期間

(3) 先に職員として在職した者であって、任命権者の承認又は勸奨を受け、引き続いて日本赤十字社の救護員（以下「救護員」という。）となるため退職し救護員として旧日本赤十字社令（明治43年勅令第228号）の規定に基づき戦地勤務（恩給法の一部を改正する法律（昭和28年法律第155号）附則第41条の2第1項に規定する戦地勤務をいう。以下同じ。）に服し、かつ、救護員としての身分を失った後に引き続いて再び職員となったものの当該救護員として戦地勤務に服した期間の3分の2の期間

(4) 先に職員として在職した者であってア又はイに該当するもののア又はイに掲げる期間

ア 任命権者の承認又は勸奨を受け、引き続いて外国にあった特殊機関の職員で、施行令附則第3項第6号の規定により総務大臣の指定するもの（以下「外国特殊機関職員」という。）となるため退職し、かつ、外国特殊機関職員としての身分を失った後に引き続いて再び職員となった者の当該外国特殊機関職員としての引き続いた在職期間の3分の2の期間

イ 任命権者の承認又は勸奨を受け、引き続いて外国政府の職員となるため退職し、当該外国政府の当該業務の外国にあった特殊機関への引継ぎとともに引き続いて外国特殊機関職員となり、かつ、外国特殊機関職員としての身分を失った後に引き続いて再び職員となった者の当該外国政府の職員および当該外国特殊機関職員としての引き続いた在職期間の3分の2の期間

9 先に職員（職員以外の地方公務員等を含む。以下本項において同じ。）として在職した者であって、旧公職に関する就職禁止、退官、退職等に関する勅令（昭和21年勅令第109号）第1条もしくは旧公職に関する就職禁

止、退職等に関する勅令（昭和22年勅令第11号）第3条の規定により退職させられたもの又はこれらに準ずる措置で施行令附則第6項の規定による総理府令で定めるものによりその者の意思によらないで退職させられたもの（先に職員として在職し、終戦に伴い昭和20年8月15日以後これらの措置により公職につくことを禁ぜられた日前においてその者の意思によらないで退職した者のうちこれらの措置の適用を受けたもので、その禁ぜられた日（その禁ぜられた日前に再び職員となった者については、その再び職員となった日）の前日までの間に他に就職しなかったものを含む。）が、その退職の後、法令の規定又は特別の手続きによりこれらの措置が解除された日（これらの措置により、就職が制限されなかった職員となった場合にあっては、当該退職の日）から昭和28年7月31日までの間に再び職員となった場合においては、先に職員として在職した期間は、その者の職員としての在職期間に引き続いたものとみなす。但し、これらの措置が解除された日から120日を経過した日以後再び職員となった場合において、当該経過した日から再び職員となった日の前日までの間に他に就職していたことがあるときは、この限りでない。

10 昭和28年7月31日に現に在職していた職員のうち、次の各号の一に掲げるものの先の職員としての在職期間は、後の職員としての在職期間に引き続いたものとみなす。

(1) 先に職員として在職した者であって任命権者の承認又は勸しょうを受けて他の任命権者に属する職員となるため退職し、且つ、任命権者の手続きの遅延のため退職の日の翌々日以後において他に就職することなくその承認又は勸しょうを受けた他の任命権者に属する職員となったもの

(2) 先に職員として在職した者であって、任命権者の承認又は勸しょうを受け、引き続いて在外研究員又は外国留学生（以下「在外研究員等」という。）となるため退職し、かつ、その研究又は留学を終えた後に引き続き再び職員となったもの

11 昭和20年8月15日に現に次の各号に掲げる者であったものが、当該各号に掲げる日から昭和28年7月31日までの間に他に就職することなく職員となった場合においては、当該各号に掲げる者であった期間は、そのものの職員としての在職期間に引き続いたものとみなす。

(1) 外地官署所属職員 外地官署所属職員の身分に関する件（昭和21年勅令第287号）の規定によりその身分を保留する期間が満了した日の翌日

(2) 外国政府職員等、外国特殊機関職員又は在外研究員等 昭和20年8月16日

(3) 救護員で戦地勤務に服したことがある者又は軍人軍属 その身分を失った日

12 昭和20年8月15日に前項各号に掲げる者（救護員で戦地勤務に服したことがある者、外国特殊機関職員および在外研究員等を除く。以下この項において「外地官署所属職員等」という。）であった者で同日において本邦外にあったもののうち、昭和28年8月1日以後においてその本邦に帰還した日から3年（特殊の事情があると認められる場合には、任命権者が市長と協議して定める期間を加算した期間。以下この項において同じ。）以内に職員となったもの又は同年8月1日以後においてその本邦に帰還した日から3年以内に職員以外の地方公務員等となり、引き続き職員以外の地方公務員等として在職した後引き続き職員となったものについては、外地官署所属職員等であった期間は、その者の同年8月1日以後において最初に開始する職員又は職員以外の地方公務員等としての在職期間に引き続いたものとみなし、かつ、当該職員以外の地方公務員等としての在職期間に引き続いたものとみなす場合にあっては当該職員以外の地方公務員等としての在職期間に含まれるものとして、その勤続期間に計算するものとする。ただし、本邦に帰還した日から当該職員又は職員以外の地方公務員等としての在職期間の開始の日の前日までの間に他に就職したことがある者については、この限りでない。

13 前項に規定する者（未復員者に該当する者を除く。）の昭和28年7月31日（同年8月1日以後に附則第11項第1号に規定する期間が満了する外地官署所属職員については、当該期間が満了する日）以前における勤続期間の計算については、前項の規定に該当するものを除き、附則第8項および附則第10項（これらの規定を附則第3項において準用する場合を含む。）の規定を準用するほか、第7条の規定の例による。この場合において第7条第5項ただし書中「退職手当に相当する給与」とあるのは、「退職手当に相当する給与（附則第15項に規定する特殊退職および附則第16項に規定する職員又は職員以外の地方公務員として在職した後の退職の際支給を受けた給与を除く。）」と読み替えるものとする。

14 昭和28年7月31日に現に在職する職員、同日に現に職員以外の地方公務員等として在職し、同日後に引き続き職員となった者又は附則第12項に規定する者のうち、職員としての引き続いた在職期間中において職員又は職員以外の地方公務員等として在職した後この条例の規定

による退職手当又はこれに相当する給与の支給を受けて特殊退職をし、かつ、職員又は職員以外の地方公務員等となったことがあるものが退職した場合におけるその者に対する一般の退職手当の額は、第2条の4から第5条の3までおよび第6条から第6条の5までの規定にかかわらず、その者の退職の日における給料月額に、第1号に掲げる割合から第2号に掲げる割合を控除した割合を乗じて得た額とする。

(1) その者が第2条の4から第5条の3までおよび第6条から第6条の5まで、秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（昭和38年秋田市条例第4号）附則第5項ならびに秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（昭和48年秋田市条例第30号。附則第21項から第23項までにおいて「条例第30号」という。）附則第5項から第8項までの規定により計算した額の退職手当の支給を受けるものとした場合における当該退職手当の額の当該給料月額に対する割合

(2) その者が特殊退職をした際に、その際支給を受けたこの条例の規定による退職手当又はこれに相当する給与の額の計算の基礎となった勤続期間（当該給与の額の計算の基礎となるべき勤続期間がその者が在職した国又は他の地方公共団体等の退職手当に関する規定において明確に定められていない場合には、当該給与の額を当該特殊退職の日におけるその者の給料月額で除して得た数に12を乗じて得た数（1未満の端数を生じたときは、その端数を切り捨てる。）に相当する月数）をこの条例の規定により計算した勤続期間とみなした場合のこの条例の規定による退職手当（附則第9項の規定の適用を受ける職員および外地官署所属職員のうち、第4条もしくは第5条の規定による退職手当又はこれに準ずる退職手当に係る退職（以下「整理退職」という。）に該当する特殊退職をした者については、第4条第1項の規定による退職手当）の支給を受けたものとした場合における当該退職手当の額の当該特殊退職の日におけるその者の給料月額に対する割合（特殊退職を2回以上した者については、それぞれの特殊退職に係る当該割合を合計した割合）

15 前項の特殊退職は、次の各号に掲げる退職又は身分の喪失とする。ただし、第1号から第3号までの退職にあっては、整理退職に該当する退職を除く。

(1) 職員が退職し、かつ、退職の日又はその翌日に再び職員となる場合（職員以外の地方公務員等が退職し、かつ退職の日又はその翌日に再び当該退職の日までそ

の者が属していた地方公共団体等の職員以外の地方公務員等となる場合を含む。）の退職

(2) 職員又は職員以外の地方公務員等が任命権者の要請を受けて職員又は職員以外の地方公務員等となるため退職し、かつ、退職の日又はその翌日に職員又は当該職員以外の地方公務員等となる場合（前号に該当する場合を除く。）の退職

(3) 附則第8項各号又は附則第10項各号（これらの規定を附則第3項および附則第13項において準用する場合を含む。）の退職

(4) 附則第9項（附則第3項において準用する場合を含む。）の退職

(5) 外地官署所属職員又は軍人軍属の身分の喪失

16 職員又は職員以外の地方公務員等から引き続いて職員となった者のうち、職員としての引き続いた在職期間（その者が当該在職期間中においてたばこ事業法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（昭和59年法律第71号）第4条および日本電信電話株式会社法及び電気通信事業法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（昭和59年法律第87号）第5条の規定による改正前の国家公務員等退職手当法（昭和28年法律第182号）第2条に規定する者として在職した後この条例の規定による退職手当に相当する給与の支給を受けて退職をしたことがある者である場合には、当該退職の日（当該退職を2回以上した者については、そのうちの最終の退職の日）以後の職員としての引き続いた在職期間に限る。）中において、昭和38年3月31日までの間に、職員又は職員以外の地方公務員として在職した後この条例の規定による退職手当又はこれに相当する給与の支給を受けて退職（整理退職に該当する退職および特殊退職に該当する退職を除く。）をし、かつ、退職の日又はその翌日に、職員又は職員以外の地方公務員となったことがあるものが退職した場合におけるその者に対する一般の退職手当の額については、附則第14項の規定の例による。この場合において、第7条第5項の規定の適用については、同項ただし書中「退職手当に相当する給与」とあるのは、「退職手当に相当する給与（附則第16項に規定する職員又は職員以外の地方公務員として在職した後の退職の際支給を受けた給与を除く。）」と読み替えるものとする。

5 昭和60年4月1日に現に在職する職員で日本たばこ産業株式会社法（昭和59年法律第69号）附則第12条第1項の規定による解散前の日本専売公社（以下「旧専売公社」という。）又は日本電信電話株式会社等に関する法律（昭和59年法律第85号）附則第4条第1項の規定によ

17 昭和60年4月1日に現に在職する職員で旧専売公社又は旧電信電話公社の職員としての在職期間（以下この項において「旧公社の職員としての在職期間」という。）を有するものの退職手当の算定の基礎となる勤続期間の計算については、その者の旧公社の職員としての在職期

る解散前の日本電信電話公社（以下「旧電信電話公社」という。）の職員としての在職期間（以下この項において「旧公社の職員としての在職期間」という。）を有するものの退職手当の算定の基礎となる勤続期間の計算については、その者の旧公社の職員としての在職期間を職員としての引き続いた在職期間とみなす。

6 昭和60年3月31日に旧専売公社の職員として在職していた者が、引き続いて日本たばこ産業株式会社の職員となり、かつ、引き続き日本たばこ産業株式会社の職員として在職した後職員となった場合又は同日に旧電信電話公社の職員として在職していた者が、引き続いて日本電信電話株式会社の職員となり、かつ、引き続き日本電信電話株式会社の職員として在職した後職員となった場合におけるその者の退職手当の算定の基礎となる勤続期間の計算については、その者の同日までのたばこ事業法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（昭和59年法律第71号）第4条および日本電信電話株式会社法及び電気通信事業法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（昭和59年法律第87号）第5条の規定による改正前の国家公務員等退職手当法（昭和28年法律第182号）第2条第2項に規定する職員としての引き続いた在職期間および昭和60年4月1日以後の日本たばこ産業株式会社又は日本電信電話株式会社の職員としての在職期間を職員としての引き続いた在職期間とみなす。ただし、その者が日本たばこ産業株式会社又は日本電信電話株式会社を退職したことにより退職手当（これに相当する給付を含む。）の支給を受けているときは、この限りでない。

7 昭和62年4月1日に現に在職する職員で日本国有鉄道改革法（昭和61年法律第87号）附則第2項の規定による廃止前の日本国有鉄道法（昭和23年法律第256号）第1条の規定により設立された日本国有鉄道（以下「旧日本国有鉄道」という。）の職員としての在職期間を有するものの退職手当の算定の基礎となる勤続期間の計算については、その者の旧日本国有鉄道の職員としての在職期間を職員としての引き続いた在職期間とみなす。

8 （略）

9 当分の間、35年以下の期間勤続して退職した者（秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（昭和48年秋田市条例第30号。次項および附則第11項において「条例第30号」という。）附則第5項の規定に該当する者を除く。）に対する退職手当の基本額は、第3条から第5条の3までおよび附則第21項から第29項までの規定により計算した額にそれぞれ100分の83.7を乗じて得た額とする。この場合において、第6条の5第1項

間を職員としての引き続いた在職期間とみなす。

18 昭和60年3月31日に旧専売公社の職員として在職していた者が、引き続いて日本たばこ産業株式会社の職員となり、かつ、引き続き日本たばこ産業株式会社の職員として在職した後職員となった場合又は同日に旧電信電話公社の職員として在職していた者が、引き続いて日本電信電話株式会社の職員となり、かつ、引き続き日本電信電話株式会社の職員として在職した後職員となった場合におけるその者の退職手当の算定の基礎となる勤続期間の計算については、その者の同日までのたばこ事業法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第4条および日本電信電話株式会社法及び電気通信事業法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第5条の規定による改正前の国家公務員等退職手当法第2条第2項に規定する職員としての引き続いた在職期間および昭和60年4月1日以後の日本たばこ産業株式会社又は日本電信電話株式会社の職員としての在職期間を職員としての引き続いた在職期間とみなす。ただし、その者が日本たばこ産業株式会社又は日本電信電話株式会社を退職したことにより退職手当（これに相当する給付を含む。）の支給を受けているときは、この限りでない。

19 昭和62年4月1日に現に在職する職員で旧日本国有鉄道の職員としての在職期間を有するものの退職手当の算定の基礎となる勤続期間の計算については、その者の旧日本国有鉄道の職員としての在職期間を職員としての引き続いた在職期間とみなす。

20 （略）

21 当分の間、35年以下の期間勤続して退職した者（条例第30号附則第5項の規定に該当する者を除く。）に対する退職手当の基本額は、第3条から第5条の3までの規定により計算した額にそれぞれ100分の83.7を乗じて得た額とする。この場合において、第6条の5第1項中「前条」とあるのは、「前条ならびに附則第21項」とする。

中「前条」とあるのは、「前条ならびに附則第9項」とする。

10 当分の間、36年以上42年以下の期間勤続して退職した者（条例第30号附則第6項の規定に該当する者を除く。）で第3条第1項の規定に該当する退職をしたものに対する退職手当の基本額は、同項又は第5条の2および附則第24項の規定により計算した額に前項に定める割合を乗じて得た額とする。

11 当分の間、35年を超える期間勤続して退職した者（条例第30号附則第7項の規定に該当する者を除く。）で第5条又は附則第22項の規定に該当する退職をしたものに対する退職手当の基本額は、その者の勤続期間を35年として附則第9項の規定の例により計算して得られる額とする。

12 (略)

13 (略)

14 (略)

15 (略)

16 (略)

17 (略)

18 (略)

19 (略)

20 (略)

21 当分の間、第4条第1項の規定は、11年以上25年未満の期間勤続した者であって、60歳に達した日以後その者の非違によることなく退職した者（定年の定めのない職を退職した者および同条の規定に該当する者を除く。）に対する退職手当の基本額について準用する。この場合における第3条の規定の適用については、同条第1項中「又は第5条」とあるのは、「、第5条又は附則第21項」とする。

22 当分の間、第5条第1項の規定は、25年以上の期間勤続した者であって、60歳に達した日以後その者の非違によることなく退職した者（定年の定めのない職を退職した者および同条の規定に該当する者を除く。）に対する退職手当の基本額について準用する。この場合における第3条の規定の適用については、同条第1項中「又は第5条」とあるのは、「、第5条又は附則第22項」とする。

23 前2項の規定は、秋田市職員の定年等に関する条例第3条ただし書に規定する職員が退職した場合に支給する退職手当の基本額については適用しない。

24 秋田市職員給与条例附則第17項の規定による職員の給料月額額の改定は、給料月額額の減額改定に該当しないもの

22 当分の間、36年以上42年以下の期間勤続して退職した者（条例第30号附則第6項の規定に該当する者を除く。）で第3条第1項の規定に該当する退職をしたものに対する退職手当の基本額は、同項又は第5条の2の規定により計算した額に前項に定める割合を乗じて得た額とする。

23 当分の間、35年を超える期間勤続して退職した者（条例第30号附則第7項の規定に該当する者を除く。）で第5条の規定に該当する退職をしたものに対する退職手当の基本額は、その者の勤続期間を35年として附則第21項の規定の例により計算して得られる額とする。

24 (略)

25 (略)

26 (略)

27 (略)

28 (略)

29 (略)

30 (略)

31 (略)

32 (略)

とする。

25 当分の間、第5条第1項に規定する者のうちその者の非違によることなく勸奨を受けて退職した者であって任命権者が市長の承認を得たものに対する第5条の3および第6条の3の規定の適用については、第5条の3中「定年に達する日」とあるのは「定年（秋田市職員の定年等に関する条例第3条ただし書に規定する職員以外の職員にあっては60歳とし、同条ただし書に規定する職員にあっては65歳とする。）に達する日」と、同条の表第5条第1項の項、第5条の2第1項第1号の項および第5条の2第1項第2号の項ならびに第6条の3の表第6条の項、第6条の2第1号の項および第6条の2第2号の項中「その者に係る定年」とあるのは「その者に係る定年（秋田市職員の定年等に関する条例第3条ただし書に規定する職員以外の職員にあっては60歳とし、同条ただし書に規定する職員にあっては65歳とする。）」とする。

26 当分の間、第5条第1項に規定する者のうちその者の非違によることなく勸奨を受けて退職した者であって任命権者が市長の承認を得たもの（次の表の左欄に掲げる職員であって、退職の日において定められているその者に係る定年がそれぞれ同表の右欄に掲げる年齢を超える者に限る。）に対する第5条の3の規定の適用については、同条中「年度の前年度以前」とあるのは、「年度以前」とする。

| | |
|------------------------------------|-----|
| 秋田市職員の定年等に関する条例第3条ただし書に規定する職員以外の職員 | 60歳 |
| 秋田市職員の定年等に関する条例第3条ただし書に規定する職員 | 65歳 |

27 当分の間、第5条第1項に規定する者（秋田市職員の定年等に関する条例第2条の規定により退職した者（同条例第4条第1項の期限又は同条第2項の規定により延長された期限の到来により退職した者を含む。）もしくはこれに準ずる他の法令の規定により退職した者又は法律の規定に基づく任期を終えて退職した者を除く。）に対する第5条の3の規定の適用については、同条中「15年を」とあるのは「10年を」とするほか、前項の表の左欄に掲げる職員の区分に応じ、同条中「退職の日において定められているその者に係る定年」とあるのはそれぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

28 当分の間、第5条第1項に規定する者のうち職制もしくは定数の改廃又は予算の減少により廃職又は過員を生ずることにより退職した者であって任命権者が市長の承認を得たものおよび公務上の傷病又は死亡により退職し

た者であって附則第26項の表の左欄に掲げる職員が、それぞれ同表の右欄に掲げる年齢に達する日前に退職したときにおける第5条の3および第6条の3の規定の適用については、第5条の3の表第5条第1項の項、第5条の2第1項第1号の項および第5条の2第1項第2号の項ならびに第6条の3の表第6条の項、第6条の2第1号の項および第6条の2第2号の項中「100分の2」とあるのは、「附則第26項の表の左欄に掲げる職員の区分ごとにそれぞれ同表の右欄に掲げる年齢と退職の日におけるその者の年齢との差に相当する年数に100分の2を乗じて得た割合を退職の日において定められているその者に係る定年と退職の日におけるその者の年齢との差に相当する年数で除して得た割合」とする。

29 当分の間、第5条第1項に規定する者のうち職制もしくは定数の改廃又は予算の減少により廃職又は過員を生ずることにより退職した者であって任命権者が市長の承認を得たものおよび公務上の傷病又は死亡により退職した者であって附則第26項の表の左欄に掲げる職員が、それぞれ同表の右欄に掲げる年齢に達した日以後に退職したときにおける第5条の3および第6条の3の規定の適用については、第5条の3の表第5条第1項の項、第5条の2第1項第1号の項および第5条の2第1項第2号の項ならびに第6条の3の表第6条の項、第6条の2第1号の項および第6条の2第2号の項中「100分の2」とあるのは、「100分の2を退職の日において定められているその者に係る定年と退職の日におけるその者の年齢との差に相当する年数で除して得た割合」とする。

秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（昭和48年秋田市条例第30号）新旧対照表（附則第3項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|--|
| <p>本則（略）</p> <p>附 則</p> <p>1～4（略）</p> <p>（長期勤続者等に対する退職手当に係る特例）</p> <p>5 適用日に在職する職員（適用日にこの条例による改正前の秋田市職員の退職手当に関する条例（以下「旧条例」という。）第7条の4第1項に規定する公庫等職員（以下「指定法人職員」という。）として在職する者のうち、適用日に職員以外の地方公務員等として在職する者で、指定法人職員又は職員以外の地方公務員等として在職した後引き続いて職員となったものを含む。次項および附則第7項において同じ。）のうち、適用日以後に<u>秋田市職員の退職手当に関する条例第3条から第5条まで又は附則第21項もしくは附則第22項の規定に該当する退職をし、かつ、その勤続期間が35年以下である者に対する退職手当の基本額は、当分の間、同条例第3条から第5条の3までおよび附則第21項から附則第29項までの規定により計算した額にそれぞれ100分の83.7を乗じて得た額とする。</u></p> <p>6 適用日に在職する職員のうち、適用日以後に<u>秋田市職員の退職手当に関する条例第3条第1項の規定に該当する退職をし、かつ、その勤続期間が36年以上42年以下である者に対する退職手当の基本額は、当分の間、同項又は同条例第5条の2および附則第24項の規定により計算した額に前項に定める割合を乗じて得た額とする。</u></p> <p>7 適用日に在職する職員のうち、適用日以後に<u>秋田市職員の退職手当に関する条例第5条又は附則第22項の規定に該当する退職をし、かつ、その勤続期間が35年を超える者に対する退職手当の基本額は、当分の間、その者の勤続期間を35年として附則第5項の規定の例により計算して得られる額とする。</u></p> <p>以下（略）</p> | <p>本則（略）</p> <p>附 則</p> <p>1～4（略）</p> <p>（長期勤続者等に対する退職手当に係る特例）</p> <p>5 適用日に在職する職員（適用日にこの条例による改正前の秋田市職員の退職手当に関する条例（以下「旧条例」という。）第7条の4第1項に規定する公庫等職員（以下「指定法人職員」という。）として在職する者のうち、適用日に職員以外の地方公務員等として在職する者で、指定法人職員又は職員以外の地方公務員等として在職した後引き続いて職員となったものを含む。次項および附則第7項において同じ。）のうち、適用日以後に<u>新条例第3条から第5条までの規定に該当する退職をし、かつ、その勤続期間が35年以下である者に対する退職手当の基本額は、当分の間、新条例第3条から第5条の3までの規定により計算した額にそれぞれ100分の83.7を乗じて得た額とする。</u></p> <p>6 適用日に在職する職員のうち、適用日以後に<u>新条例第3条第1項の規定に該当する退職をし、かつ、その勤続期間が36年以上42年以下である者に対する退職手当の基本額は、当分の間、同項又は新条例第5条の2の規定により計算した額に前項に定める割合を乗じて得た額とする。</u></p> <p>7 適用日に在職する職員のうち、適用日以後に<u>新条例第5条の規定に該当する退職をし、かつ、その勤続期間が35年を超える者に対する退職手当の基本額は、当分の間、その者の勤続期間を35年として附則第5項の規定の例により計算して得られる額とする。</u></p> <p>以下（略）</p> |

秋田市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例（平成15年秋田市条例第48号）新旧対照表（附則第4項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|--|
| <p>本則（略）</p> <p>附 則</p> <p>1～3（略）</p> <p>4 当分の間、42年を超える期間勤続して退職した者で秋田市職員の退職手当に関する条例第3条第1項の規定に該当する退職をしたものに対する退職手当の基本額は、同項の規定にかかわらず、その者が同条例第5条の規定に該当する退職をしたものとし、かつ、その者の勤続期間を35年として同条例附則第9項の規定の例により計算して得られる額とする。</p> <p>5（略）</p> | <p>本則（略）</p> <p>附 則</p> <p>1～3（略）</p> <p>4 当分の間、42年を超える期間勤続して退職した者で秋田市職員の退職手当に関する条例第3条第1項の規定に該当する退職をしたものに対する退職手当の基本額は、同項の規定にかかわらず、その者が同条例第5条の規定に該当する退職をしたものとし、かつ、その者の勤続期間を35年として同条例附則第21項の規定の例により計算して得られる額とする。</p> <p>5（略）</p> |

秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（平成18年秋田市条例第57号）新旧対照表（附則第5項関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| <p>本則（略）</p> <p>附 則</p> <p>1（略）</p> <p>（経過措置）</p> <p>2 職員が新制度適用職員（職員であって、その者がこの条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に退職することによりこの条例による改正後の秋田市職員の退職手当に関する条例（以下「新条例」という。）の規定による退職手当の支給を受けることとなる者をいう。以下同じ。）として退職した場合において、その者が施行日の前日に現に退職した理由と同一の理由により退職したものとし、かつ、その者の同日までの勤続期間および同日における給料月額を基礎として、この条例による改正前の秋田市職員の退職手当に関する条例（以下「旧条例」という。）第3条から第5条の2までおよび第6条ならびに附則第21項から第23項まで、附則第27項および第28項、附則第10項の規定による改正前の秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（昭和38年秋田市条例第4号。以下この項および附則第4項において「昭和38年改正条例」という。）附則第5項、附則第11項の規定による改正前の昭和48年改正条例附則第5項から第8項までならびに附則第12項の規定による改正前の秋田市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例（平成15年秋田市条例第48号。以下この項および附則第4項において「平成15年改正条例」という。）附則第4項の規定により計算した額（当該勤続期間が43年又は44年の者であって、傷病もしくは死亡によらずにその者の都合により又は公務によらない傷病により退職したものにあっては、その者が旧条例第5条の規定に該当する退職をしたものとみなし、かつ、その者の当該勤続期間を35年として旧条例附則第21項の規定の例により計算して得られる額）にそれぞれ100分の83.7（当該勤続期間が20年以上の者（42年以下の者で傷病又は死亡によらずにその者の都合により退職したものおよび37年以上42年以下の者で公務によらない傷病により退職したものを除く。）にあっては、104分の83.7）を乗じて得た額が、<u>秋田市職員の退職手当に関する条例第2条の4から第5条の3までおよび第6条から第6条の5までならびに附則第9項から第11項まで、附則第15項および第16項、附則第6項、附則第7項、附則第10項の規定による改正後の昭和38年改正条例附則第5項、昭和48年改正条例附則第5項から第8項までならびに平成15年改正条例</u></p> | <p>本則（略）</p> <p>附 則</p> <p>1（略）</p> <p>（経過措置）</p> <p>2 職員が新制度適用職員（職員であって、その者がこの条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に退職することによりこの条例による改正後の秋田市職員の退職手当に関する条例（以下「新条例」という。）の規定による退職手当の支給を受けることとなる者をいう。以下同じ。）として退職した場合において、その者が施行日の前日に現に退職した理由と同一の理由により退職したものとし、かつ、その者の同日までの勤続期間および同日における給料月額を基礎として、この条例による改正前の秋田市職員の退職手当に関する条例（以下「旧条例」という。）第3条から第5条の2までおよび第6条ならびに附則第21項から第23項まで、附則第27項および第28項、附則第10項の規定による改正前の秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（昭和38年秋田市条例第4号。以下この項および附則第4項において「昭和38年改正条例」という。）附則第5項、附則第11項の規定による改正前の昭和48年改正条例附則第5項から第8項までならびに附則第12項の規定による改正前の秋田市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例（平成15年秋田市条例第48号。以下この項および附則第4項において「平成15年改正条例」という。）附則第4項の規定により計算した額（当該勤続期間が43年又は44年の者であって、傷病もしくは死亡によらずにその者の都合により又は公務によらない傷病により退職したものにあっては、その者が旧条例第5条の規定に該当する退職をしたものとみなし、かつ、その者の当該勤続期間を35年として旧条例附則第21項の規定の例により計算して得られる額）にそれぞれ100分の83.7（当該勤続期間が20年以上の者（42年以下の者で傷病又は死亡によらずにその者の都合により退職したものおよび37年以上42年以下の者で公務によらない傷病により退職したものを除く。）にあっては、104分の83.7）を乗じて得た額が、<u>新条例第2条の4から第5条の3までおよび第6条から第6条の5までならびに附則第21項から第23項まで、附則第27項および第28項、附則第6項、附則第7項、附則第10項の規定による改正後の昭和38年改正条例附則第5項、昭和48年改正条例附則第5項から第8項までならびに平成15年改正条例附則第4項の規定により計</u></p> |

| | |
|---|---|
| <p>附則第4項の規定により計算した退職手当の額（以下「新条例等退職手当額」という。）よりも多いときは、これらの規定にかかわらず、その多い額をもってその者に支給すべきこれらの規定による退職手当の額とする。</p> <p>以下（略）</p> | <p>算した退職手当の額（以下「新条例等退職手当額」という。）よりも多いときは、これらの規定にかかわらず、その多い額をもってその者に支給すべきこれらの規定による退職手当の額とする。</p> <p>以下（略）</p> |
|---|---|

議案第129号 秋田市職員定数条例の一部を改正する件

秋田市職員定数条例新旧対照表

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| <p>第1条 (略) (職員の定数)</p> <p>第2条 職員の定数は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 市長の事務部局の職員 <u>1,740人</u></p> <p>(2) 上下水道局の職員 <u>203人</u></p> <p>(3)～(7) (略)</p> <p>(8) 教育委員会の事務局および教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員 <u>330人</u></p> <p>(9) 消防職員 <u>445人</u></p> <p>以下 (略)</p> | <p>第1条 (略) (職員の定数)</p> <p>第2条 職員の定数は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 市長の事務部局の職員 <u>1,629人</u></p> <p>(2) 上下水道局の職員 <u>218人</u></p> <p>(3)～(7) (略)</p> <p>(8) 教育委員会の事務局および教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員 <u>461人</u></p> <p>(9) 消防職員 <u>410人</u></p> <p>以下 (略)</p> |

秋田市議会議員および秋田市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例新旧対照表

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|---|
| <p>第1条～第3条 (略)</p> <p>(選挙運動用自動車の使用に係る公費の支払)</p> <p>第4条 市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方である一般乗用旅客自動車運送事業者その他の者(以下「一般乗用旅客自動車運送事業者等」という。)に支払うべき金額のうち、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定める金額を、第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該一般乗用旅客自動車運送事業者等からの請求に基づき、当該一般乗用旅客自動車運送事業者等に対し支払う。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 当該契約が一般運送契約以外の契約である場合 次に掲げる区分に応じ、それぞれに定める金額</p> <p>ア 当該契約が選挙運動用自動車の借入れ契約(以下「自動車借入れ契約」という。)である場合 当該選挙運動用自動車(同一の日において自動車借入れ契約により2台以上の選挙運動用自動車を使用される場合には、当該候補者が指定するいずれか1台の選挙運動用自動車に限る。)のそれぞれにつき、選挙運動用自動車として使用された各日についてその使用に対し支払うべき金額(当該金額が<u>1万6,100円</u>を超える場合には、<u>1万6,100円</u>)の合計金額</p> <p>イ 当該契約が選挙運動用自動車の燃料の供給に関する契約である場合 当該契約に基づき当該選挙運動用自動車に供給した燃料の代金(当該選挙運動用自動車(これに代わり使用される他の選挙運動用自動車を含む。)が既に前条の規定による届出に係る契約に基づき供給を受けた燃料の代金と合算して、<u>7,700円</u>に当該候補者につき法第86条の4第1項、第2項、第5項、第6項又は第8項の規定による候補者の届出のあった日から当該選挙の期日の前日までの日数を乗じて得た金額に達するまでの部分の金額であることにつき、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)</p> <p>ウ (略)</p> | <p>第1条～第3条 (略)</p> <p>(選挙運動用自動車の使用に係る公費の支払)</p> <p>第4条 市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方である一般乗用旅客自動車運送事業者その他の者(以下「一般乗用旅客自動車運送事業者等」という。)に支払うべき金額のうち、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定める金額を、第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該一般乗用旅客自動車運送事業者等からの請求に基づき、当該一般乗用旅客自動車運送事業者等に対し支払う。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 当該契約が一般運送契約以外の契約である場合 次に掲げる区分に応じ、それぞれに定める金額</p> <p>ア 当該契約が選挙運動用自動車の借入れ契約(以下「自動車借入れ契約」という。)である場合 当該選挙運動用自動車(同一の日において自動車借入れ契約により2台以上の選挙運動用自動車を使用される場合には、当該候補者が指定するいずれか1台の選挙運動用自動車に限る。)のそれぞれにつき、選挙運動用自動車として使用された各日についてその使用に対し支払うべき金額(当該金額が<u>1万5,800円</u>を超える場合には、<u>1万5,800円</u>)の合計金額</p> <p>イ 当該契約が選挙運動用自動車の燃料の供給に関する契約である場合 当該契約に基づき当該選挙運動用自動車に供給した燃料の代金(当該選挙運動用自動車(これに代わり使用される他の選挙運動用自動車を含む。)が既に前条の規定による届出に係る契約に基づき供給を受けた燃料の代金と合算して、<u>7,560円</u>に当該候補者につき法第86条の4第1項、第2項、第5項、第6項又は第8項の規定による候補者の届出のあった日から当該選挙の期日の前日までの日数を乗じて得た金額に達するまでの部分の金額であることにつき、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)</p> <p>ウ (略)</p> |
| <p>第5条 (略)</p> <p>(選挙運動用ビラの作成の公営)</p> <p>第6条 候補者は、<u>7円73銭</u>に法第142条第1項第6号のビラ(以下「選挙運動用ビラ」という。)の作成枚数(当該作成枚数が同号に定める枚数を超える場合には、同号に定める枚数)を乗じて得た金額の範囲内で、選挙運動用ビラを無料で作成することができる。この場合に</p> | <p>第5条 (略)</p> <p>(選挙運動用ビラの作成の公営)</p> <p>第6条 候補者は、<u>7円51銭</u>に法第142条第1項第6号のビラ(以下「選挙運動用ビラ」という。)の作成枚数(当該作成枚数が同号に定める枚数を超える場合には、同号に定める枚数)を乗じて得た金額の範囲内で、選挙運動用ビラを無料で作成することができる。この場合に</p> |

においては、第2条ただし書の規定を準用する。

第7条 (略)

(選挙運動用ビラの作成に係る公費の支払)

第8条 市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるビラの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ビラの1枚当たりの作成単価(当該作成単価が、7円73銭を超える場合には、7円73銭)に当該選挙運動用ビラの作成枚数(当該候補者を通じて、法第142条第1項第6号に定める枚数の範囲内のものであることにつき、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額を、第6条後段において準用する第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ビラの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ビラの作成を業とする者に対し支払う。

(選挙運動用ポスターの作成の公営)

第9条 候補者は、28円35銭に当該選挙のポスター掲示場の数から500を減じて得た数を乗じて得た金額に58万6,905円を加えた金額を当該選挙のポスター掲示場の数で除して得た金額(1円未満の端数がある場合には、その端数は、1円とする。第11条において同じ。)に、法第143条第1項第5号のポスター(以下「選挙運動用ポスター」という。)の作成枚数(当該作成枚数が当該選挙のポスター掲示場の数に相当する数を超える場合には、当該相当する数)を乗じて得た金額の範囲内で、選挙運動用ポスターを無料で作成することができる。この場合においては、第2条ただし書の規定を準用する。

第10条 (略)

(選挙運動用ポスターの作成に係る公費の支払)

第11条 市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるポスターの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ポスターの1枚当たりの作成単価(当該作成単価が、28円35銭に当該選挙のポスター掲示場の数から500を減じて得た数を乗じて得た金額に58万6,905円を加えた金額を当該選挙のポスター掲示場の数で除して得た金額を超える場合には、当該除して得た金額)に、当該選挙運動用ポスターの作成枚数(当該候補者を通じて、当該選挙のポスター掲示場の数に相当する数の範囲内のものであることにつき、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額を、第9条後段において準用する第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ポスターの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ポスターの作成を業とする者に対し支払う。

第12条 (略)

においては、第2条ただし書の規定を準用する。

第7条 (略)

(選挙運動用ビラの作成に係る公費の支払)

第8条 市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるビラの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ビラの1枚当たりの作成単価(当該作成単価が、7円51銭を超える場合には、7円51銭)に当該選挙運動用ビラの作成枚数(当該候補者を通じて、法第142条第1項第6号に定める枚数の範囲内のものであることにつき、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額を、第6条後段において準用する第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ビラの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ビラの作成を業とする者に対し支払う。

(選挙運動用ポスターの作成の公営)

第9条 候補者は、27円50銭に当該選挙のポスター掲示場の数から500を減じて得た数を乗じて得た金額に57万3,030円を加えた金額を当該選挙のポスター掲示場の数で除して得た金額(1円未満の端数がある場合には、その端数は、1円とする。第11条において同じ。)に、法第143条第1項第5号のポスター(以下「選挙運動用ポスター」という。)の作成枚数(当該作成枚数が当該選挙のポスター掲示場の数に相当する数を超える場合には、当該相当する数)を乗じて得た金額の範囲内で、選挙運動用ポスターを無料で作成することができる。この場合においては、第2条ただし書の規定を準用する。

第10条 (略)

(選挙運動用ポスターの作成に係る公費の支払)

第11条 市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるポスターの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ポスターの1枚当たりの作成単価(当該作成単価が、27円50銭に当該選挙のポスター掲示場の数から500を減じて得た数を乗じて得た金額に57万3,030円を加えた金額を当該選挙のポスター掲示場の数で除して得た金額を超える場合には、当該除して得た金額)に、当該選挙運動用ポスターの作成枚数(当該候補者を通じて、当該選挙のポスター掲示場の数に相当する数の範囲内のものであることにつき、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額を、第9条後段において準用する第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ポスターの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ポスターの作成を業とする者に対し支払う。

第12条 (略)

秋田市職員給与条例新旧対照表（第1条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|---|
| <p>第1条～第26条の3 （略） （勤勉手当） 第27条 （略） 2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、別に定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、勤勉手当の額の、次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。 (1) 前項の職員のうち再任用職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、又は死亡した日現在。次項および附則第17項第5号において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額およびこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に、<u>6月に支給する場合には100分の92.5、12月に支給する場合には100分の102.5</u>を乗じて得た額の総額 (2) 前項の職員のうち再任用職員 当該再任用職員の勤勉手当基礎額に、<u>6月に支給する場合には100分の45、12月に支給する場合には100分の50</u>を乗じて得た額の総額 3～5 （略） 第27条の2～第30条 （略） <u>別表第1および別表第2</u> 別紙のとおり 以下 （略）</p> | <p>第1条～第26条の3 （略） （勤勉手当） 第27条 （略） 2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、別に定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、勤勉手当の額の、次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。 (1) 前項の職員のうち再任用職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、又は死亡した日現在。次項および附則第17項第5号において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額およびこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に<u>100分の92.5</u>を乗じて得た額の総額 (2) 前項の職員のうち再任用職員 当該再任用職員の勤勉手当基礎額に<u>100分の45</u>を乗じて得た額の総額 3～5 （略） 第27条の2～第30条 （略） <u>別表第1および別表第2</u> 別紙のとおり 以下 （略）</p> |

改 正 案

別表第1 行政職給料表(第3条関係)

ア 行政職給料表(1)

| 職員の 区分 | 職務 の級 号 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 | 7 級 | 8 級 |
|--|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 給料 月額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | 1 | 147,181 | 196,946 | 233,213 | 266,155 | 291,843 | 321,562 | 365,585 | 411,119 |
| | 2 | 148,289 | 198,760 | 234,824 | 267,968 | 294,060 | 323,778 | 368,204 | 413,537 |
| | 3 | 149,498 | 200,573 | 236,336 | 269,781 | 296,175 | 326,095 | 370,622 | 416,056 |
| | 4 | 150,606 | 202,386 | 237,947 | 271,897 | 298,190 | 328,311 | 373,241 | 418,473 |
| | 5 | 151,714 | 203,897 | 239,358 | 273,609 | 300,104 | 330,527 | 375,155 | 420,388 |
| | 6 | 152,822 | 205,711 | 241,070 | 275,423 | 302,220 | 332,542 | 377,674 | 422,705 |
| | 7 | 153,930 | 207,524 | 242,581 | 277,236 | 304,436 | 334,759 | 379,991 | 424,820 |
| | 8 | 155,038 | 209,337 | 244,193 | 279,251 | 306,451 | 336,975 | 382,509 | 427,036 |
| | 9 | 156,046 | 210,949 | 245,301 | 281,266 | 308,365 | 338,889 | 384,927 | 429,051 |
| | 10 | 157,456 | 212,762 | 246,813 | 283,280 | 310,682 | 341,105 | 387,647 | 431,167 |
| | 11 | 158,766 | 214,576 | 248,424 | 285,194 | 312,898 | 343,120 | 390,266 | 433,282 |
| | 12 | 160,075 | 216,389 | 249,734 | 287,109 | 315,215 | 345,336 | 392,986 | 435,398 |
| | 13 | 161,284 | 217,799 | 251,245 | 289,123 | 317,331 | 347,150 | 395,404 | 437,110 |
| | 14 | 162,795 | 219,613 | 252,655 | 291,037 | 319,446 | 349,164 | 397,721 | 438,924 |
| | 15 | 164,306 | 221,325 | 253,965 | 292,951 | 321,662 | 351,179 | 399,937 | 440,938 |
| | 16 | 165,918 | 223,139 | 255,375 | 294,765 | 323,778 | 353,194 | 402,355 | 442,953 |
| | 17 | 167,127 | 224,851 | 256,887 | 296,578 | 325,692 | 354,907 | 404,168 | 444,867 |
| | 18 | 168,638 | 226,564 | 258,398 | 298,593 | 327,707 | 356,921 | 406,183 | 446,681 |
| | 19 | 170,149 | 228,176 | 260,110 | 300,708 | 329,722 | 358,735 | 408,097 | 448,494 |
| | 20 | 171,660 | 229,787 | 261,924 | 302,723 | 331,736 | 360,649 | 409,911 | 450,207 |
| | 21 | 172,970 | 231,198 | 263,535 | 304,637 | 333,449 | 362,563 | 411,825 | 452,020 |
| | 22 | 175,690 | 232,910 | 265,248 | 306,753 | 335,564 | 364,477 | 413,638 | 453,531 |
| | 23 | 178,309 | 234,522 | 266,860 | 308,768 | 337,579 | 366,492 | 415,451 | 454,941 |
| | 24 | 180,929 | 236,134 | 268,472 | 310,883 | 339,695 | 368,406 | 417,365 | 456,452 |
| | 25 | 183,548 | 237,141 | 270,386 | 312,596 | 341,105 | 370,420 | 419,179 | 457,863 |
| | 26 | 185,260 | 238,653 | 272,199 | 314,711 | 343,019 | 372,335 | 420,690 | 459,172 |
| | 27 | 186,872 | 240,063 | 273,912 | 316,726 | 344,933 | 374,349 | 422,201 | 460,482 |
| | 28 | 188,585 | 241,272 | 275,624 | 318,741 | 346,847 | 376,364 | 423,813 | 461,691 |
| | 29 | 190,096 | 242,481 | 277,337 | 320,453 | 348,459 | 377,875 | 425,425 | 462,698 |
| | 30 | 191,808 | 243,690 | 279,049 | 322,468 | 350,373 | 379,689 | 426,734 | 463,404 |
| | 31 | 193,622 | 244,697 | 280,863 | 324,584 | 352,287 | 381,502 | 428,044 | 464,209 |
| | 32 | 195,334 | 245,906 | 282,374 | 326,699 | 354,101 | 383,114 | 429,253 | 464,915 |
| | 33 | 196,946 | 247,215 | 283,885 | 327,908 | 356,015 | 384,927 | 430,462 | 465,620 |
| | 34 | 198,357 | 248,223 | 285,799 | 329,923 | 357,828 | 386,337 | 431,771 | 466,426 |
| | 35 | 199,868 | 249,432 | 287,612 | 331,837 | 359,641 | 387,849 | 433,081 | 467,131 |
| | 36 | 201,379 | 250,741 | 289,526 | 333,953 | 361,354 | 389,460 | 434,290 | 467,735 |
| | 37 | 202,688 | 251,648 | 291,138 | 335,867 | 362,764 | 390,871 | 435,499 | 468,239 |
| | 38 | 203,998 | 252,958 | 292,851 | 337,781 | 364,074 | 392,080 | 436,304 | 468,843 |
| | 39 | 205,207 | 254,167 | 294,664 | 339,796 | 365,484 | 393,288 | 437,110 | 469,448 |
| 40 | 206,517 | 255,476 | 296,477 | 341,710 | 366,895 | 394,397 | 437,916 | 470,052 | |

現 行

別表第1 行政職給料表(第3条関係)

ア 行政職給料表(1)

| 職員の 区分 | 職務 の級 号 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 | 7 級 | 8 級 |
|--|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 給料 月額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | 1 | 145,079 | 195,319 | 231,564 | 264,788 | 290,864 | 321,370 | 365,367 | 410,875 |
| | 2 | 146,187 | 197,131 | 233,174 | 266,701 | 293,079 | 323,585 | 367,985 | 413,291 |
| | 3 | 147,395 | 198,943 | 234,685 | 268,513 | 295,395 | 325,901 | 370,401 | 415,808 |
| | 4 | 148,503 | 200,755 | 236,295 | 270,627 | 297,509 | 328,116 | 373,019 | 418,224 |
| | 5 | 149,610 | 202,266 | 237,705 | 272,339 | 299,422 | 330,331 | 374,932 | 420,137 |
| | 6 | 150,717 | 204,078 | 239,417 | 274,252 | 301,737 | 332,344 | 377,449 | 422,453 |
| | 7 | 151,825 | 205,890 | 240,927 | 276,165 | 304,053 | 334,559 | 379,764 | 424,567 |
| | 8 | 152,932 | 207,702 | 242,538 | 278,279 | 306,268 | 336,774 | 382,281 | 426,782 |
| | 9 | 154,040 | 209,313 | 243,746 | 280,293 | 308,181 | 338,687 | 384,698 | 428,796 |
| | 10 | 155,449 | 211,125 | 245,256 | 282,306 | 310,497 | 340,902 | 387,416 | 430,910 |
| | 11 | 156,758 | 212,938 | 246,867 | 284,421 | 312,712 | 342,916 | 390,034 | 433,024 |
| | 12 | 158,067 | 214,750 | 248,276 | 286,434 | 315,027 | 345,131 | 392,752 | 435,138 |
| | 13 | 159,376 | 216,159 | 249,787 | 288,448 | 317,142 | 346,943 | 395,169 | 436,850 |
| | 14 | 160,886 | 217,972 | 251,297 | 290,562 | 319,256 | 348,956 | 397,484 | 438,662 |
| | 15 | 162,396 | 219,683 | 252,606 | 292,576 | 321,471 | 350,970 | 399,699 | 440,676 |
| | 16 | 164,007 | 221,496 | 254,015 | 294,589 | 323,585 | 352,984 | 402,115 | 442,689 |
| | 17 | 165,316 | 223,207 | 255,525 | 296,401 | 325,498 | 354,695 | 404,928 | 444,602 |
| | 18 | 166,826 | 224,919 | 257,136 | 298,415 | 327,512 | 356,709 | 405,941 | 446,415 |
| | 19 | 168,336 | 226,530 | 258,848 | 300,529 | 329,525 | 358,521 | 407,854 | 448,227 |
| | 20 | 169,847 | 228,140 | 260,660 | 302,543 | 331,539 | 360,434 | 409,666 | 449,938 |
| | 21 | 171,256 | 229,550 | 262,271 | 304,456 | 333,250 | 362,347 | 411,579 | 451,751 |
| | 22 | 173,975 | 231,261 | 264,083 | 306,570 | 335,365 | 364,260 | 413,392 | 453,261 |
| | 23 | 176,592 | 232,872 | 265,795 | 308,584 | 337,378 | 366,273 | 415,204 | 454,670 |
| | 24 | 179,210 | 234,483 | 267,506 | 310,698 | 339,492 | 368,186 | 417,117 | 456,181 |
| | 25 | 181,928 | 235,591 | 269,419 | 312,410 | 340,902 | 370,200 | 418,929 | 457,590 |
| | 26 | 183,640 | 237,101 | 271,332 | 314,524 | 342,815 | 372,113 | 420,439 | 458,899 |
| | 27 | 185,251 | 238,510 | 273,144 | 316,537 | 344,728 | 374,126 | 421,949 | 460,208 |
| | 28 | 186,962 | 239,819 | 274,957 | 318,551 | 346,641 | 376,140 | 423,560 | 461,416 |
| | 29 | 188,472 | 241,128 | 276,668 | 320,263 | 348,252 | 377,650 | 425,171 | 462,423 |
| | 30 | 190,184 | 242,336 | 278,581 | 322,276 | 350,165 | 379,462 | 426,480 | 463,128 |
| | 31 | 191,996 | 243,343 | 280,494 | 324,390 | 352,077 | 381,275 | 427,789 | 463,933 |
| | 32 | 193,708 | 244,551 | 282,206 | 326,505 | 353,890 | 382,886 | 428,997 | 464,638 |
| | 33 | 195,319 | 245,860 | 283,716 | 327,713 | 355,803 | 384,698 | 430,205 | 465,342 |
| | 34 | 196,728 | 246,968 | 285,629 | 329,727 | 357,615 | 386,107 | 431,514 | 466,148 |
| | 35 | 198,238 | 248,176 | 287,441 | 331,639 | 359,427 | 387,618 | 432,823 | 466,853 |
| | 36 | 199,749 | 249,485 | 289,354 | 333,754 | 361,139 | 389,228 | 434,031 | 467,457 |
| | 37 | 201,057 | 250,391 | 290,965 | 335,667 | 362,548 | 390,638 | 435,239 | 467,960 |
| | 38 | 202,366 | 251,800 | 292,676 | 337,580 | 363,857 | 391,846 | 436,045 | 468,564 |
| | 39 | 203,574 | 253,210 | 294,489 | 339,593 | 365,267 | 393,054 | 436,850 | 469,168 |
| 40 | 204,883 | 254,619 | 296,301 | 341,506 | 366,676 | 394,162 | 437,655 | 469,772 | |

| | | | | | | | | |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 41 | 207,826 | 256,887 | 297,988 | 343,624 | 368,204 | 395,505 | 438,521 | 470,556 |
| 42 | 209,136 | 258,297 | 299,701 | 345,538 | 369,111 | 396,714 | 439,226 | 471,060 |
| 43 | 210,445 | 259,506 | 301,212 | 347,351 | 370,219 | 397,923 | 439,931 | 471,463 |
| 44 | 211,755 | 260,715 | 302,824 | 349,265 | 371,327 | 399,031 | 440,636 | 471,765 |
| 45 | 212,863 | 261,924 | 304,436 | 350,776 | 372,133 | 399,736 | 441,442 | 472,067 |
| 46 | 214,173 | 263,132 | 306,148 | 352,187 | 373,040 | 400,441 | 442,248 | |
| 47 | 215,482 | 264,442 | 307,760 | 353,698 | 373,946 | 401,146 | 442,651 | |
| 48 | 216,792 | 265,550 | 309,473 | 355,209 | 374,853 | 401,851 | 443,356 | |
| 49 | 217,900 | 266,658 | 310,379 | 356,821 | 375,760 | 402,456 | 443,860 | |
| 50 | 219,008 | 267,766 | 311,891 | 357,627 | 376,566 | 403,060 | 444,263 | |
| 51 | 220,016 | 269,076 | 313,402 | 358,835 | 377,372 | 403,564 | 444,666 | |
| 52 | 221,124 | 270,386 | 315,013 | 359,843 | 378,177 | 403,967 | 445,069 | |
| 53 | 222,232 | 271,393 | 316,625 | 360,749 | 378,883 | 404,370 | 445,472 | |
| 54 | 223,239 | 272,501 | 318,237 | 361,858 | 379,588 | 404,672 | 445,875 | |
| 55 | 224,146 | 273,811 | 319,849 | 362,764 | 380,293 | 404,974 | 446,278 | |
| 56 | 225,153 | 275,120 | 321,360 | 363,872 | 380,998 | 405,277 | 446,580 | |
| 57 | 225,456 | 276,027 | 322,871 | 364,779 | 381,502 | 405,579 | 446,882 | |
| 58 | 226,262 | 277,035 | 324,080 | 365,484 | 382,106 | 405,881 | 447,285 | |
| 59 | 227,067 | 277,941 | 325,289 | 366,189 | 382,711 | 406,183 | 447,587 | |
| 60 | 227,773 | 279,049 | 326,498 | 366,895 | 383,416 | 406,485 | 447,890 | |
| 61 | 228,478 | 280,157 | 327,203 | 367,298 | 383,819 | 406,788 | 448,192 | |
| 62 | 229,485 | 281,165 | 328,110 | 367,902 | 384,524 | 407,090 | | |
| 63 | 230,291 | 282,072 | 328,916 | 368,607 | 385,129 | 407,392 | | |
| 64 | 231,097 | 283,079 | 329,722 | 369,312 | 385,733 | 407,694 | | |
| 65 | 231,802 | 283,583 | 330,628 | 369,615 | 386,136 | 407,997 | | |
| 66 | 232,507 | 284,489 | 331,031 | 370,320 | 386,740 | 408,299 | | |
| 67 | 233,414 | 285,194 | 331,736 | 371,025 | 387,345 | 408,601 | | |
| 68 | 234,421 | 286,101 | 332,542 | 371,730 | 387,949 | 408,903 | | |
| 69 | 235,127 | 287,109 | 333,348 | 372,032 | 388,352 | 409,105 | | |
| 70 | 235,731 | 287,914 | 334,053 | 372,637 | 388,856 | 409,407 | | |
| 71 | 236,235 | 288,720 | 334,759 | 373,342 | 389,360 | 409,709 | | |
| 72 | 236,940 | 289,526 | 335,464 | 373,946 | 389,964 | 410,011 | | |
| 73 | 237,746 | 290,332 | 335,967 | 374,249 | 390,266 | 410,213 | | |
| 74 | 238,350 | 290,836 | 336,572 | 374,853 | 390,669 | 410,515 | | |
| 75 | 238,955 | 291,239 | 337,076 | 375,558 | 391,072 | 410,817 | | |
| 76 | 239,458 | 291,743 | 337,680 | 376,163 | 391,475 | 411,019 | | |
| 77 | 240,164 | 291,944 | 337,982 | 376,566 | 391,777 | 411,220 | | |
| 78 | 240,869 | 292,246 | 338,486 | 377,069 | 392,080 | 411,522 | | |
| 79 | 241,574 | 292,448 | 338,889 | 377,674 | 392,382 | 411,825 | | |
| 80 | 242,078 | 292,851 | 339,393 | 378,177 | 392,684 | 412,026 | | |
| 81 | 242,581 | 293,052 | 339,796 | 378,681 | 392,886 | 412,228 | | |
| 82 | 243,287 | 293,254 | 340,299 | 379,286 | 393,188 | 412,530 | | |
| 83 | 243,992 | 293,657 | 340,803 | 379,789 | 393,490 | 412,832 | | |
| 84 | 244,697 | 293,959 | 341,307 | 380,092 | 393,691 | 413,034 | | |
| 85 | 245,301 | 294,261 | 341,609 | 380,494 | 393,893 | 413,235 | | |
| 86 | 246,007 | 294,563 | 342,012 | 380,998 | 394,195 | | | |
| 87 | 246,712 | 294,865 | 342,516 | 381,401 | 394,497 | | | |
| 88 | 247,417 | 295,268 | 342,918 | 381,804 | 394,699 | | | |

| | | | | | | | | |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 41 | 206,192 | 256,029 | 297,811 | 343,419 | 367,985 | 395,269 | 438,260 | 470,276 |
| 42 | 207,501 | 257,438 | 299,523 | 345,332 | 368,891 | 396,477 | 438,964 | 470,779 |
| 43 | 208,810 | 258,848 | 301,033 | 347,144 | 369,999 | 397,686 | 439,669 | 471,182 |
| 44 | 210,119 | 260,157 | 302,644 | 349,057 | 371,106 | 398,793 | 440,374 | 471,484 |
| 45 | 211,226 | 261,365 | 304,254 | 350,567 | 371,911 | 399,498 | 441,179 | 471,786 |
| 46 | 212,535 | 262,674 | 305,966 | 351,977 | 372,818 | 400,203 | 441,985 | |
| 47 | 213,844 | 264,083 | 307,577 | 353,487 | 373,724 | 400,907 | 442,387 | |
| 48 | 215,153 | 265,392 | 309,288 | 354,997 | 374,630 | 401,612 | 443,092 | |
| 49 | 216,260 | 266,499 | 310,195 | 356,608 | 375,536 | 402,216 | 443,596 | |
| 50 | 217,368 | 267,607 | 311,705 | 357,414 | 376,341 | 402,820 | 443,998 | |
| 51 | 218,374 | 268,916 | 313,215 | 358,622 | 377,147 | 403,324 | 444,401 | |
| 52 | 219,482 | 270,225 | 314,826 | 359,628 | 377,952 | 403,726 | 444,804 | |
| 53 | 220,589 | 271,231 | 316,437 | 360,535 | 378,657 | 404,129 | 445,206 | |
| 54 | 221,596 | 272,339 | 318,048 | 361,642 | 379,362 | 404,431 | 445,609 | |
| 55 | 222,502 | 273,648 | 319,659 | 362,548 | 380,067 | 404,733 | 446,012 | |
| 56 | 223,509 | 274,957 | 321,169 | 363,656 | 380,771 | 405,035 | 446,314 | |
| 57 | 223,912 | 275,863 | 322,679 | 364,562 | 381,275 | 405,337 | 446,616 | |
| 58 | 224,818 | 276,870 | 323,887 | 365,267 | 381,879 | 405,639 | 447,019 | |
| 59 | 225,623 | 277,776 | 325,095 | 365,971 | 382,483 | 405,941 | 447,321 | |
| 60 | 226,429 | 278,883 | 326,303 | 366,676 | 383,188 | 406,243 | 447,623 | |
| 61 | 227,134 | 279,991 | 327,008 | 367,079 | 383,590 | 406,545 | 447,925 | |
| 62 | 228,140 | 280,997 | 327,914 | 367,683 | 384,295 | 406,847 | | |
| 63 | 228,946 | 281,904 | 328,720 | 368,388 | 384,899 | 407,149 | | |
| 64 | 229,852 | 282,910 | 329,525 | 369,092 | 385,503 | 407,451 | | |
| 65 | 230,557 | 283,414 | 330,431 | 369,394 | 385,906 | 407,754 | | |
| 66 | 231,362 | 284,320 | 330,834 | 370,099 | 386,510 | 408,056 | | |
| 67 | 232,268 | 285,025 | 331,539 | 370,804 | 387,114 | 408,358 | | |
| 68 | 233,275 | 285,931 | 332,344 | 371,509 | 387,718 | 408,660 | | |
| 69 | 233,980 | 286,938 | 333,150 | 371,811 | 388,121 | 408,861 | | |
| 70 | 234,685 | 287,743 | 333,854 | 372,415 | 388,624 | 409,163 | | |
| 71 | 235,289 | 288,548 | 334,559 | 373,120 | 389,128 | 409,465 | | |
| 72 | 236,094 | 289,354 | 335,264 | 373,724 | 389,732 | 409,767 | | |
| 73 | 236,900 | 290,159 | 335,767 | 374,026 | 390,034 | 409,968 | | |
| 74 | 237,604 | 290,663 | 336,371 | 374,630 | 390,437 | 410,271 | | |
| 75 | 238,309 | 291,065 | 336,875 | 375,335 | 390,839 | 410,573 | | |
| 76 | 238,913 | 291,569 | 337,479 | 375,939 | 391,242 | 410,774 | | |
| 77 | 239,618 | 291,770 | 337,781 | 376,341 | 391,544 | 410,975 | | |
| 78 | 240,423 | 292,072 | 338,284 | 376,845 | 391,846 | 411,277 | | |
| 79 | 241,229 | 292,274 | 338,687 | 377,449 | 392,148 | 411,579 | | |
| 80 | 241,934 | 292,676 | 339,190 | 377,952 | 392,450 | 411,781 | | |
| 81 | 242,437 | 292,878 | 339,593 | 378,456 | 392,652 | 411,982 | | |
| 82 | 243,142 | 293,079 | 340,097 | 379,060 | 392,954 | 412,284 | | |
| 83 | 243,846 | 293,482 | 340,600 | 379,563 | 393,256 | 412,586 | | |
| 84 | 244,551 | 293,784 | 341,103 | 379,865 | 393,457 | 412,788 | | |
| 85 | 245,155 | 294,086 | 341,405 | 380,268 | 393,658 | 412,989 | | |
| 86 | 245,860 | 294,388 | 341,808 | 380,771 | 393,960 | | | |
| 87 | 246,565 | 294,690 | 342,312 | 381,174 | 394,262 | | | |
| 88 | 247,270 | 295,093 | 342,714 | 381,577 | 394,464 | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 89 | <u>247,921</u> | <u>295,571</u> | <u>343,221</u> | <u>382,207</u> | <u>394,900</u> | | | | |
| 90 | <u>248,424</u> | <u>295,974</u> | <u>343,624</u> | <u>382,711</u> | <u>395,203</u> | | | | |
| 91 | <u>248,727</u> | <u>296,276</u> | <u>344,127</u> | <u>383,114</u> | <u>395,505</u> | | | | |
| 92 | <u>249,130</u> | <u>296,679</u> | <u>344,530</u> | <u>383,517</u> | <u>395,706</u> | | | | |
| 93 | <u>249,432</u> | <u>296,880</u> | <u>344,732</u> | <u>383,819</u> | <u>395,908</u> | | | | |
| 94 | | <u>297,082</u> | <u>345,135</u> | | | | | | |
| 95 | | <u>297,384</u> | <u>345,638</u> | | | | | | |
| 96 | | <u>297,787</u> | <u>346,041</u> | | | | | | |
| 97 | | <u>297,988</u> | <u>346,243</u> | | | | | | |
| 98 | | <u>298,291</u> | <u>346,646</u> | | | | | | |
| 99 | | <u>298,694</u> | <u>347,049</u> | | | | | | |
| 100 | | <u>299,097</u> | <u>347,351</u> | | | | | | |
| 101 | | <u>299,298</u> | <u>347,653</u> | | | | | | |
| 102 | | <u>299,600</u> | <u>348,056</u> | | | | | | |
| 103 | | <u>300,003</u> | <u>348,459</u> | | | | | | |
| 104 | | <u>300,305</u> | <u>348,862</u> | | | | | | |
| 105 | | <u>300,507</u> | <u>349,366</u> | | | | | | |
| 106 | | <u>300,809</u> | <u>349,769</u> | | | | | | |
| 107 | | <u>301,212</u> | <u>350,172</u> | | | | | | |
| 108 | | <u>301,514</u> | <u>350,575</u> | | | | | | |
| 109 | | <u>301,716</u> | <u>351,078</u> | | | | | | |
| 110 | | <u>302,119</u> | <u>351,481</u> | | | | | | |
| 111 | | <u>302,522</u> | <u>351,784</u> | | | | | | |
| 112 | | <u>302,824</u> | <u>352,086</u> | | | | | | |
| 113 | | <u>303,025</u> | <u>352,590</u> | | | | | | |
| 114 | | <u>303,227</u> | | | | | | | |
| 115 | | <u>303,529</u> | | | | | | | |
| 116 | | <u>303,932</u> | | | | | | | |
| 117 | | <u>304,134</u> | | | | | | | |
| 118 | | <u>304,335</u> | | | | | | | |
| 119 | | <u>304,637</u> | | | | | | | |
| 120 | | <u>304,939</u> | | | | | | | |
| 121 | | <u>305,342</u> | | | | | | | |
| 122 | | <u>305,544</u> | | | | | | | |
| 123 | | <u>305,846</u> | | | | | | | |
| 124 | | <u>306,148</u> | | | | | | | |
| 125 | | <u>306,451</u> | | | | | | | |
| 再任用職員 | | <u>189,088</u> | <u>216,792</u> | <u>257,088</u> | <u>276,632</u> | <u>291,843</u> | <u>317,431</u> | <u>359,440</u> | <u>392,785</u> |
| 任期付職員 | 1 | <u>151,714</u> | | | | | | | |
| | 2 | <u>183,548</u> | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 89 | <u>247,773</u> | <u>295,395</u> | <u>343,016</u> | <u>381,979</u> | <u>394,665</u> | | | | |
| 90 | <u>248,276</u> | <u>295,797</u> | <u>343,419</u> | <u>382,483</u> | <u>394,967</u> | | | | |
| 91 | <u>248,578</u> | <u>296,099</u> | <u>343,922</u> | <u>382,886</u> | <u>395,269</u> | | | | |
| 92 | <u>248,981</u> | <u>296,502</u> | <u>344,325</u> | <u>383,288</u> | <u>395,471</u> | | | | |
| 93 | <u>249,283</u> | <u>296,703</u> | <u>344,526</u> | <u>383,590</u> | <u>395,672</u> | | | | |
| 94 | | <u>296,905</u> | <u>344,929</u> | | | | | | |
| 95 | | <u>297,207</u> | <u>345,433</u> | | | | | | |
| 96 | | <u>297,610</u> | <u>345,835</u> | | | | | | |
| 97 | | <u>297,811</u> | <u>346,037</u> | | | | | | |
| 98 | | <u>298,113</u> | <u>346,439</u> | | | | | | |
| 99 | | <u>298,516</u> | <u>346,842</u> | | | | | | |
| 100 | | <u>298,918</u> | <u>347,144</u> | | | | | | |
| 101 | | <u>299,120</u> | <u>347,446</u> | | | | | | |
| 102 | | <u>299,422</u> | <u>347,849</u> | | | | | | |
| 103 | | <u>299,825</u> | <u>348,252</u> | | | | | | |
| 104 | | <u>300,127</u> | <u>348,654</u> | | | | | | |
| 105 | | <u>300,328</u> | <u>349,158</u> | | | | | | |
| 106 | | <u>300,630</u> | <u>349,560</u> | | | | | | |
| 107 | | <u>301,033</u> | <u>349,963</u> | | | | | | |
| 108 | | <u>301,335</u> | <u>350,366</u> | | | | | | |
| 109 | | <u>301,536</u> | <u>350,869</u> | | | | | | |
| 110 | | <u>301,939</u> | <u>351,272</u> | | | | | | |
| 111 | | <u>302,342</u> | <u>351,574</u> | | | | | | |
| 112 | | <u>302,644</u> | <u>351,876</u> | | | | | | |
| 113 | | <u>302,845</u> | <u>352,380</u> | | | | | | |
| 114 | | <u>303,046</u> | | | | | | | |
| 115 | | <u>303,348</u> | | | | | | | |
| 116 | | <u>303,751</u> | | | | | | | |
| 117 | | <u>303,952</u> | | | | | | | |
| 118 | | <u>304,154</u> | | | | | | | |
| 119 | | <u>304,456</u> | | | | | | | |
| 120 | | <u>304,758</u> | | | | | | | |
| 121 | | <u>305,161</u> | | | | | | | |
| 122 | | <u>305,362</u> | | | | | | | |
| 123 | | <u>305,664</u> | | | | | | | |
| 124 | | <u>305,966</u> | | | | | | | |
| 125 | | <u>306,268</u> | | | | | | | |
| 再任用職員 | | <u>188,976</u> | <u>216,663</u> | <u>256,935</u> | <u>276,467</u> | <u>291,669</u> | <u>317,242</u> | <u>359,226</u> | <u>392,551</u> |
| 任期付職員 | 1 | <u>149,610</u> | | | | | | | |
| | 2 | <u>181,928</u> | | | | | | | |

改 正 案

別表第2 医療職給料表（第3条関係）

ア 医療職給料表(1)

| 職員の 区分 | 職務 の級 号 俸 | 1 級 | 2 級 | 3 級 |
|--|-----------------|------------|------------|------------|
| | | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | | 円 | 円 | 円 |
| | 1 | 249,800 | 335,000 | 399,000 |
| | 2 | 252,300 | 338,000 | 401,900 |
| | 3 | 254,800 | 340,900 | 404,500 |
| | 4 | 257,300 | 343,800 | 407,200 |
| | 5 | 259,500 | 346,500 | 409,800 |
| | 6 | 263,300 | 349,700 | 412,200 |
| | 7 | 267,100 | 352,800 | 414,900 |
| | 8 | 270,900 | 355,900 | 417,300 |
| | 9 | 274,500 | 358,700 | 419,500 |
| | 10 | 278,500 | 361,400 | 422,200 |
| | 11 | 282,500 | 364,500 | 424,800 |
| | 12 | 286,500 | 367,700 | 427,500 |
| | 13 | 290,300 | 370,600 | 429,900 |
| | 14 | 294,300 | 374,100 | 432,400 |
| | 15 | 298,200 | 377,100 | 434,800 |
| | 16 | 302,100 | 380,700 | 437,300 |
| | 17 | 305,800 | 384,300 | 439,300 |
| | 18 | 309,400 | 387,000 | 441,700 |
| | 19 | 312,900 | 389,500 | 444,000 |
| | 20 | 316,500 | 392,100 | 446,400 |
| | 21 | 320,100 | 394,900 | 447,900 |
| | 22 | 323,800 | 397,200 | 450,300 |
| | 23 | 327,300 | 399,700 | 452,600 |
| | 24 | 330,600 | 401,800 | 454,900 |
| | 25 | 334,100 | 403,800 | 456,900 |
| | 26 | 336,800 | 406,100 | 459,200 |
| | 27 | 339,400 | 408,300 | 461,400 |
| | 28 | 342,000 | 410,600 | 463,700 |
| | 29 | 344,800 | 412,900 | 465,800 |
| | 30 | 346,700 | 415,000 | 468,100 |
| | 31 | 348,900 | 417,000 | 470,400 |
| | 32 | 351,300 | 419,100 | 472,600 |
| | 33 | 353,500 | 421,000 | 474,600 |
| | 34 | 355,800 | 422,800 | 476,700 |
| | 35 | 357,900 | 424,600 | 478,800 |
| | 36 | 360,200 | 426,600 | 480,900 |
| | 37 | 362,400 | 428,500 | 483,000 |
| | 38 | 364,800 | 430,500 | 484,800 |
| | 39 | 367,000 | 432,400 | 486,600 |
| 40 | 369,000 | 434,400 | 488,400 | |

現 行

別表第2 医療職給料表（第3条関係）

ア 医療職給料表(1)

| 職員の 区分 | 職務 の級 号 俸 | 1 級 | 2 級 | 3 級 |
|--|-----------------|------------|------------|------------|
| | | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 | 給 料 月 額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | | 円 | 円 | 円 |
| | 1 | 247,900 | 333,100 | 397,900 |
| | 2 | 250,400 | 336,100 | 400,800 |
| | 3 | 252,900 | 339,000 | 403,700 |
| | 4 | 255,400 | 342,000 | 406,500 |
| | 5 | 257,600 | 344,700 | 409,100 |
| | 6 | 261,400 | 348,000 | 411,800 |
| | 7 | 265,200 | 351,100 | 414,600 |
| | 8 | 269,000 | 354,200 | 417,300 |
| | 9 | 272,600 | 357,000 | 419,500 |
| | 10 | 276,600 | 359,900 | 422,200 |
| | 11 | 280,600 | 363,000 | 424,800 |
| | 12 | 284,600 | 366,200 | 427,500 |
| | 13 | 288,400 | 369,100 | 429,900 |
| | 14 | 292,400 | 372,700 | 432,400 |
| | 15 | 296,300 | 375,900 | 434,800 |
| | 16 | 300,200 | 379,600 | 437,300 |
| | 17 | 303,900 | 383,200 | 439,300 |
| | 18 | 307,500 | 385,900 | 441,700 |
| | 19 | 311,000 | 388,700 | 444,000 |
| | 20 | 314,600 | 391,400 | 446,400 |
| | 21 | 318,200 | 394,200 | 447,900 |
| | 22 | 321,900 | 396,800 | 450,300 |
| | 23 | 325,400 | 399,400 | 452,600 |
| | 24 | 328,900 | 401,800 | 454,900 |
| | 25 | 332,400 | 403,800 | 456,900 |
| | 26 | 335,200 | 406,100 | 459,200 |
| | 27 | 337,800 | 408,300 | 461,400 |
| | 28 | 340,400 | 410,600 | 463,700 |
| | 29 | 343,200 | 412,900 | 465,800 |
| | 30 | 345,300 | 415,000 | 468,100 |
| | 31 | 347,500 | 417,000 | 470,400 |
| | 32 | 349,900 | 419,100 | 472,600 |
| | 33 | 352,100 | 421,000 | 474,600 |
| | 34 | 354,500 | 422,800 | 476,700 |
| | 35 | 356,700 | 424,600 | 478,800 |
| | 36 | 359,200 | 426,600 | 480,900 |
| | 37 | 361,400 | 428,500 | 483,000 |
| | 38 | 363,800 | 430,500 | 484,800 |
| | 39 | 366,200 | 432,400 | 486,600 |
| 40 | 368,400 | 434,400 | 488,400 | |

| | | | | | | | |
|----|----------------|---------|---------|----|----------------|---------|---------|
| 41 | <u>371,300</u> | 436,200 | 490,100 | 41 | <u>370,700</u> | 436,200 | 490,100 |
| 42 | <u>372,500</u> | 438,000 | 491,900 | 42 | <u>372,100</u> | 438,000 | 491,900 |
| 43 | <u>373,900</u> | 439,700 | 493,700 | 43 | <u>373,600</u> | 439,700 | 493,700 |
| 44 | 375,000 | 441,500 | 495,500 | 44 | 375,000 | 441,500 | 495,500 |
| 45 | 376,200 | 443,300 | 497,100 | 45 | 376,200 | 443,300 | 497,100 |
| 46 | 377,600 | 445,100 | 498,800 | 46 | 377,600 | 445,100 | 498,800 |
| 47 | 379,100 | 446,900 | 500,600 | 47 | 379,100 | 446,900 | 500,600 |
| 48 | 380,600 | 448,600 | 502,400 | 48 | 380,600 | 448,600 | 502,400 |
| 49 | 381,700 | 450,400 | 504,000 | 49 | 381,700 | 450,400 | 504,000 |
| 50 | 382,700 | 452,100 | 505,300 | 50 | 382,700 | 452,100 | 505,300 |
| 51 | 383,700 | 453,900 | 506,600 | 51 | 383,700 | 453,900 | 506,600 |
| 52 | 384,500 | 455,700 | 507,900 | 52 | 384,500 | 455,700 | 507,900 |
| 53 | 385,400 | 457,600 | 508,900 | 53 | 385,400 | 457,600 | 508,900 |
| 54 | 386,300 | 458,800 | 510,200 | 54 | 386,300 | 458,800 | 510,200 |
| 55 | 387,000 | 460,000 | 511,500 | 55 | 387,000 | 460,000 | 511,500 |
| 56 | 387,900 | 461,200 | 512,800 | 56 | 387,900 | 461,200 | 512,800 |
| 57 | 388,600 | 462,400 | 513,800 | 57 | 388,600 | 462,400 | 513,800 |
| 58 | 389,500 | 463,400 | 514,600 | 58 | 389,500 | 463,400 | 514,600 |
| 59 | 390,300 | 464,400 | 515,400 | 59 | 390,300 | 464,400 | 515,400 |
| 60 | 391,100 | 465,400 | 516,200 | 60 | 391,100 | 465,400 | 516,200 |
| 61 | 391,600 | 466,200 | 517,100 | 61 | 391,600 | 466,200 | 517,100 |
| 62 | 392,100 | 466,900 | 517,900 | 62 | 392,100 | 466,900 | 517,900 |
| 63 | 392,500 | 467,600 | 518,800 | 63 | 392,500 | 467,600 | 518,800 |
| 64 | 393,000 | 468,300 | 519,600 | 64 | 393,000 | 468,300 | 519,600 |
| 65 | 393,300 | 469,000 | 520,500 | 65 | 393,300 | 469,000 | 520,500 |
| 66 | | 469,700 | 521,400 | 66 | | 469,700 | 521,400 |
| 67 | | 470,400 | 522,100 | 67 | | 470,400 | 522,100 |
| 68 | | 471,000 | 523,000 | 68 | | 471,000 | 523,000 |
| 69 | | 471,300 | 523,900 | 69 | | 471,300 | 523,900 |
| 70 | | 472,000 | 524,700 | 70 | | 472,000 | 524,700 |
| 71 | | 472,700 | 525,600 | 71 | | 472,700 | 525,600 |
| 72 | | 473,400 | 526,500 | 72 | | 473,400 | 526,500 |
| 73 | | 473,800 | 527,300 | 73 | | 473,800 | 527,300 |
| 74 | | 474,400 | 528,200 | 74 | | 474,400 | 528,200 |
| 75 | | 475,100 | 529,100 | 75 | | 475,100 | 529,100 |
| 76 | | 475,800 | 529,800 | 76 | | 475,800 | 529,800 |
| 77 | | 476,200 | 530,600 | 77 | | 476,200 | 530,600 |
| 78 | | 476,800 | 531,500 | 78 | | 476,800 | 531,500 |
| 79 | | 477,400 | 532,400 | 79 | | 477,400 | 532,400 |
| 80 | | 477,900 | 533,300 | 80 | | 477,900 | 533,300 |
| 81 | | 478,500 | 534,100 | 81 | | 478,500 | 534,100 |
| 82 | | 479,000 | 535,000 | 82 | | 479,000 | 535,000 |
| 83 | | 479,500 | 535,900 | 83 | | 479,500 | 535,900 |
| 84 | | 480,000 | 536,800 | 84 | | 480,000 | 536,800 |
| 85 | | 480,400 | 537,600 | 85 | | 480,400 | 537,600 |
| 86 | | 481,000 | 538,500 | 86 | | 481,000 | 538,500 |
| 87 | | 481,400 | 539,400 | 87 | | 481,400 | 539,400 |
| 88 | | 481,900 | 540,300 | 88 | | 481,900 | 540,300 |

| | | | | |
|-------|----|----------------|---------|---------|
| | 89 | | 482,400 | 541,100 |
| | 90 | | 483,000 | |
| | 91 | | 483,600 | |
| | 92 | | 484,000 | |
| | 93 | | 484,500 | |
| | 94 | | 485,100 | |
| | 95 | | 485,700 | |
| | 96 | | 486,300 | |
| | 97 | | 486,800 | |
| 再任用職員 | | 296,200 | 338,600 | 393,000 |
| 任期付職員 | | <u>274,500</u> | | |

| | | | | |
|-------|----|----------------|---------|---------|
| | 89 | | 482,400 | 541,100 |
| | 90 | | 483,000 | |
| | 91 | | 483,600 | |
| | 92 | | 484,000 | |
| | 93 | | 484,500 | |
| | 94 | | 485,100 | |
| | 95 | | 485,700 | |
| | 96 | | 486,300 | |
| | 97 | | 486,800 | |
| 再任用職員 | | 296,200 | 338,600 | 393,000 |
| 任期付職員 | | <u>272,600</u> | | |

改 正 案

イ 医療職給料表(2)

| 職員 の 区分 | 職務 の 級 号 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 |
|--|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 給 料 月 額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | 1 | 152,117 | 189,794 | 225,254 | 251,447 | 283,079 | 329,419 |
| | 2 | 153,527 | 191,406 | 226,866 | 252,655 | 284,993 | 331,434 |
| | 3 | 154,938 | 193,017 | 228,478 | 253,864 | 287,109 | 333,650 |
| | 4 | 156,348 | 194,629 | 230,090 | 255,275 | 289,123 | 335,867 |
| | 5 | 157,557 | 196,140 | 231,500 | 256,484 | 291,239 | 337,680 |
| | 6 | 159,370 | 197,651 | 233,112 | 257,692 | 293,354 | 339,896 |
| | 7 | 161,083 | 199,263 | 234,623 | 258,901 | 295,268 | 341,911 |
| | 8 | 162,695 | 200,774 | 236,235 | 259,909 | 297,283 | 344,127 |
| | 9 | 164,306 | 202,386 | 237,343 | 261,218 | 299,298 | 345,941 |
| | 10 | 166,019 | 204,099 | 238,854 | 262,024 | 301,313 | 348,056 |
| | 11 | 167,631 | 205,711 | 240,264 | 263,032 | 303,328 | 350,172 |
| | 12 | 169,444 | 207,423 | 241,473 | 264,039 | 305,342 | 352,287 |
| | 13 | 170,955 | 208,834 | 243,085 | 265,349 | 307,357 | 353,798 |
| | 14 | 172,869 | 210,445 | 244,495 | 266,558 | 309,271 | 355,813 |
| | 15 | 174,884 | 212,057 | 245,704 | 268,169 | 311,387 | 357,727 |
| | 16 | 176,798 | 213,669 | 247,115 | 269,580 | 313,402 | 359,742 |
| | 17 | 178,712 | 215,079 | 247,921 | 271,091 | 315,416 | 361,555 |
| | 18 | 180,526 | 216,691 | 249,130 | 272,803 | 317,431 | 363,570 |
| | 19 | 182,339 | 218,404 | 250,338 | 274,516 | 319,547 | 365,585 |
| | 20 | 184,253 | 220,116 | 251,447 | 276,229 | 321,662 | 367,600 |
| | 21 | 186,066 | 221,426 | 252,857 | 278,042 | 323,476 | 369,413 |
| | 22 | 187,577 | 222,937 | 253,764 | 279,754 | 325,490 | 371,428 |
| | 23 | 189,088 | 224,347 | 254,771 | 281,467 | 327,304 | 373,543 |
| | 24 | 190,600 | 225,859 | 255,879 | 283,079 | 329,319 | 375,659 |
| | 25 | 192,211 | 227,269 | 257,088 | 284,892 | 331,031 | 377,069 |
| | 26 | 193,521 | 228,679 | 258,297 | 286,605 | 332,945 | 378,883 |
| | 27 | 195,032 | 229,989 | 259,707 | 288,418 | 334,960 | 380,696 |
| | 28 | 196,443 | 231,299 | 261,218 | 290,030 | 336,975 | 382,409 |
| | 29 | 197,954 | 232,608 | 262,629 | 291,743 | 338,284 | 384,222 |
| | 30 | 199,162 | 234,019 | 264,241 | 293,556 | 340,098 | 385,733 |
| | 31 | 200,472 | 235,530 | 265,852 | 295,369 | 341,810 | 387,345 |
| | 32 | 201,782 | 236,940 | 267,363 | 297,283 | 343,624 | 389,057 |
| | 33 | 203,192 | 237,947 | 268,774 | 298,996 | 345,336 | 390,367 |
| | 34 | 204,602 | 239,257 | 270,486 | 300,708 | 347,150 | 391,677 |
| 35 | 205,912 | 240,264 | 272,098 | 302,522 | 349,064 | 392,986 | |

現 行

イ 医療職給料表(2)

| 職員 の 区分 | 職務 の 級 号 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 |
|--|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 給 料 月 額 |
| 再任用 職員お よび任 期付職 員以外 の職員 | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | 1 | 150,013 | 188,170 | 223,610 | 249,787 | 281,803 | 329,223 |
| | 2 | 151,422 | 189,781 | 225,221 | 250,995 | 283,816 | 331,237 |
| | 3 | 152,832 | 191,392 | 226,832 | 252,203 | 286,031 | 333,452 |
| | 4 | 154,241 | 193,003 | 228,442 | 253,612 | 288,146 | 335,667 |
| | 5 | 155,449 | 194,513 | 229,852 | 254,821 | 290,260 | 337,479 |
| | 6 | 157,262 | 196,023 | 231,463 | 256,029 | 292,374 | 339,694 |
| | 7 | 158,973 | 197,634 | 232,973 | 257,237 | 294,489 | 341,707 |
| | 8 | 160,685 | 199,145 | 234,584 | 258,344 | 296,603 | 343,922 |
| | 9 | 162,396 | 200,755 | 235,691 | 259,653 | 298,616 | 345,735 |
| | 10 | 164,108 | 202,467 | 237,202 | 260,660 | 300,831 | 347,849 |
| | 11 | 165,819 | 204,078 | 238,611 | 261,667 | 302,946 | 349,963 |
| | 12 | 167,632 | 205,789 | 239,819 | 262,674 | 305,161 | 352,077 |
| | 13 | 169,142 | 207,199 | 241,430 | 263,982 | 307,174 | 353,588 |
| | 14 | 171,055 | 208,810 | 242,840 | 265,291 | 309,087 | 355,601 |
| | 15 | 173,068 | 210,421 | 244,048 | 266,902 | 311,201 | 357,514 |
| | 16 | 174,981 | 212,032 | 245,457 | 268,312 | 313,215 | 359,528 |
| | 17 | 176,894 | 213,441 | 246,363 | 269,822 | 315,229 | 361,340 |
| | 18 | 178,807 | 215,052 | 247,572 | 271,634 | 317,242 | 363,354 |
| | 19 | 180,619 | 216,764 | 248,780 | 273,446 | 319,356 | 365,367 |
| | 20 | 182,532 | 218,475 | 249,988 | 275,259 | 321,471 | 367,381 |
| | 21 | 184,445 | 219,784 | 251,397 | 277,071 | 323,283 | 369,193 |
| | 22 | 185,955 | 221,294 | 252,404 | 278,883 | 325,297 | 371,207 |
| | 23 | 187,466 | 222,704 | 253,411 | 280,695 | 327,109 | 373,321 |
| | 24 | 188,976 | 224,214 | 254,519 | 282,407 | 329,122 | 375,435 |
| | 25 | 190,587 | 225,623 | 255,727 | 284,219 | 330,834 | 376,845 |
| | 26 | 191,896 | 227,033 | 257,036 | 286,132 | 332,747 | 378,657 |
| | 27 | 193,406 | 228,342 | 258,445 | 288,045 | 334,761 | 380,469 |
| | 28 | 194,815 | 229,651 | 259,955 | 289,857 | 336,774 | 382,181 |
| | 29 | 196,326 | 230,959 | 261,365 | 291,569 | 338,083 | 383,993 |
| | 30 | 197,534 | 232,369 | 263,076 | 293,381 | 339,895 | 385,503 |
| | 31 | 198,843 | 233,879 | 264,788 | 295,193 | 341,607 | 387,114 |
| | 32 | 200,151 | 235,289 | 266,399 | 297,106 | 343,419 | 388,826 |
| | 33 | 201,561 | 236,396 | 267,808 | 298,818 | 345,131 | 390,135 |
| | 34 | 202,970 | 237,705 | 269,621 | 300,529 | 346,943 | 391,443 |
| 35 | 204,279 | 238,712 | 271,332 | 302,342 | 348,856 | 392,752 | |

| | | | | | | |
|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 36 | <u>207,322</u> | <u>241,473</u> | <u>273,710</u> | <u>304,335</u> | <u>350,877</u> | <u>394,195</u> |
| 37 | <u>208,431</u> | <u>242,783</u> | <u>275,221</u> | <u>305,645</u> | <u>352,690</u> | <u>395,303</u> |
| 38 | <u>209,740</u> | <u>244,093</u> | <u>276,732</u> | <u>307,357</u> | <u>354,403</u> | <u>396,512</u> |
| 39 | <u>211,050</u> | <u>245,201</u> | <u>278,344</u> | <u>308,868</u> | <u>356,015</u> | <u>397,620</u> |
| 40 | <u>212,359</u> | <u>246,510</u> | <u>279,754</u> | <u>310,480</u> | <u>357,727</u> | <u>398,728</u> |
| 41 | <u>213,468</u> | <u>247,820</u> | <u>281,266</u> | <u>312,193</u> | <u>358,936</u> | <u>399,534</u> |
| 42 | <u>214,676</u> | <u>248,827</u> | <u>282,877</u> | <u>313,905</u> | <u>360,044</u> | <u>400,340</u> |
| 43 | <u>215,885</u> | <u>250,036</u> | <u>284,590</u> | <u>315,517</u> | <u>361,253</u> | <u>401,146</u> |
| 44 | <u>217,094</u> | <u>251,144</u> | <u>286,303</u> | <u>317,230</u> | <u>362,462</u> | <u>401,952</u> |
| 45 | <u>218,303</u> | <u>252,252</u> | <u>287,814</u> | <u>318,136</u> | <u>363,671</u> | <u>402,355</u> |
| 46 | <u>219,411</u> | <u>253,562</u> | <u>289,526</u> | <u>319,547</u> | <u>364,477</u> | <u>402,960</u> |
| 47 | <u>220,419</u> | <u>254,872</u> | <u>291,239</u> | <u>321,058</u> | <u>365,686</u> | <u>403,463</u> |
| 48 | <u>221,527</u> | <u>256,081</u> | <u>292,851</u> | <u>322,670</u> | <u>366,794</u> | <u>403,866</u> |
| 49 | <u>222,534</u> | <u>257,692</u> | <u>294,060</u> | <u>324,080</u> | <u>367,801</u> | <u>404,269</u> |
| 50 | <u>223,542</u> | <u>259,103</u> | <u>295,671</u> | <u>325,390</u> | <u>368,809</u> | <u>404,571</u> |
| 51 | <u>224,448</u> | <u>260,312</u> | <u>296,981</u> | <u>326,599</u> | <u>369,816</u> | <u>404,874</u> |
| 52 | <u>225,456</u> | <u>261,521</u> | <u>298,593</u> | <u>327,908</u> | <u>370,823</u> | <u>405,176</u> |
| 53 | <u>225,758</u> | <u>262,629</u> | <u>299,902</u> | <u>329,016</u> | <u>371,629</u> | <u>405,478</u> |
| 54 | <u>226,564</u> | <u>263,938</u> | <u>301,414</u> | <u>330,024</u> | <u>372,435</u> | <u>405,780</u> |
| 55 | <u>227,269</u> | <u>265,248</u> | <u>302,824</u> | <u>331,132</u> | <u>373,342</u> | <u>406,082</u> |
| 56 | <u>228,075</u> | <u>266,356</u> | <u>304,335</u> | <u>332,139</u> | <u>374,249</u> | <u>406,385</u> |
| 57 | <u>228,780</u> | <u>267,162</u> | <u>305,342</u> | <u>332,643</u> | <u>374,752</u> | <u>406,687</u> |
| 58 | <u>229,687</u> | <u>268,472</u> | <u>306,551</u> | <u>333,550</u> | <u>375,558</u> | <u>406,989</u> |
| 59 | <u>230,392</u> | <u>269,781</u> | <u>307,760</u> | <u>334,356</u> | <u>376,364</u> | <u>407,291</u> |
| 60 | <u>231,097</u> | <u>271,091</u> | <u>309,171</u> | <u>335,262</u> | <u>377,170</u> | <u>407,694</u> |
| 61 | <u>232,004</u> | <u>271,998</u> | <u>310,480</u> | <u>336,068</u> | <u>377,573</u> | <u>407,896</u> |
| 62 | <u>232,709</u> | <u>273,206</u> | <u>311,689</u> | <u>336,370</u> | <u>378,278</u> | <u>408,198</u> |
| 63 | <u>233,616</u> | <u>274,516</u> | <u>312,999</u> | <u>336,975</u> | <u>378,983</u> | <u>408,500</u> |
| 64 | <u>234,623</u> | <u>275,826</u> | <u>314,208</u> | <u>337,680</u> | <u>379,689</u> | <u>408,802</u> |
| 65 | <u>235,227</u> | <u>276,632</u> | <u>315,618</u> | <u>338,284</u> | <u>380,092</u> | <u>409,004</u> |
| 66 | <u>235,933</u> | <u>277,740</u> | <u>316,424</u> | <u>338,990</u> | <u>380,696</u> | |
| 67 | <u>236,638</u> | <u>278,646</u> | <u>317,230</u> | <u>339,695</u> | <u>381,401</u> | |
| 68 | <u>237,343</u> | <u>279,754</u> | <u>318,036</u> | <u>340,400</u> | <u>382,006</u> | |
| 69 | <u>238,048</u> | <u>280,762</u> | <u>318,640</u> | <u>341,105</u> | <u>382,409</u> | |
| 70 | <u>238,653</u> | <u>281,769</u> | <u>319,345</u> | <u>341,609</u> | <u>382,912</u> | |
| 71 | <u>239,257</u> | <u>282,877</u> | <u>320,050</u> | <u>342,213</u> | <u>383,416</u> | |
| 72 | <u>239,761</u> | <u>283,986</u> | <u>320,655</u> | <u>342,818</u> | <u>383,920</u> | |
| 73 | <u>240,466</u> | <u>284,590</u> | <u>321,360</u> | <u>343,120</u> | <u>384,524</u> | |
| 74 | <u>241,171</u> | <u>285,295</u> | <u>321,562</u> | <u>343,724</u> | <u>385,028</u> | |
| 75 | <u>241,876</u> | <u>285,799</u> | <u>322,166</u> | <u>344,228</u> | <u>385,632</u> | |
| 76 | <u>242,380</u> | <u>286,605</u> | <u>322,770</u> | <u>344,833</u> | <u>386,237</u> | |
| 77 | <u>242,783</u> | <u>287,411</u> | <u>323,375</u> | <u>345,336</u> | <u>386,740</u> | |
| 78 | <u>243,387</u> | <u>288,015</u> | <u>323,879</u> | <u>345,840</u> | <u>387,244</u> | |

| | | | | | | |
|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 36 | <u>205,689</u> | <u>240,021</u> | <u>273,044</u> | <u>304,154</u> | <u>350,668</u> | <u>393,960</u> |
| 37 | <u>206,796</u> | <u>241,430</u> | <u>274,554</u> | <u>305,463</u> | <u>352,480</u> | <u>395,068</u> |
| 38 | <u>208,105</u> | <u>242,739</u> | <u>276,265</u> | <u>307,174</u> | <u>354,192</u> | <u>396,276</u> |
| 39 | <u>209,414</u> | <u>243,846</u> | <u>277,977</u> | <u>308,684</u> | <u>355,803</u> | <u>397,383</u> |
| 40 | <u>210,723</u> | <u>245,155</u> | <u>279,588</u> | <u>310,295</u> | <u>357,514</u> | <u>398,491</u> |
| 41 | <u>211,830</u> | <u>246,464</u> | <u>281,098</u> | <u>312,007</u> | <u>358,722</u> | <u>399,296</u> |
| 42 | <u>213,038</u> | <u>247,572</u> | <u>282,709</u> | <u>313,718</u> | <u>359,830</u> | <u>400,102</u> |
| 43 | <u>214,247</u> | <u>248,780</u> | <u>284,421</u> | <u>315,329</u> | <u>361,038</u> | <u>400,907</u> |
| 44 | <u>215,455</u> | <u>249,887</u> | <u>286,132</u> | <u>317,041</u> | <u>362,246</u> | <u>401,713</u> |
| 45 | <u>216,663</u> | <u>250,995</u> | <u>287,642</u> | <u>317,947</u> | <u>363,454</u> | <u>402,115</u> |
| 46 | <u>217,770</u> | <u>252,404</u> | <u>289,354</u> | <u>319,356</u> | <u>364,260</u> | <u>402,720</u> |
| 47 | <u>218,777</u> | <u>253,914</u> | <u>291,065</u> | <u>320,867</u> | <u>365,468</u> | <u>403,223</u> |
| 48 | <u>219,885</u> | <u>255,223</u> | <u>292,676</u> | <u>322,478</u> | <u>366,575</u> | <u>403,626</u> |
| 49 | <u>220,891</u> | <u>256,834</u> | <u>293,884</u> | <u>323,887</u> | <u>367,582</u> | <u>404,028</u> |
| 50 | <u>221,898</u> | <u>258,244</u> | <u>295,495</u> | <u>325,196</u> | <u>368,589</u> | <u>404,330</u> |
| 51 | <u>222,804</u> | <u>259,653</u> | <u>296,804</u> | <u>326,404</u> | <u>369,596</u> | <u>404,632</u> |
| 52 | <u>223,811</u> | <u>260,962</u> | <u>298,415</u> | <u>327,713</u> | <u>370,603</u> | <u>404,934</u> |
| 53 | <u>224,214</u> | <u>262,070</u> | <u>299,724</u> | <u>328,820</u> | <u>371,408</u> | <u>405,237</u> |
| 54 | <u>225,120</u> | <u>263,479</u> | <u>301,234</u> | <u>329,827</u> | <u>372,213</u> | <u>405,539</u> |
| 55 | <u>225,825</u> | <u>264,889</u> | <u>302,644</u> | <u>330,935</u> | <u>373,120</u> | <u>405,841</u> |
| 56 | <u>226,731</u> | <u>266,197</u> | <u>304,154</u> | <u>331,941</u> | <u>374,026</u> | <u>406,143</u> |
| 57 | <u>227,436</u> | <u>267,003</u> | <u>305,161</u> | <u>332,445</u> | <u>374,529</u> | <u>406,445</u> |
| 58 | <u>228,342</u> | <u>268,312</u> | <u>306,369</u> | <u>333,351</u> | <u>375,335</u> | <u>406,747</u> |
| 59 | <u>229,047</u> | <u>269,621</u> | <u>307,577</u> | <u>334,156</u> | <u>376,140</u> | <u>407,049</u> |
| 60 | <u>229,852</u> | <u>270,929</u> | <u>308,986</u> | <u>335,063</u> | <u>376,945</u> | <u>407,451</u> |
| 61 | <u>230,758</u> | <u>271,836</u> | <u>310,295</u> | <u>335,868</u> | <u>377,348</u> | <u>407,653</u> |
| 62 | <u>231,564</u> | <u>273,044</u> | <u>311,503</u> | <u>336,170</u> | <u>378,053</u> | <u>407,955</u> |
| 63 | <u>232,470</u> | <u>274,353</u> | <u>312,812</u> | <u>336,774</u> | <u>378,758</u> | <u>408,257</u> |
| 64 | <u>233,476</u> | <u>275,661</u> | <u>314,020</u> | <u>337,479</u> | <u>379,462</u> | <u>408,559</u> |
| 65 | <u>234,081</u> | <u>276,467</u> | <u>315,430</u> | <u>338,083</u> | <u>379,865</u> | <u>408,760</u> |
| 66 | <u>234,886</u> | <u>277,574</u> | <u>316,235</u> | <u>338,788</u> | <u>380,469</u> | |
| 67 | <u>235,691</u> | <u>278,480</u> | <u>317,041</u> | <u>339,492</u> | <u>381,174</u> | |
| 68 | <u>236,497</u> | <u>279,588</u> | <u>317,846</u> | <u>340,197</u> | <u>381,778</u> | |
| 69 | <u>237,202</u> | <u>280,595</u> | <u>318,450</u> | <u>340,902</u> | <u>382,181</u> | |
| 70 | <u>237,906</u> | <u>281,601</u> | <u>319,155</u> | <u>341,405</u> | <u>382,684</u> | |
| 71 | <u>238,611</u> | <u>282,709</u> | <u>319,860</u> | <u>342,009</u> | <u>383,188</u> | |
| 72 | <u>239,215</u> | <u>283,816</u> | <u>320,464</u> | <u>342,614</u> | <u>383,691</u> | |
| 73 | <u>239,920</u> | <u>284,421</u> | <u>321,169</u> | <u>342,916</u> | <u>384,295</u> | |
| 74 | <u>240,725</u> | <u>285,125</u> | <u>321,370</u> | <u>343,520</u> | <u>384,798</u> | |
| 75 | <u>241,531</u> | <u>285,629</u> | <u>321,974</u> | <u>344,023</u> | <u>385,403</u> | |
| 76 | <u>242,236</u> | <u>286,434</u> | <u>322,578</u> | <u>344,627</u> | <u>386,007</u> | |
| 77 | <u>242,638</u> | <u>287,240</u> | <u>323,182</u> | <u>345,131</u> | <u>386,510</u> | |
| 78 | <u>243,242</u> | <u>287,844</u> | <u>323,686</u> | <u>345,634</u> | <u>387,013</u> | |

| | | | | | | |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 79 | <u>243,992</u> | <u>288,620</u> | <u>324,382</u> | <u>346,344</u> | <u>387,748</u> | |
| 80 | <u>244,596</u> | <u>289,224</u> | <u>324,886</u> | <u>346,747</u> | <u>388,251</u> | |
| 81 | <u>244,898</u> | <u>289,929</u> | <u>325,490</u> | <u>347,049</u> | <u>388,554</u> | |
| 82 | <u>245,301</u> | <u>290,433</u> | <u>325,994</u> | <u>347,351</u> | <u>389,057</u> | |
| 83 | <u>245,704</u> | <u>290,836</u> | <u>326,397</u> | <u>347,754</u> | <u>389,460</u> | |
| 84 | <u>246,007</u> | <u>291,239</u> | <u>326,901</u> | <u>348,056</u> | <u>389,863</u> | |
| 85 | <u>246,309</u> | <u>291,440</u> | <u>327,405</u> | <u>348,560</u> | <u>390,266</u> | |
| 86 | | <u>291,642</u> | <u>327,807</u> | <u>348,862</u> | | |
| 87 | | <u>291,843</u> | <u>328,009</u> | <u>349,164</u> | | |
| 88 | | <u>292,045</u> | <u>328,412</u> | <u>349,467</u> | | |
| 89 | | <u>292,448</u> | <u>328,815</u> | <u>349,870</u> | | |
| 90 | | <u>292,649</u> | <u>329,218</u> | <u>350,172</u> | | |
| 91 | | <u>292,851</u> | <u>329,621</u> | <u>350,575</u> | | |
| 92 | | <u>293,052</u> | <u>330,024</u> | <u>350,877</u> | | |
| 93 | | <u>293,455</u> | <u>330,326</u> | <u>351,280</u> | | |
| 94 | | <u>293,657</u> | <u>330,527</u> | <u>351,582</u> | | |
| 95 | | <u>293,858</u> | <u>330,930</u> | <u>351,884</u> | | |
| 96 | | <u>294,160</u> | <u>331,233</u> | <u>352,187</u> | | |
| 97 | | <u>294,563</u> | <u>331,434</u> | <u>352,489</u> | | |
| 98 | | <u>294,865</u> | <u>331,736</u> | <u>352,892</u> | | |
| 99 | | <u>295,067</u> | <u>332,039</u> | <u>353,295</u> | | |
| 100 | | <u>295,369</u> | <u>332,341</u> | <u>353,698</u> | | |
| 101 | | <u>295,671</u> | <u>332,542</u> | <u>354,201</u> | | |
| 102 | | <u>295,873</u> | <u>332,844</u> | <u>354,604</u> | | |
| 103 | | <u>296,074</u> | <u>333,247</u> | <u>355,007</u> | | |
| 104 | | <u>296,377</u> | <u>333,449</u> | <u>355,410</u> | | |
| 105 | | <u>296,679</u> | <u>333,650</u> | <u>355,914</u> | | |
| 106 | | | <u>333,852</u> | | | |
| 107 | | | <u>334,255</u> | | | |
| 108 | | | <u>334,456</u> | | | |
| 109 | | | <u>334,658</u> | | | |
| 110 | | | <u>335,061</u> | | | |
| 111 | | | <u>335,464</u> | | | |
| 112 | | | <u>335,867</u> | | | |
| 113 | | | <u>336,068</u> | | | |
| 再任用 職員 | <u>190,096</u> | <u>216,893</u> | <u>245,301</u> | <u>258,801</u> | <u>284,187</u> | <u>325,188</u> |
| 任期付 職員 | | <u>189,794</u> | | | | |

| | | | | | | |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 79 | <u>243,846</u> | <u>288,448</u> | <u>324,189</u> | <u>346,137</u> | <u>387,517</u> | |
| 80 | <u>244,451</u> | <u>289,052</u> | <u>324,693</u> | <u>346,540</u> | <u>388,020</u> | |
| 81 | <u>244,753</u> | <u>289,757</u> | <u>325,297</u> | <u>346,842</u> | <u>388,322</u> | |
| 82 | <u>245,155</u> | <u>290,260</u> | <u>325,800</u> | <u>347,144</u> | <u>388,826</u> | |
| 83 | <u>245,558</u> | <u>290,663</u> | <u>326,203</u> | <u>347,547</u> | <u>389,228</u> | |
| 84 | <u>245,860</u> | <u>291,065</u> | <u>326,706</u> | <u>347,849</u> | <u>389,631</u> | |
| 85 | <u>246,162</u> | <u>291,267</u> | <u>327,210</u> | <u>348,352</u> | <u>390,034</u> | |
| 86 | | <u>291,468</u> | <u>327,612</u> | <u>348,654</u> | | |
| 87 | | <u>291,669</u> | <u>327,814</u> | <u>348,956</u> | | |
| 88 | | <u>291,871</u> | <u>328,216</u> | <u>349,258</u> | | |
| 89 | | <u>292,274</u> | <u>328,619</u> | <u>349,661</u> | | |
| 90 | | <u>292,475</u> | <u>329,022</u> | <u>349,963</u> | | |
| 91 | | <u>292,676</u> | <u>329,424</u> | <u>350,366</u> | | |
| 92 | | <u>292,878</u> | <u>329,827</u> | <u>350,668</u> | | |
| 93 | | <u>293,280</u> | <u>330,129</u> | <u>351,071</u> | | |
| 94 | | <u>293,482</u> | <u>330,331</u> | <u>351,373</u> | | |
| 95 | | <u>293,683</u> | <u>330,733</u> | <u>351,675</u> | | |
| 96 | | <u>293,985</u> | <u>331,035</u> | <u>351,977</u> | | |
| 97 | | <u>294,388</u> | <u>331,237</u> | <u>352,279</u> | | |
| 98 | | <u>294,690</u> | <u>331,539</u> | <u>352,682</u> | | |
| 99 | | <u>294,891</u> | <u>331,841</u> | <u>353,084</u> | | |
| 100 | | <u>295,193</u> | <u>332,143</u> | <u>353,487</u> | | |
| 101 | | <u>295,495</u> | <u>332,344</u> | <u>353,990</u> | | |
| 102 | | <u>295,697</u> | <u>332,646</u> | <u>354,393</u> | | |
| 103 | | <u>295,898</u> | <u>333,049</u> | <u>354,796</u> | | |
| 104 | | <u>296,200</u> | <u>333,250</u> | <u>355,199</u> | | |
| 105 | | <u>296,502</u> | <u>333,452</u> | <u>355,702</u> | | |
| 106 | | | <u>333,653</u> | | | |
| 107 | | | <u>334,056</u> | | | |
| 108 | | | <u>334,257</u> | | | |
| 109 | | | <u>334,458</u> | | | |
| 110 | | | <u>334,861</u> | | | |
| 111 | | | <u>335,264</u> | | | |
| 112 | | | <u>335,667</u> | | | |
| 113 | | | <u>335,868</u> | | | |
| 再任用 職員 | <u>189,983</u> | <u>216,764</u> | <u>245,155</u> | <u>258,646</u> | <u>284,018</u> | <u>324,995</u> |
| 任期付 職員 | | <u>188,170</u> | | | | |

秋田市職員給与条例新旧対照表（第2条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|--|
| <p>第1条～第26条の3 （略） （勤勉手当） 第27条 （略）</p> <p>2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、別に定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、勤勉手当の額の、次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。</p> <p>(1) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額およびこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に<u>100分の97.5</u>を乗じて得た額の総額</p> <p>(2) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員 当該定年前再任用短時間勤務職員の勤勉手当基礎額に<u>100分の47.5</u>を乗じて得た額の総額</p> <p>3～5 （略） 以下 （略）</p> | <p>第1条～第26条の3 （略） （勤勉手当） 第27条 （略）</p> <p>2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、別に定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、勤勉手当の額の、次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。</p> <p>(1) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額およびこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に、<u>6月に支給する場合には100分の92.5、12月に支給する場合には100分の102.5</u>を乗じて得た額の総額</p> <p>(2) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員 当該定年前再任用短時間勤務職員の勤勉手当基礎額に、<u>6月に支給する場合には100分の45、12月に支給する場合には100分の50</u>を乗じて得た額の総額</p> <p>3～5 （略） 以下 （略）</p> |

秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例新旧対照表（第3条関係）

| 改 正 案 | 現 行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------|---------|--|---|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|-----|---------|--|---|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|----------------|---|----------------|
| <p>第1条～第7条（略） （特定任期付職員に係る秋田市職員給与条例等の適用除外等）</p> <p>第8条（略）</p> <p>2 特定任期付職員に対する秋田市職員給与条例第10条の2第1項、第13条第2項の表第19号、第17条の3第1項、第22条および第26条第2項の規定の適用については、同条例第10条の2第1項中「職員（）」とあるのは「職員（医療業務に従事する任期付職員条例第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員（以下「特定任期付職員」という。）を含み、）」と、同条例第13条第2項の表第19号中「職員」とあるのは「職員および医療業務に従事する特定任期付職員」と、同条例第17条の3第1項中「職員が」とあるのは「職員（特定任期付職員を含む。）が」と、同条例第22条中「第3条」とあるのは「任期付職員条例第7条」と、同条例第26条第2項中「100分の117.5」とあるのは「<u>6月に支給する場合には100分の157.5、12月に支給する場合には100分の167.5</u>」とする。</p> <p>3（略）</p> <p>第9条および第10条（略）</p> <p>別表 特定任期付職員給料表（第7条関係）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">号 俸</th> <th style="text-align: center;">給 料 月 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;"><u>377,775</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: right;"><u>425,122</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;"><u>475,492</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: right;"><u>536,944</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: right;"><u>612,499</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: right;"><u>715,254</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: right;"><u>836,142</u></td> </tr> </tbody> </table> | 号 俸 | 給 料 月 額 | | 円 | 1 | <u>377,775</u> | 2 | <u>425,122</u> | 3 | <u>475,492</u> | 4 | <u>536,944</u> | 5 | <u>612,499</u> | 6 | <u>715,254</u> | 7 | <u>836,142</u> | <p>第1条～第7条（略） （特定任期付職員に係る秋田市職員給与条例等の適用除外等）</p> <p>第8条（略）</p> <p>2 特定任期付職員に対する秋田市職員給与条例第10条の2第1項、第13条第2項の表第19号、第17条の3第1項、第22条および第26条第2項の規定の適用については、同条例第10条の2第1項中「職員（）」とあるのは「職員（医療業務に従事する任期付職員条例第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員（以下「特定任期付職員」という。）を含み、）」と、同条例第13条第2項の表第19号中「職員」とあるのは「職員および医療業務に従事する特定任期付職員」と、同条例第17条の3第1項中「職員が」とあるのは「職員（特定任期付職員を含む。）が」と、同条例第22条中「第3条」とあるのは「任期付職員条例第7条」と、同条例第26条第2項中「100分の117.5」とあるのは「<u>100分の157.5</u>」とする。</p> <p>3（略）</p> <p>第9条および第10条（略）</p> <p>別表 特定任期付職員給料表（第7条関係）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">号 俸</th> <th style="text-align: center;">給 料 月 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;"><u>376,543</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: right;"><u>424,869</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;"><u>475,209</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: right;"><u>536,624</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: right;"><u>612,134</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: right;"><u>714,828</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: right;"><u>835,714</u></td> </tr> </tbody> </table> | 号 俸 | 給 料 月 額 | | 円 | 1 | <u>376,543</u> | 2 | <u>424,869</u> | 3 | <u>475,209</u> | 4 | <u>536,624</u> | 5 | <u>612,134</u> | 6 | <u>714,828</u> | 7 | <u>835,714</u> |
| 号 俸 | 給 料 月 額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | <u>377,775</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | <u>425,122</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | <u>475,492</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | <u>536,944</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | <u>612,499</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | <u>715,254</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | <u>836,142</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 号 俸 | 給 料 月 額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | <u>376,543</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | <u>424,869</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | <u>475,209</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | <u>536,624</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | <u>612,134</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | <u>714,828</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | <u>835,714</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

秋田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例新旧対照表（第4条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| <p>第1条～第7条（略） （特定任期付職員に係る秋田市職員給与条例等の適用除外等）</p> <p>第8条（略）</p> <p>2 特定任期付職員に対する秋田市職員給与条例第10条の2第1項、第13条第2項の表第19号、第17条の3第1項、第22条および第26条第2項の規定の適用については、同条例第10条の2第1項中「職員（）」とあるのは「職員（医療業務に従事する任期付職員条例第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員（以下「特定任期付職員」という。）を含み、）」と、同条例第13条第2項の表第19号中「職員」とあるのは「職員および医療業務に従事する特定任期付職員」と、同条例第17条の3第1項中「職員が」とあるのは「職員（特定任期付職員を含む。）が」と、同条例第22条中「第3条」とあるのは「任期付職員条例第7条」と、同条例第26条第2項中「100分の117.5」とあるのは「<u>100分の162.5</u>」とする。</p> <p>3（略）</p> <p>以下（略）</p> | <p>第1条～第7条（略） （特定任期付職員に係る秋田市職員給与条例等の適用除外等）</p> <p>第8条（略）</p> <p>2 特定任期付職員に対する秋田市職員給与条例第10条の2第1項、第13条第2項の表第19号、第17条の3第1項、第22条および第26条第2項の規定の適用については、同条例第10条の2第1項中「職員（）」とあるのは「職員（医療業務に従事する任期付職員条例第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員（以下「特定任期付職員」という。）を含み、）」と、同条例第13条第2項の表第19号中「職員」とあるのは「職員および医療業務に従事する特定任期付職員」と、同条例第17条の3第1項中「職員が」とあるのは「職員（特定任期付職員を含む。）が」と、同条例第22条中「第3条」とあるのは「<u>任期付職員条例第7条</u>」と、同条例第26条第2項中「100分の117.5」とあるのは「<u>、6月に支給する場合には100分の157.5、12月に支給する場合には100分の167.5</u>」とする。</p> <p>3（略）</p> <p>以下（略）</p> |

秋田市職員給与条例等の一部を改正する条例（令和4年秋田市条例第 号）新旧対照表（附則第5項関係）

| 改 正 案 | | | | | | | | | | 現 行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|---|---------|---|---|---|---|---|---|---|--|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|---------|--|---------|---------|---------|---------|------|------|-------|------|------|---------|--|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|-------|---|---------|--|--|---|---|--|--|--|--|--|---|---------|--|--|---------------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|-----------|-----------|--|--|---|---|---|---|---|---------------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|--|-------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|--|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|-------|--|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| (秋田市職員給与条例の一部改正) | | | | | | | | | | (秋田市職員給与条例の一部改正) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1条 秋田市職員給与条例（昭和28年秋田市条例第4号）の一部を次のように改正する。 | | | | | | | | | | 第1条 秋田市職員給与条例（昭和28年秋田市条例第4号）の一部を次のように改正する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (中略) | | | | | | | | | | (中略) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 別表第1のアの表中「再任用職員および」を「定年前再任用短時間勤務職員および」に、 | | | | | | | | | | 別表第1のアの表中「再任用職員および」を「定年前再任用短時間勤務職員および」に、 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>再任用職員</td> <td></td> <td>189,088</td> <td>216,792</td> <td>257,088</td> <td>276,632</td> <td>291,843</td> <td>317,431</td> <td>359,440</td> <td>392,785</td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td>1</td> <td>151,714</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>183,548</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 再任用職員 | | 189,088 | 216,792 | 257,088 | 276,632 | 291,843 | 317,431 | 359,440 | 392,785 | | 任期付職員 | 1 | 151,714 | | | | | | | | | | 2 | 183,548 | | | | | | | | | を | <table border="1"> <tr> <td>再任用職員</td> <td></td> <td>188,976</td> <td>216,663</td> <td>256,935</td> <td>276,467</td> <td>291,669</td> <td>317,242</td> <td>359,226</td> <td>392,551</td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td>1</td> <td>149,610</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>181,928</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 再任用職員 | | 188,976 | 216,663 | 256,935 | 276,467 | 291,669 | 317,242 | 359,226 | 392,551 | | 任期付職員 | 1 | 149,610 | | | | | | | | | | 2 | 181,928 | | | | | | | | | を | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再任用職員 | | 189,088 | 216,792 | 257,088 | 276,632 | 291,843 | 317,431 | 359,440 | 392,785 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | 1 | 151,714 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 183,548 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再任用職員 | | 188,976 | 216,663 | 256,935 | 276,467 | 291,669 | 317,242 | 359,226 | 392,551 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | 1 | 149,610 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 181,928 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>定年前再任用短時間勤務職員</td> <td></td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>189,088</td> <td>216,792</td> <td>257,088</td> <td>276,632</td> <td>291,843</td> <td>317,431</td> <td>359,440</td> <td>392,785</td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>151,714</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>183,548</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | 189,088 | 216,792 | 257,088 | 276,632 | 291,843 | 317,431 | 359,440 | 392,785 | | 任期付職員 | | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | | | 円 | | | | | | | | | | 1 | 151,714 | | | | | | | | | | 2 | 183,548 | | | | | | | | | に | <table border="1"> <tr> <td>定年前再任用短時間勤務職員</td> <td></td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>188,976</td> <td>216,663</td> <td>256,935</td> <td>276,467</td> <td>291,669</td> <td>317,242</td> <td>359,226</td> <td>392,551</td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>149,610</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>181,928</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | 188,976 | 216,663 | 256,935 | 276,467 | 291,669 | 317,242 | 359,226 | 392,551 | | 任期付職員 | | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | | | 円 | | | | | | | | | | 1 | 149,610 | | | | | | | | | | 2 | 181,928 | | | | | | | | | に |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 189,088 | 216,792 | 257,088 | 276,632 | 291,843 | 317,431 | 359,440 | 392,785 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 | 151,714 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 183,548 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 188,976 | 216,663 | 256,935 | 276,467 | 291,669 | 317,242 | 359,226 | 392,551 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 | 149,610 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 181,928 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改める。 | | | | | | | | | | 改める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 別表第2のアの表中「再任用職員および」を「定年前再任用短時間勤務職員および」に、 | | | | | | | | | | 別表第2のアの表中「再任用職員および」を「定年前再任用短時間勤務職員および」に、 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>再任用職員</td> <td></td> <td></td> <td>296,200</td> <td></td> <td>338,600</td> <td></td> <td>393,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td></td> <td>274,500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 再任用職員 | | | 296,200 | | 338,600 | | 393,000 | | | 任期付職員 | | | 274,500 | | | | | | | を | <table border="1"> <tr> <td>再任用職員</td> <td></td> <td></td> <td>296,200</td> <td></td> <td>338,600</td> <td></td> <td>393,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td></td> <td>272,600</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 再任用職員 | | | 296,200 | | 338,600 | | 393,000 | | | 任期付職員 | | | 272,600 | | | | | | | を | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再任用職員 | | | 296,200 | | 338,600 | | 393,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | | 274,500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再任用職員 | | | 296,200 | | 338,600 | | 393,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | | 272,600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>定年前再任用短時間勤務職員</td> <td></td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>296,200</td> <td></td> <td>338,600</td> <td></td> <td>393,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>274,500</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | 296,200 | | 338,600 | | 393,000 | | | | 任期付職員 | | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | | | 円 | | | | | | | | | | 274,500 | | | | | | | | に | <table border="1"> <tr> <td>定年前再任用短時間勤務職員</td> <td></td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>296,200</td> <td></td> <td>338,600</td> <td></td> <td>393,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>272,600</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | 296,200 | | 338,600 | | 393,000 | | | | 任期付職員 | | 給料月額 | | | 円 | | | | | | | | | | 272,600 | | | | | | | | に | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 296,200 | | 338,600 | | 393,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 274,500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 296,200 | | 338,600 | | 393,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 272,600 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改め、別表第2のイの表中「再任用職員および」を「定年前再任用短時間勤務職員および」に、 | | | | | | | | | | 改め、別表第2のイの表中「再任用職員および」を「定年前再任用短時間勤務職員および」に、 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>再任用職員</td> <td></td> <td>190,096</td> <td>216,893</td> <td>245,301</td> <td>258,801</td> <td>284,187</td> <td>325,188</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td></td> <td>189,794</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 再任用職員 | | 190,096 | 216,893 | 245,301 | 258,801 | 284,187 | 325,188 | | | 任期付職員 | | | 189,794 | | | | | | | を | <table border="1"> <tr> <td>再任用職員</td> <td></td> <td>189,983</td> <td>216,764</td> <td>245,155</td> <td>258,646</td> <td>284,018</td> <td>324,995</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td></td> <td>188,170</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 再任用職員 | | 189,983 | 216,764 | 245,155 | 258,646 | 284,018 | 324,995 | | | 任期付職員 | | | 188,170 | | | | | | | を | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再任用職員 | | 190,096 | 216,893 | 245,301 | 258,801 | 284,187 | 325,188 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | | 189,794 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再任用職員 | | 189,983 | 216,764 | 245,155 | 258,646 | 284,018 | 324,995 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | | 188,170 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>定年前再任用短時間勤務職員</td> <td></td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>190,096</td> <td>216,893</td> <td>245,301</td> <td>258,801</td> <td>284,187</td> <td>325,188</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>189,794</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | 190,096 | 216,893 | 245,301 | 258,801 | 284,187 | 325,188 | | | 任期付職員 | | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | | | 円 | | | | | | | | | | 189,794 | | | | | | | | に | <table border="1"> <tr> <td>定年前再任用短時間勤務職員</td> <td></td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> <td>基 給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>189,983</td> <td>216,764</td> <td>245,155</td> <td>258,646</td> <td>284,018</td> <td>324,995</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td></td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> <td>給料月額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>188,170</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | | 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | 基 給料月額 | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | 189,983 | 216,764 | 245,155 | 258,646 | 284,018 | 324,995 | | | 任期付職員 | | 給料月額 | | | 円 | | | | | | | | | | 188,170 | | | | | | | | に | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 190,096 | 216,893 | 245,301 | 258,801 | 284,187 | 325,188 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 189,794 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | | 基 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 189,983 | 216,764 | 245,155 | 258,646 | 284,018 | 324,995 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 任期付職員 | | 給料月額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 188,170 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改める。 | | | | | | | | | | 改める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 以下（略） | | | | | | | | | | 以下（略） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

議案第150号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件

特別職の職員の給与に関する条例新旧対照表（第1条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|---|
| <p>第1条～第6条（略） （手当の支給）</p> <p>第7条 特別職の職員の通勤手当、期末手当および寒冷地手当の支給については、一般職の職員の例による。この場合において、期末手当の額は、給料月額およびその給料月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、<u>6月に支給する場合においては100分の155、12月に支給する場合においては100分の160</u>を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。</p> <p>以下（略）</p> | <p>第1条～第6条（略） （手当の支給）</p> <p>第7条 特別職の職員の通勤手当、期末手当および寒冷地手当の支給については、一般職の職員の例による。この場合において、期末手当の額は、給料月額およびその給料月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、<u>100分の155</u>を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。</p> <p>以下（略）</p> |

特別職の職員の給与に関する条例新旧対照表（第2条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|---|
| <p>第1条～第6条（略） （手当の支給）</p> <p>第7条 特別職の職員の通勤手当、期末手当および寒冷地手当の支給については、一般職の職員の例による。この場合において、期末手当の額は、給料月額およびその給料月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、<u>100分の157.5</u>を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。</p> <p>以下（略）</p> | <p>第1条～第6条（略） （手当の支給）</p> <p>第7条 特別職の職員の通勤手当、期末手当および寒冷地手当の支給については、一般職の職員の例による。この場合において、期末手当の額は、給料月額およびその給料月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、<u>6月に支給する場合においては100分の155、12月に支給する場合においては100分の160</u>を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。</p> <p>以下（略）</p> |

議案第151条 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件および職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する件

教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件および職務に専念する義務の特例に関する条例新旧対照表（第1条関係）

| 改正案 | 現行 |
|---|--|
| <p>第1条～第3条（略） （手当の支給）</p> <p>第4条 教育長の通勤手当、期末手当および寒冷地手当の支給については、一般職の職員の例による。この場合において、期末手当の額は、給料月額およびその給料月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、<u>6月に支給する場合においては100分の155、12月に支給する場合には100分の160</u>を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。</p> <p>以下（略）</p> | <p>第1条～第3条（略） （手当の支給）</p> <p>第4条 教育長の通勤手当、期末手当および寒冷地手当の支給については、一般職の職員の例による。この場合において、期末手当の額は、給料月額およびその給料月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、<u>100分の155</u>を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。</p> <p>以下（略）</p> |

教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件および職務に専念する義務の特例に関する条例新旧対照表（第2条関係）

| 改正案 | 現行 |
|--|---|
| <p>第1条～第3条（略） （手当の支給）</p> <p>第4条 教育長の通勤手当、期末手当および寒冷地手当の支給については、一般職の職員の例による。この場合において、期末手当の額は、給料月額およびその給料月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、<u>100分の157.5</u>を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。</p> <p>以下（略）</p> | <p>第1条～第3条（略） （手当の支給）</p> <p>第4条 教育長の通勤手当、期末手当および寒冷地手当の支給については、一般職の職員の例による。この場合において、期末手当の額は、給料月額およびその給料月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、<u>6月に支給する場合においては100分の155、12月に支給する場合には100分の160</u>を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。</p> <p>以下（略）</p> |

議案第152号 秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件

秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例新旧対照表（第1条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|--|--|
| 第1条～第4条（略） （期末手当） 第5条（略） 2 期末手当の額は、議員報酬の月額およびその議員報酬の月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、6月に支給する場合には100分の152.5、12月に支給する場合には <u>100分の160</u> を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。 3および4（略） 以下（略） | 第1条～第4条（略） （期末手当） 第5条（略） 2 期末手当の額は、議員報酬の月額およびその議員報酬の月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、6月に支給する場合には100分の152.5、12月に支給する場合には <u>100分の155</u> を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。 3および4（略） 以下（略） |

秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例新旧対照表（第2条関係）

| 改 正 案 | 現 行 |
|---|---|
| 第1条～第4条（略） （期末手当） 第5条（略） 2 期末手当の額は、議員報酬の月額およびその議員報酬の月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、6月に支給する場合には <u>100分の155</u> 、12月に支給する場合には <u>100分の157.5</u> を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。 3および4（略） 以下（略） | 第1条～第4条（略） （期末手当） 第5条（略） 2 期末手当の額は、議員報酬の月額およびその議員報酬の月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に、6月に支給する場合には <u>100分の152.5</u> 、12月に支給する場合には <u>100分の160</u> を乗じて得た額に、在職期間に応ずる割合を乗じて得た額とする。 3および4（略） 以下（略） |

| 請願・（陳情） | | 令和4年11月市議会提出分 | | （新規）・継続 | |
|---|----------------|--|----------|---------|--|
| 受理番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | | |
| 85 | 令和4年 11月22日 | 世界平和統一家庭連合 （旧統一協会）の宗教法人の認証取消しを 求めることに関する意見 書の提出について | | | |
| 陳情の要点 | | | 左に対する措置等 | | |
| <p>世界平和統一家庭連合（旧統一協会）の マインドコントロールによる霊感商法、高 額献金、集団結婚、二世信者の人権侵害な どから、日本国民・秋田市民の人権を守る ため、宗教法人としての認証取消しを求め ることについて、国会及び関係行政庁に対 して意見書を提出して下さるよう陳情す る。</p> | | | | | |

(案)

第8次秋田市行政改革大綱
(第4期・県都『あきた』改革プラン)

令和 年 月
秋田市

目次

| | | |
|-----|----------------------|----|
| 第1 | 改革の基本的事項 | 1 |
| 1 | これまでの行政改革の取組 | 1 |
| 2 | 本市を取り巻く社会情勢 | 2 |
| (1) | 人口減少・少子高齢化の進行 | 2 |
| (2) | 財政見通し | 3 |
| (3) | 国の動向 | 5 |
| (4) | 新型コロナウイルス感染症への対応 | 5 |
| 3 | 第7次秋田市行政改革大綱の主な取組と課題 | 6 |
| (1) | 公共サービスの改革 | 6 |
| (2) | 財政運営の改革 | 6 |
| (3) | 組織・執行体制の改革 | 7 |
| 4 | 行政改革の目的と視点 | 8 |
| 5 | 計画期間 | 11 |
| 6 | 構成および進捗管理 | 11 |
| (1) | 構成 | 11 |
| (2) | 進捗管理 | 11 |
| 7 | 改革項目の体系 | 12 |
| 第2 | 改革の項目 | 13 |
| I | 公共サービスの改革 | 13 |
| 1 | 市民協働・官民連携の推進 | 13 |
| 2 | 公共施設マネジメントの推進 | 18 |
| 3 | 市民満足度の向上 | 24 |
| 4 | 受益と負担の適正化 | 30 |
| II | 財政運営の改革 | 31 |
| 1 | 財政基盤の確立 | 31 |
| 2 | 歳入の確保 | 33 |
| 3 | 歳出の見直し | 36 |
| III | 組織・執行体制の改革 | 39 |
| 1 | 適正かつ効率的な組織体制の構築 | 39 |
| 2 | 執行体制の見直し | 42 |
| 3 | 業務のデジタル化 | 45 |
| 第3 | 資料 | 48 |
| | 【用語解説】 | 48 |

第1 改革の基本的事項

1 これまでの行政改革の取組

本市では、財政環境の変化や地方分権の進展を踏まえ、地方行財政が直面する厳しい環境に応え得る、簡素で効率的な行財政運営の確立を目指し、7次にわたって改革の推進に努めてきた。

第7次秋田市行政改革大綱では、市民協働による地域課題の解決、経営資源の最適配分、官民連携による行政運営の確立などに取り組み、県都『あきた』創生プラン¹（以下「創生プラン」という。）に掲げる基本理念の実現を通じて市民サービス²の向上を図ることを目的とし、「公共サービス³の改革」「財政運営の改革」「組織・執行体制の改革」の3つの視点に基づく改革を進めており、計画期間の最終年度である令和4年度末には、全71の取組のうち68の取組が実施・完了する見込みとなっている。

【表1：行政改革大綱の策定状況】

| 名称 | 計画期間 |
|------------------------------------|--------------------|
| 秋田市行政改革大綱 | 平成8年度～平成12年度(5年間) |
| 新秋田市行政改革大綱 | 平成11年度～平成15年度(5年間) |
| 第3次秋田市行政改革大綱 | 平成15年度～平成17年度(3年間) |
| 第4次秋田市行政改革大綱 | 平成18年度～平成22年度(5年間) |
| 第5次秋田市行政改革大綱 (県都『あきた』改革プラン) | 平成23年度～平成26年度(4年間) |
| 第6次秋田市行政改革大綱 (新・県都『あきた』改革プラン) | 平成27年度～平成30年度(4年間) |
| 第7次秋田市行政改革大綱 (第3期・県都『あきた』改革プラン) | 平成31年度～令和4年度(4年間) |

¹ 県都『あきた』創生プラン

本市の総合的かつ計画的な行政運営を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間の計画期間を通じた目標とそれを実現するための基本的な考え方を示した第14次秋田市総合計画のこと。

² 市民サービス

市民が受けるサービスの総称のこと。ここでは、地方自治法にある「住民福祉」を意味する。同法では、地方公共団体は住民福祉の増進を図ることを基本とすることが規定されている。

³ 公共サービス

行政のみならず、NPO等を含む民間によっても提供される公共的なサービスの総称のこと。NPOとはNon-Profit Organizationの略で、継続的・自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称のこと。

【表2：第7次秋田市行政改革大綱の取組項目の進捗状況】

| 年度 | 取組合計 | 実施・完了 | 準備手続等 |
|--------|------|------------|------------|
| | | | |
| 平成31年度 | 71 | 50 (70.4%) | 21 (29.6%) |
| 令和2年度 | 71 | 55 (77.5%) | 16 (22.5%) |
| 令和3年度 | 71 | 61 (85.9%) | 10 (14.1%) |
| 令和4年度 | 71 | 68 (95.8%) | 3 (4.2%) |

※令和4年度の進捗は見込み。

2 本市を取り巻く社会情勢

(1) 人口減少・少子高齢化の進行

本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」において、令和22年時点で23万5,500人と推計されていた。その後、「秋田市人口ビジョン⁴（令和3年3月）」改訂時点における、直近（平成30年3月）の社人研の推計人口は、令和22年時点で24万4,726人と推計され、人口減少の進行はやや緩やかになると見込まれているが、依然として人口減少局面が続いている。

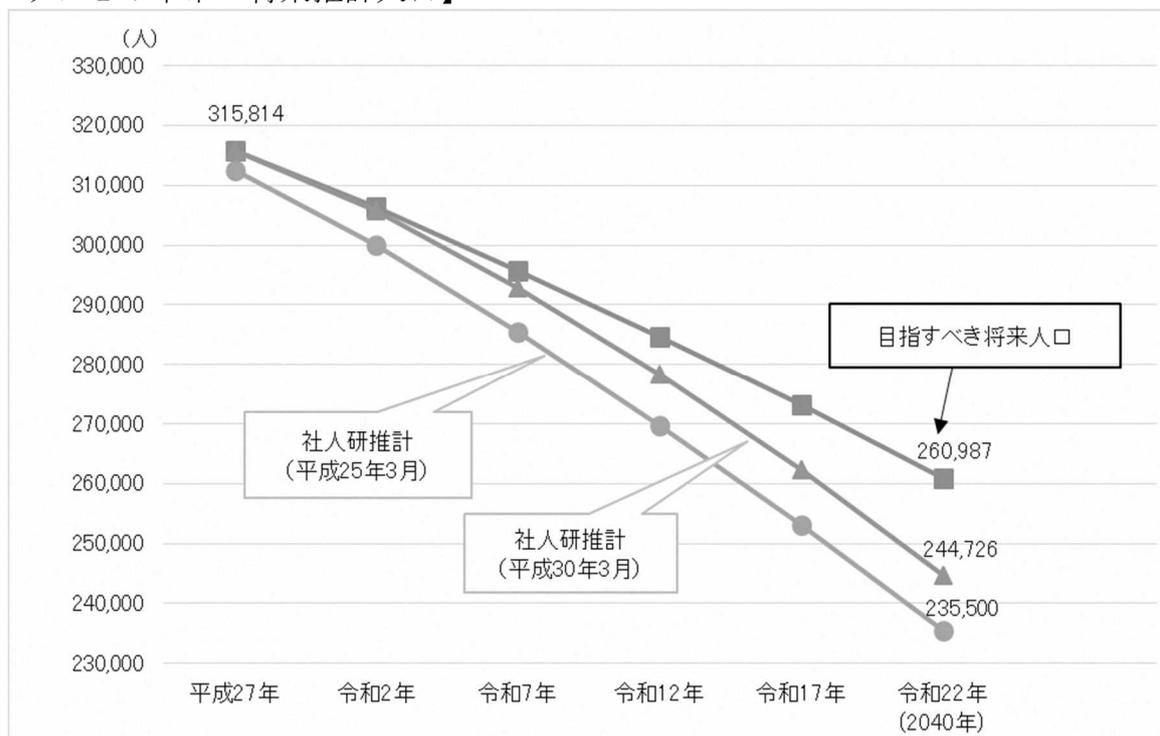
また、本市人口に対する生産年齢人口（15～64歳）の割合は、平成27年から令和22年までの間に60.1%から47.9%に低下し、老年人口（65歳以上）の割合は28.6%から43.9%に上昇すると推計されている。

こうした状況から、人口減少対策は市政の最重要課題であり、本市が目指す令和22年における将来人口約26万人の達成に向け、創生プラン等による施策を着実に実行するとともに、安定した質の高い公共サービスを提供するため、最適配分の実現による限りある経営資源の効率的な活用、市民・NPO・企業・高等教育機関等との連携を通じた市民協働による地域課題の解決、民間のノウハウを活用した官民連携による行政経営に取り組み、人口減少下にあっても持続可能な行財政運営を追求していく必要がある。

⁴ 秋田市人口ビジョン

本市の人口の現状と将来の目指すべき姿を示したものの、目指すべき姿の実現に向けた基本的な方向や具体的な施策をまとめた「秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年（2016）3月）」と合わせて策定した後、令和3年3月に改訂した。

【グラフ1：本市の将来推計人口】



参考：秋田市人口ビジョン（令和3年3月）

(2) 財政見通し

本市の令和4年度一般会計当初予算を基礎として試算した、中・長期財政見通しにおける令和14年度までの歳入歳出の推移を見ると、歳入は、地方交付税・臨時財政対策債⁵が横ばいで推移するものの、市税や市債等が減少することから、全体として減少していくと推計している。歳出は、令和5年度に大規模事業が増大し、令和6年度以降は減少を見込んでいることから、全体として減少していくものの、令和12年度および令和13年度は、廃棄物処理施設の整備などにより増加を見込んでいる。

総体的に、毎年度、収支不足が生じることから、財政調整基金⁶および減債基金⁷の取崩しにより補てんする必要があると見込んでおり、歳入の確保はもとより、すべての経費にわたり徹底した精査を行う必要がある。

特に、投資的経費⁸および維持補修費⁹は、各公共施設の長寿命化や「個別施設計

⁵ 臨時財政対策債

地方公共団体の一般財源不足を補うため、地方財政法の規定に基づき、特別に発行を認められた地方債のこと。将来支払うべき元利償還金は、後年度の地方交付税としてその全額が措置される。

⁶ 財政調整基金

地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金のこと。

⁷ 減債基金

地方債の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられる基金のこと。

⁸ 投資的経費

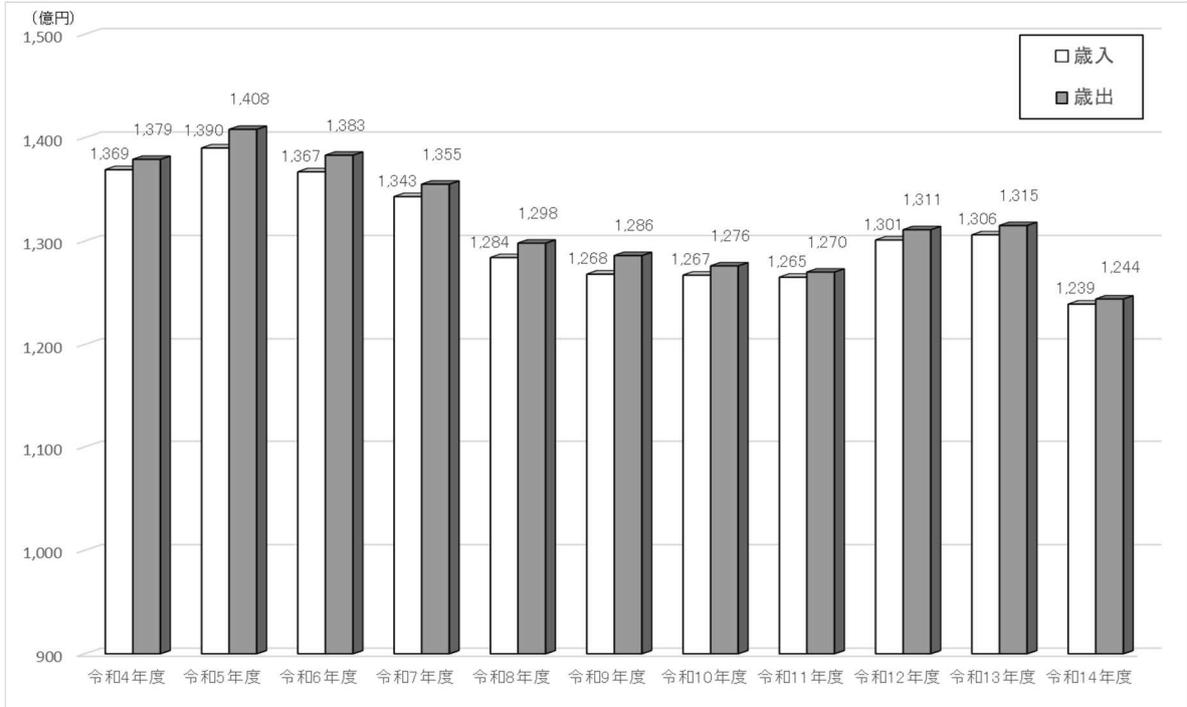
公共施設などを建設し資本形成に資するための経費のこと。

⁹ 維持補修費

施設の効用を維持するために必要となる点検、補修、修繕に要する経費のこと。

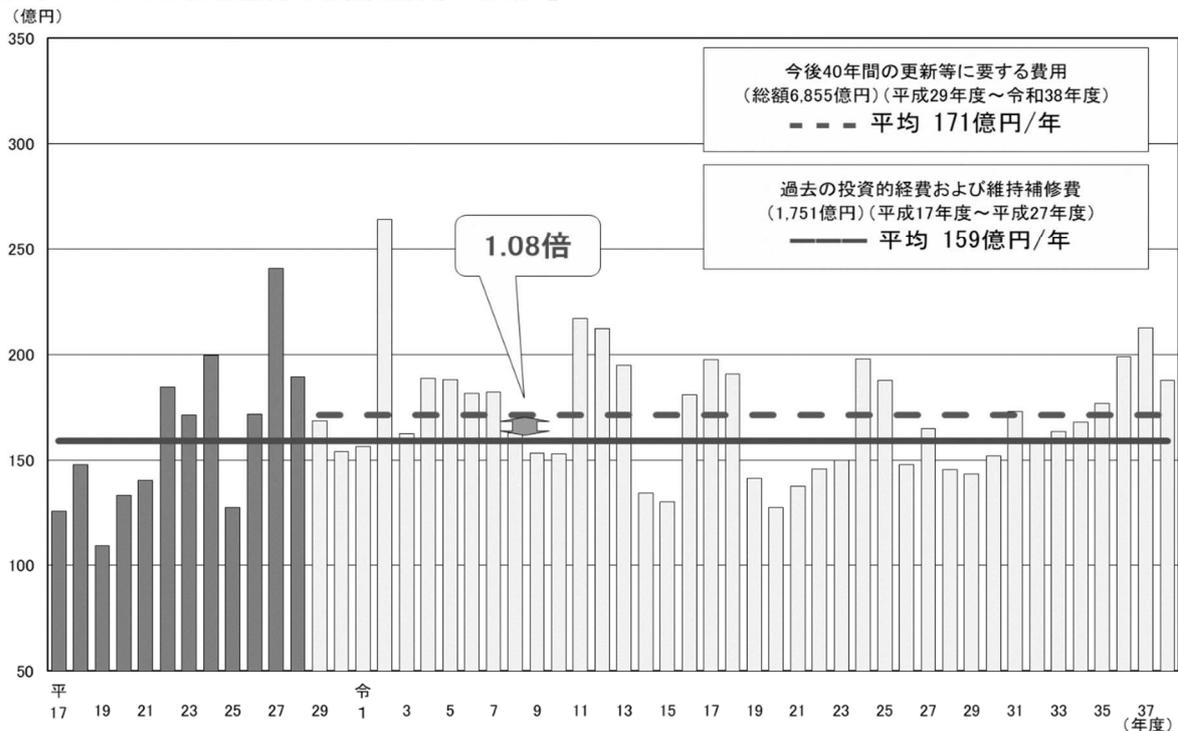
画」に基づく取組により費用の平準化と縮減を図ったとしても、今後40年間の費用を平均すると、近年の平均を上回る年間171億円が必要と試算されていることから、公共施設等の統廃合や複合化による施設保有量の見直し、計画的な維持保全による長寿命化を一層進め、財政負担の軽減を図る必要がある。

【グラフ2：一般会計の歳入歳出の推移の見込み】



参考：秋田市中・長期財政見通し(令和4年3月)

【グラフ3：公共施設等更新費用の試算】



参考：秋田市公共施設等総合管理計画(令和4年1月)

(3) 国の動向

国では、平成27年8月に「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項（総務大臣通知）」を発出し、ICT¹⁰の徹底的な活用や窓口業務のアウトソーシング等の民間委託の推進、指定管理者制度やPPP／PFI¹¹制度の活用拡大、情報システムのクラウド化¹²等により、地方行政サービス改革の推進に努めるよう求めてきた。

また、令和4年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2022（「骨太の方針」。）」においては、デジタル社会の形成に向け、マイナンバーカードの利活用拡大を進めるほか、AI¹³・RPA¹⁴等を活用し、行政におけるデジタル化を着実に推進するなど、新型コロナウイルス感染症への対応で直面した課題等を踏まえ、ポストコロナの経済社会に的確に対応する必要があるとしている。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対応

令和元年度から全国的に急拡大した新型コロナウイルス感染症は、市民生活や社会経済活動へ多大な影響を与えており、感染拡大を契機とした社会変容等に伴う「新しい生活様式」への対応が求められている。

本市においても、非接触・非対面をはじめとする新たな市民ニーズに対応したサービスの提供のほか、不測の事態にも対応することができる安定した財政基盤の構築や、感染症の急拡大など社会情勢の変化等に柔軟に対応できる組織づくりなど、新型コロナウイルス感染症で顕在化した課題等を克服し、ポストコロナを見据えた対策を講じていく必要がある。

¹⁰ ICT

Information Communication Technology の略で、情報通信技術のこと。

¹¹ PPP／PFI

PPP（Public Private Partnership）とは、官民が連携して公共サービスの提供を行う手法で、この中にPFI、指定管理者制度、包括的業務委託、民設公営等が含まれる。PFI（Private Finance Initiative）とは、公共施設等の建設、維持管理、運営に民間の資金とノウハウを活用することにより、整備等に係るコストを縮減する手法のこと。

¹² クラウド化

情報システムのハードウェア、ソフトウェア、データなどを外部のデータセンター等において管理・運用し、ネットワーク経由で利用することができるようにする取組のこと。

¹³ AI

Artificial Intelligence の略で、人工知能のこと。

¹⁴ RPA

Robotic Process Automation の略で、定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化する技術のこと。

3 第7次秋田市行政改革大綱の主な取組と課題

(1) 公共サービスの改革

<主な取組>

- ア 地域、行政、民間事業者が連携して運行する買物タクシー事業を実施し、バス路線の廃止等に伴い生じる公共交通空白地域の解消に取り組んだ。
- イ コミュニティセンターや文化施設に指定管理者制度を、下水道ポンプ場に包括的民間委託等をそれぞれ導入したほか、公共施設のあり方の見直しを進め、未利用施設の解体や貸付等を行い、民間のノウハウを生かした公共サービスの向上や財政負担の軽減に取り組んだ。
- ウ 窓口で交付している各種証明書の手数料等へのクレジットカードや電子マネー等によるキャッシュレス決済の一部導入、申請書等への押印廃止、電子申請の推進により、利便性の向上や事務の効率化に取り組んだ。

<課題>

- ア さらに人口減少・少子高齢化の進行を見据え、持続可能な公共サービスを確保するため、引き続き、市民協働によるまちづくり、公共施設等の再編や管理・運営への官民連携手法の導入などに取り組む必要がある。
- イ コロナ禍における非接触・非対面をはじめとする生活様式の変化等に伴う新たな市民ニーズに対応していくため、デジタル技術や民間活力・ノウハウの活用を一層推進する必要がある。

(2) 財政運営の改革

<主な取組>

- ア 今後予定される制度改正や大規模事業等に係る事業費を見込んだ中・長期財政見通しを毎年度作成し、本市財政運営のフレームとして活用した。
- イ 公共施設等整備基金などの特定目的基金¹⁵について、今後の事業計画を勘案し、必要額を積み立てた。
- ウ ガバメントクラウドファンディング¹⁶やネーミングライツ¹⁷の導入などの新規財源の開拓、未利用資産の売却などにより、歳入の確保に取り組んだ。
- エ 公共施設の概算工事費等の事前協議、汚泥再生処理センターでのユニット型浄化装置の導入などによりコスト圧縮に努め、歳出の削減に取り組んだ。

¹⁵ 特定目的基金

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるために設置される基金のこと。

¹⁶ ガバメントクラウドファンディング

地方自治体や政府が、インターネット上で実施事業やプロジェクトを具体的に示し、共感した人から寄附を募る仕組みのこと。

¹⁷ ネーミングライツ（命名権）

契約により施設等の名称に企業名又は商品名等を冠した愛称を付与させる代わりに、ネーミングライツを取得した企業等から対価を得て、施設等の運営維持などに充てる手法のこと。

<課題>

- ア 今後見込まれる市税等の減少に伴う財政規模の縮小に対応するため、歳入の確保はもとより、すべての経費にわたり徹底した精査を行うなど、引き続き、歳入規模に見合った歳出構造を堅持していく必要がある。
- イ 経済情勢の変化や大規模災害など、不測の事態にも対応することができるよう基金の残高を確保し、将来にわたり安定した財政基盤を構築する必要がある。

(3) 組織・執行体制の改革

<主な取組>

- ア シティプロモーション¹⁸による魅力発信やまちへの誇りと愛着の醸成に総合的に取り組み、移住定住を一層促進するため「人口減少・移住定住対策課」を、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策等に関する事務を一元的に処理するため「新型コロナウイルス対策室」を設置した。また、行政のデジタル化を部局横断的に推進するため「デジタル化推進本部」を設置し、組織体制の見直しを進めた。
- イ 会計年度任用職員の報酬および費用弁償の支払に係る事務を集約したほか、住民記録等の業務に利用している本市独自開発の汎用機システム¹⁹をオープンシステム²⁰に移行し、執行体制の見直しに取り組んだ。
- ウ 内部統制²¹の推進を図るため地方自治法に基づく方針と体制を整備し、リスク管理に取り組んだ。

<課題>

- ア 社会情勢の変化や新たな市民ニーズに的確に対応するため、引き続き、職員の資質・能力の向上や適時・適切な組織づくりなどに努める必要がある。
- イ 情報システムの標準化・クラウド化や行政事務へのデジタル技術の活用拡大などにより、一層効率的な執行体制を構築する必要がある。

¹⁸ シティプロモーション

自らの住む地域に関わる当事者意識を持った人を増やし、市民をはじめ市内外の人々から、秋田市を好きになってもらう取組のこと。

¹⁹ 汎用機システム

メーカー独自仕様の製品で構成される大型汎用コンピュータを利用したシステム。本市では、住民記録や税務などの業務に利用している。

²⁰ オープンシステム

仕様が公開された製品で構成されるシステム。

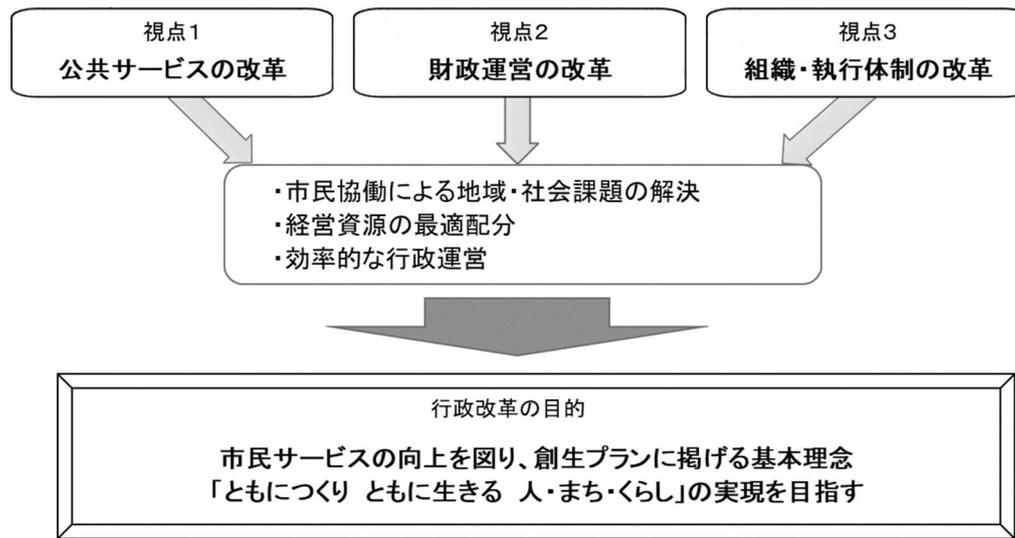
²¹ 内部統制

組織の内部をコントロールして不祥事や事故を防ぐこと。組織が持続的、安定的に成長するために、内部でコントロール(統制)すること。

4 行政改革の目的と視点

本市を取り巻く社会情勢や第7次秋田市行政改革大綱の取組と課題を踏まえ、3つの視点から行政改革を推進し、市民協働による地域・社会課題の解決、経営資源の最適配分、効率的な行政運営などに取り組み、さらなる市民サービスの向上を図ることで、創生プランに掲げる基本理念である「ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし」の実現を目指すことを目的とする。

【行政改革のイメージ図】



視点1 公共サービスの改革

公共サービスの改革に取り組み、多様な主体によるまちづくりを推進するとともにデジタル技術や民間活力・ノウハウの活用をはじめとしたサービスのあり方を見直すことで、安定した質の高い公共サービスの提供を目指す。

①市民協働・官民連携の推進

市民、NPOなどの市民活動団体、企業等の多様な主体と協力・連携した市民協働によるまちづくりの実践や、まちづくりの担い手の育成等を一層推進する。

また、行政サービス²²の提供にあたっては、サウンディング型市場調査²³、業務委託、指定管理者制度、PFI制度をはじめとした官民連携手法の活用を積

²² 行政サービス

行政(市)が提供するサービスの総称のこと。

²³ サウンディング型市場調査

事業発案段階や事業化段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法のこと。

極的に検討する。

②公共施設マネジメントの推進

秋田市公共施設等総合管理計画に基づき、「計画的な維持管理」「効率的な施設運営」「適切な施設サービス」の推進に取り組むことで、保全に係るコストの将来負担の軽減と市民ニーズに適切に対応した施設の再編を図る。

また、利用実態や老朽化の状況、将来の財政負担等を考慮し、民間譲渡や廃止、解体等を含めた、施設のあり方についても検討する。

③市民満足度の向上

非接触・非対面をはじめとする生活様式の変化等に伴う新たな市民ニーズに対応するため、マイナンバーカードの普及や行政サービスへのデジタル技術の導入拡大を推進し、市民サービスの向上を図る。

また、行政サービスのデジタル化にあたっては、多くの市民が恩恵を受けられるよう、デジタルデバイド²⁴対策を推進する。

④受益と負担の適正化

サービスの受け手である受益者とサービス提供に要するコストの負担者の適正化を一層推進するため、行政サービスに要する費用等を把握し、施設使用料や事務手数料の見直しを図る。

視点 2 財政運営の改革

財政運営の改革に取り組み、選択と集中による経営資源の最適配分を図り、歳入規模に見合った歳出構造を堅持することで、将来にわたって安定的な財政基盤を確立することを目指す。

①財政基盤の確立

中・長期財政見通しを本市財政運営のフレームとして引き続き活用するとともに、経済情勢の変化や大規模災害など、不測の事態への備えや、市債の償還に必要な財源として、主要2基金の残高を確保するほか、公共施設等整備基金などの特定目的基金についても、残高や今後の事業計画に見合った取崩しの見込みなどを勘案し、設置目的に応じた必要額の確保等を図る。

²⁴ デジタルデバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

②歳入の確保

ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税²⁵のさらなる活用のほか、先進事例や民間の発想を取り入れるなど新規財源を開拓するとともに、未利用資産などの市が保有する財産の有効活用を図る。

また、市税、保険料、使用料などの債権の適正管理および適切かつ効率的な徴収を推進するほか、滞納の未然防止や滞納整理の強化に取り組み、未収金の解消と収入率の向上を図る。

③歳出の見直し

事前協議による公共工事のコスト縮減や公共施設への再生可能エネルギーの導入、公用車の適正管理などに取り組み、公共施設等に係るコスト縮減を通じて歳出を見直すとともに、選択と集中による適切な財源配分を図る。

視点3 組織・執行体制の改革

組織・執行体制の改革に取り組み、適時・適切な組織づくりを推進するとともに業務の効率化を図ることで、社会情勢の変化や新たな市民ニーズに的確に対応できる行政組織の構築を目指す。

①適正かつ効率的な組織体制の構築

多様化する行政需要や新たな行政課題に対応するため、組織体制の見直しを実施するほか、デジタル化の進展など市政を取り巻く情勢の変化に対応する人材育成に取り組む。

また、地方公務員の定年年齢の延長等による60歳を超える職員について、その経験や知識を活用できる部門へ配置しながら、職員の年齢構成等を考慮した新規採用を行い、適正な定員管理を実施する。

②執行体制の見直し

内部統制の取組の推進により、職員のリスク管理意識やコンプライアンス意識を一層向上させ、法令遵守のもと、効果的・効率的に職務を遂行することができる環境を構築する。

また、先端技術の発展に伴う新たな技術の導入や既存の業務フローの見直しなどを通じて、業務の集約化および効率化を推進する。

²⁵ 企業版ふるさと納税

地方公共団体に対する寄附金のことで、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除される制度。

③業務のデジタル化

情報システムの標準化やクラウド化などの検討および実施により、安定かつ効率的なシステム運用を図るほか、業務への積極的なデジタル技術の導入により、業務の効率化を図る。

5 計画期間

令和5年度から8年度までの4年間とする。

6 構成および進捗管理

(1) 構成

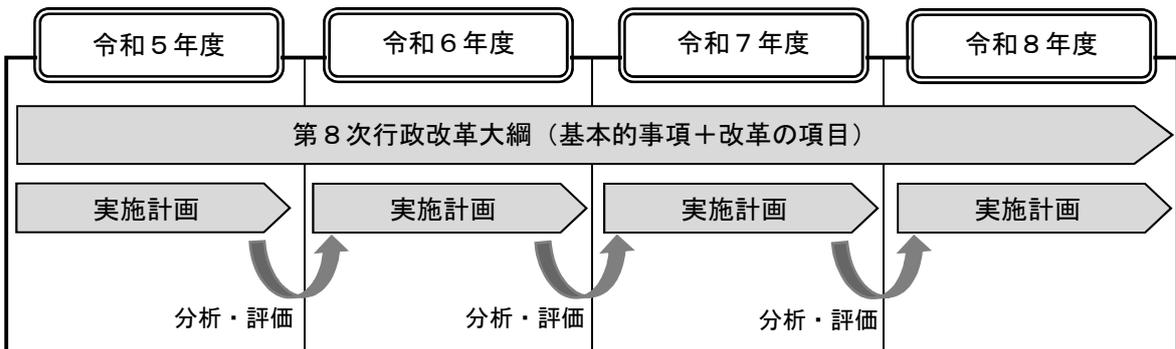
第8次秋田市行政改革大綱については、「①基本的事項」および「②改革の項目」で構成する。また、「②改革の項目」に係る取組状況については、毎年度、実施計画を策定してその詳細を記載する。

| | |
|------|---|
| 大 綱 | ①基本的事項…行政改革の目的、視点、前大綱の取組状況等 ②改革の項目…取組項目、スケジュール、成果指標等 |
| 実施計画 | 「②改革の項目」に係る取組状況（毎年度策定） |

(2) 進捗管理

毎年度、上期・下期に取組状況を把握して分析・評価を実施し、その結果を次年度の実施計画の策定に反映させることにより進捗を管理する。

【進捗管理イメージ図】



7 改革項目の体系

I 公共サービスの改革

- 1 市民協働・官民連携の推進
 - (1) 市民協働・都市内地域分権の推進 (P13)
 - (2) 官民連携手法の活用 (P16)
- 2 公共施設マネジメントの推進
 - (1) 公共施設の総合的な管理 (P18)
 - (2) 公共施設のあり方の見直し (P19)
- 3 市民満足度の向上
 - (1) 行政サービスの向上 (P24)
 - (2) 行政サービスのデジタル化 (P26)
- 4 受益と負担の適正化
 - (1) 受益と負担の適正化 (P30)

II 財政運営の改革

- 1 財政基盤の確立
 - (1) 中・長期財政見通しに基づく財政運営の推進(P31)
 - (2) 特定目的基金の見直し (P32)
 - (3) 市出資団体の経営の健全化 (P33)
- 2 歳入の確保
 - (1) 新規財源の開拓 (P33)
 - (2) 適正な債権管理と未収金の解消 (P34)
 - (3) 財産の適正管理と有効活用 (P35)
- 3 歳出の見直し
 - (1) 公共施設等に係るコスト縮減 (P36)

III 組織・執行体制の改革

- 1 適正かつ効率的な組織体制の構築
 - (1) 組織体制の最適化 (P39)
 - (2) 職員数の適正管理 (P40)
 - (3) 多様な人材の育成・活用 (P40)
- 2 執行体制の見直し
 - (1) 適正な業務遂行体制の構築 (P42)
 - (2) 業務の集約化および効率化 (P43)
- 3 業務のデジタル化
 - (1) 業務のデジタル化 (P45)
 - (2) 情報システムの最適化 (P46)

第2 改革の項目

I 公共サービスの改革

1 市民協働・官民連携の推進

(1) 市民協働・都市内地域分権の推進

| | | | | |
|-----------------|---|----------|---------------|--------------|
| 取組 1 | 市民協働の推進 | | 担当 | 中央市民サービスセンター |
| 取組概要 | 市民、NPO、企業、行政等の多様な主体が公共を支える市民協働を推進する。また、市と市民活動団体が協働する事業を実践するほか、市民活動への参画の促進や市民活動団体の運営体制への支援を行うなど、多様な主体が担い手となる環境づくりを進める。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | ①協働サポート交付金事業新規採択団体数を毎年3団体とする。 ②職員向けの市民協働マニュアルを作成し、令和8年度までに全部局への研修を行う。 | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | ① 1 団体 ② - | |

| | | | | |
|-----------------|---|----------|-----------------|--------------|
| 取組 2 | 都市内地域分権の推進 | | 担当 | 中央市民サービスセンター |
| 取組概要 | 市民の自主的な地域自治活動の促進を強化するため、市民協働による特色あるまちづくりを継続して実践するほか、地域におけるまちづくりの担い手を育成する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、全7地域で地域密着型のまちづくりの実践を行う「まちづくりラボ講座」を開催する。 | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | 2 地域（中央地域、南部地域） | |

| | | | | |
|-----------------|---|----------|--------------|----------|
| 取組 3 | 町内会等に対する支援策の実施 | | 担当 | 生活総務課 |
| 取組概要 | 地域自治活動の基盤となる町内会・自治会組織への加入率が減少傾向にあることから、町内会加入促進リーフレットを配布し、アパート、賃貸住宅世帯、転入世帯に対し、加入について啓発を図るとともに、町内会長等の組織の担い手に対し、町内会・自治会ガイドブックを活用した育成・援助などを行う。また、町内会等の地域へのデジタル化支援の方策などについて、検討および実施する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 町内会加入率について、コロナ前の令和元年度水準(78.9%)を回復する。 | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | 77.4% | |

| | | | | |
|-----------------|---|----------|----------------------|----------|
| 取組 4 | 市民協働による避難所の運営 | | 担当 | 防災安全対策課 |
| 取組概要 | 大規模災害により、多数の避難所で長期の避難生活が強いられる状況となった場合には、行政の対応だけで管理・運営することは限界がある。市民が避難所運営の主体として活動するための運営方針を策定するため、避難所の主体となる各市民サービスセンター、コミュニティセンター31か所それぞれにおいて避難所運営会議(10回程度)を行い、災害時に市民協働による運営ができる体制を構築する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 市民サービスセンターおよびコミュニティセンター31か所で避難所運営会議を行う。 | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | 7か所の避難所において13回会議を実施。 | |

| | | | | | |
|----------|--|-----------|-----------|---|-------|
| 取組 5 (新) | 市民協働および産官学連携による地域におけるフレイル予防の推進 | | | 担当 | 保健予防課 |
| 取組概要 | フレイル予防のため、大学との協働により、フレイル ²⁶ チェックのデータ分析を行うほか、本市のフレイル予防事業などの効果を検証し、地域におけるフレイル予防体制の構築を図る。 また、評価・検証を基に、フレイルサポーター ²⁷ や地元企業と協働し、地域でのフレイル予防の取組を検討する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5 (2023) | R6 (2024) | R7 (2025) | R8 (2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | ①令和8年度までに、フレイルサポーターを50人養成し、フレイルチェックを延べ4,500人に実施する。 ②令和8年度までに、フレイルサポーターや企業との連携事業数を50事業にする。 | | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | | ①フレイルサポーター 19人 フレイルチェック 110人 ②連携事業数 6事業 | |

| | | | | | |
|----------|--|-----------|-----------|-----------|-------|
| 取組 6 | 地域における自殺対策力の強化 | | | 担当 | 健康管理課 |
| 取組概要 | 自殺率を減少させるため、地域との協働やネットワークを強化し、地域の実情に応じた各種事業を実施し、ゲートキーパー ²⁸ などの自殺対策に係る人材の確保、養成、資質の向上を図る。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5 (2023) | R6 (2024) | R7 (2025) | R8 (2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | ※成果指標については、令和5年度に次期「秋田市民の心といのちを守る自殺対策計画」を策定後、設定する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

²⁶ フレイル

年を取って心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態のこと。

²⁷ フレイルサポーター

市民に対するフレイルチェックの準備、進行、測定、結果説明を行う市民サポーターのこと。

²⁸ ゲートキーパー

自殺の危険を示すサインに気づき、必要な支援につなぎ、見守る等の適切な対応ができる人（命の門番）のこと。

| | | | | | |
|----------|--|-----------|-----------|---------------|-------|
| 取組 7 | 市民協働による生活道路の除排雪の推進 | | | 担当 | 道路維持課 |
| 取組概要 | 地域住民等が自ら行う除排雪作業に対する支援策について利用状況を調査し、より利用しやすい制度となるように事務改善を進めるとともに、新たな支援策についても検討する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5 (2023) | R6 (2024) | R7 (2025) | R8 (2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | ①小型除雪機械の貸出し台数 ②個人所有の小型除雪機械への燃料支給団体 について、令和3年度の実績以上とする。 | | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | | ①18台 ②68団体 | |

(2) 官民連携手法の活用

| | | | | | |
|----------|---|----------------|-----------|-----------|-------|
| 取組 8 | 民間委託・指定管理者制度導入の検討 | | | 担当 | 施設所管課 |
| 取組概要 | 事務事業へ民間委託や指定管理者制度を導入し、民間活力・ノウハウを活用することで、業務の効率化やサービスの質の向上を目指す。 | | | | |
| | 業務名 | 令和5～令和8年度の検討項目 | 担当課 | | |
| | コミュニティセンター(外旭川、豊岩、上新城)の管理運営 | 指定管理者制度 | 生活総務課 | | |
| | 斎場の管理運営 | 指定管理者制度 | 生活総務課 | | |
| | 一つ森公園の管理運営 | 指定管理者制度 | 公園課 | | |
| | 市営墓地の管理運営 | 民間委託又は指定管理者制度 | 生活総務課 | | |
| | 小型家電の回収 | 民間委託 | 環境都市推進課 | | |
| | 金属資源化物の受入・処理 | 民間委託 | 総合環境センター | | |
| | 学校給食調理場の給食調理 | 民間委託 | 学事課 | | |
| 取組スケジュール | R5 (2023) | R6 (2024) | R7 (2025) | R8 (2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、上記の施設等へ民間委託や指定管理者制度の導入の可否を決定し、導入を進める。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

| | | | | | |
|-------------|--|----------|----------|----------|-----|
| 取組 9 | PPP／PFI手法の活用推進 | | | 担当 | 総務課 |
| 取組概要 | 新たな事業機会の創出や民間投資の喚起を図るとともに効率的かつ効果的な公共施設等の整備等を進めるため、PPP／PFI手法の導入を優先的に検討する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 事業費(建設等)総額10億円以上又は単年度事業費(運営等)1億円以上の事業について、優先的検討を実施する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

| | | | | | |
|-------------|--|----------|----------|----------|-----|
| 取組10 | 千秋公園への官民連携手法の活用検討 | | | 担当 | 公園課 |
| 取組概要 | 民間による飲食店等の収益施設整備(Park-PFI ²⁹ 等)に向け、事業提案や公募条件整備に関するマーケットサウンディング調査等を実施し、民間活力の導入を検討する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、千秋公園内の既存施設を利活用するためのマーケットサウンディング調査を実施する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

| | | | | | |
|----------------|--|----------|----------|----------|-------|
| 取組11(新) | 公共交通に係る共同経営体の検討 | | | 担当 | 交通政策課 |
| 取組概要 | 持続可能な公共交通サービスの実現に向け、公共交通事業者等と連携した新たな経営形態(会社、組合等)を検討する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 準備・検討 | | | | 実施 |
| 成果指標 | 令和8年度末までに、新たな経営形態を検討する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

²⁹ Park-PFI

公募により公園内に収益施設を設置する者を決定し、園路などの周辺公園施設と一体的に整備することで、許可期間の延伸等の特例が受けられる、民間提案による収益還元型の公園施設事業運営制度である。

2 公共施設マネジメントの推進

(1) 公共施設の総合的な管理

| | | | |
|----------|--|----------|----------|
| 取組12 | 市有建築物の総合的かつ計画的な管理の推進 | 担当 | 財産管理活用課 |
| 取組概要 | <p>秋田市公共施設等総合管理計画が目指す総合的かつ計画的な管理のため、以下に掲げる本市公共施設等マネジメント方針の取組により、保全に係るコストの将来負担の軽減と市民ニーズに適切に対応した市有建築物の再編を図る。</p> <p>①計画的な維持保全（点検・診断の継続実施、計画保全による公共施設等の長寿命化）</p> <p>②効率的な施設運営（運用方法の見直し、施設保有量の見直し）</p> <p>③適切な施設サービス（市民ニーズの把握、施設の再編）</p> | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) |
| | 実施 | | |
| 成果指標 | <p>①令和5年度までに、施設別に総合劣化度を評価する手法を確立する。</p> <p>②令和6年度までに、施設カルテ³⁰を整備する。</p> <p>③令和7年度までに、市有建築物の保有量の見直しなど再編案をまとめる。</p> | 指標の現状 | |
| | | — | |

³⁰ 施設カルテ

施設の用途、面積、コスト情報、劣化度など、施設ごとの情報をまとめた個票のこと。

| | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|
| 取組13(新) | 雨水管の改修計画の策定・推進 | | 担当 | 道路維持課 |
| 取組概要 | 道路維持課が管理する雨水管（約50km）において、近年、老朽化による陥没が頻発化してきていることから、道路利用者の安全安心を確保するため、予防保全の観点から、改修計画を策定して計画的な保全と工事の平準化を図る。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | 実施 | | |
| 成果指標 | 令和6年度に改修計画を策定し、同年度以降、全延長約50kmの内、損傷の著しい施設延長5km(想定)について、年間500mの改修を実施する。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

(2) 公共施設のあり方の見直し

| | | | | |
|----------|--|----------|----------------------------------|-----------|
| 取組14 | 未利用施設のあり方の見直し | | 担当 | 財産管理活用課ほか |
| 取組概要 | 未利用施設について、老朽化・耐震性の観点からあり方を検討し、以下の取組を実施する。 ①利活用が可能と判断した建物は、利活用者を公募する際の周知方法等についても検討し、利活用を一層促進する。 ②利活用ができないと判断した建物は、解体を進める。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 未利用施設の利活用または解体を検討する。 | | 指標の現状（R4年度） | |
| | | | 未利用施設数2施設（旧山谷小学校（母屋）、旧岩見三内クリニック） | |

| | | | | |
|----------|---------------------------------------|----------|----------|-------------|
| 取組15 | 配水ポンプ施設の廃止 | | 担当 | 水道維持課、水道建設課 |
| 取組概要 | 配水管整備、水需要等を踏まえ、ポンプ施設2か所（下浜、萱ヶ沢）を廃止する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | | | 実施 |
| 成果指標 | 令和8年度までに、2か所のポンプ施設（下浜、萱ヶ沢）を廃止する。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

| | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|
| 取組16 | 下水道施設の最適化 | | 担当 | 下水道整備課 |
| 取組概要 | <p>以下の下水道施設の統廃合により、維持管理費の削減を図る。</p> <p>①秋田県流域下水道への接続による単独公共下水道処理施設の統廃合 秋田県流域下水道との連携により、汚水処理機能を移行し、処理施設を統廃合する。</p> <p>②農業集落排水処理施設の統廃合 農業集落排水処理施設の老朽化状況・耐用年数等を考慮しながら、公共下水道への接続や隣接する処理施設を統廃合する。</p> | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | <p>①令和5年度までに、1施設（羽川浄化センター）を廃止する。</p> <p>②令和8年度までに、5か所の農業集落排水処理施設を廃止する。</p> | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

| | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|
| 取組17(新) | 旧文化会館の売却等 | | 担当 | 文化振興課 |
| 取組概要 | 旧文化会館について、民間企業等から利活用希望がなかったことから、土地の活用や売却等を進める。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 旧文化会館の土地の売却等を進める。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

| | | | | | |
|-----------------|--|-------------|----------|--------------|--------------|
| 取組18 | 公共施設のあり方の検討 | | | 担当 | 施設所管課 |
| 取組概要 | 利用実態や将来の財政負担等を考慮し、公共施設の存続・統合・譲渡・廃止について検討する。 | | | | |
| | 施設名 | 決定時期 | | 担当課 | |
| | 雄和地区コミュニティ類似施設 (雄和農林漁家婦人活動促進施設、雄和山村交流センター、雄和左手子交流センター、雄和地区北部コミュニティ施設) | 令和7年度 | | 雄和市民サービスセンター | |
| | 勤労者体育センター | 令和8年度 | | 産業企画課 | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 上記施設のあり方を決定する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

| | | | | | |
|-----------------|--|----------|----------|--------------|---------------|
| 取組19 | 公立保育所のあり方の検討 | | | 担当 | 子ども育成課 |
| 取組概要 | 雄和地区の3保育所(川添、新波、雄和中央)について、集団での活動を通じて社会性等を育む場である保育所の役割を果たすため、一定の規模を確保することから、統合を目指して必要な取組を進める。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、3保育所の統合方針を決定する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|-------|
| 取組20(新) | 花き部（中央卸売市場）の地方卸売市場への移行 | | | 担当 | 市場管理室 |
| 取組概要 | 同一敷地内にある花き部（中央卸売市場）と地方卸売市場について、運営の効率化と合理化を図るため、花き部（中央卸売市場）を地方卸売市場へ移行する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 準備・検討 | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和6年4月に、花き部（中央卸売市場）を地方卸売市場へ移行する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | － | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|---|-------|
| 取組21(新) | 未着手の都市計画施設の見直し | | | 担当 | 都市計画課 |
| 取組概要 | 未着手の都市計画施設（道路、公園）について、必要性和実現性を再検証し、存続・変更・廃止の方向性を決定のうえ、必要に応じて見直しを実施する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 未着手の都市計画施設（道路、公園）について、見直し方針を策定し、方針に基づく見直しを実施する。 | | | 指標の現状（R3年度末） | |
| | | | | （参考値） ・都市計画道路 計画数 88路線 未着手 39路線 （一部未着手路線含む） ・都市計画公園 計画数 263か所 未着手 103か所 （一部未着手公園含む） | |

| | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|
| 取組22(新) | 学校給食調理場の再編・整備計画の策定 | | 担当 | 学事課 |
| 取組概要 | 児童生徒数の減少に伴い調理規模が縮小していくことで生じる管理運営やアレルギー対応への非効率化を解消するため、再編・整備計画を策定し、再編により規模の拡大・合理化を図ることで、将来に渡り安定的で安全安心な学校給食の提供を目指す。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | 実施 | | |
| 成果指標 | 令和5年度中に、学校給食調理場に係る再編・整備計画を策定し、推進する。 | | 指標の現状 | |
| | | | — | |

3 市民満足度の向上

(1) 行政サービスの向上

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|--------------|-----|
| 取組23(新) | 総合窓口における市民の利便性向上 | | | 担当 | 市民課 |
| 取組概要 | 市民課総合窓口において、市民の利便性向上のため、デジタル技術を活用した手続の簡略化や電子申請等の拡充のほか、民間委託可能な業務の検討を進める。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、証明書等の申請手続のうち、電子申請による手続件数の割合を40%以上とする。 | | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | | 21.5% | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|---------|
| 取組24(新) | 河川防災ステーション（水防センター）の活用 | | | 担当 | 防災安全対策課 |
| 取組概要 | 近年多発する水害に対し、洪水時等の緊急対応を迅速に行うため、国と連携し緊急復旧活動の拠点となる河川防災ステーション（水防センター）を整備し、併せて市民の水防意識向上など、平常時の利用のあり方を検討することで効果的な施設の活用を目指す。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和7年度末の河川防災ステーション（水防センター）供用開始までに、水防拠点としての機能以外の利用方法を決定する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | — | |

| | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|
| 取組25 | 入札・契約制度の改善 | | 担当 | 契約課 |
| 取組概要 | <p>工事の発注に当たり、実際の工事期間の前に、建設資材の調達や労働力確保のための余裕期間を設定することにより、受注者の技術者および施工体制の計画的な確保を促進し、人材・資機材の効率的活用や担い手の処遇改善に資することを目的として、余裕期間制度を導入する。また、工事に係る業務委託の入札に、価格および価格以外の技術的な要素等を総合的に評価し、最も評価の高い者を落札者とする総合評価落札方式を導入する。</p> | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | ①令和5年度までに、余裕期間制度を導入する。 | | 指標の現状 | |
| | ②令和8年度までに、総合評価落札方式を導入する。 | | — | |

| | | | | |
|----------|---|----------|--|----------|
| 取組26 | AEDの有効活用に向けた取組強化 | | 担当 | 消防本部救急課 |
| 取組概要 | <p>AEDの取扱いを含めた救命講習会を開催するとともに、AED設置施設の職員や施設利用者に対する設置場所の認知度の向上と未設置施設への設置促進を図る。また、各種イベント等の開催時にAEDを貸出すとともに、依頼に応じて救急救命士を派遣し、初動体制を強化する。</p> | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 公衆の場で心停止となった傷病者に対する市民のAED使用率（外傷によるものを除く）を、過去の実績（平成26年度～平成29年度の4年間の平均25%）以上にする。 | | 指標の現状 | |
| | | | <p>AED使用率17%（外傷によるものを除く） ※平成30年度～令和3年度の4年間の平均</p> | |

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|--------------|---------|
| 取組27 | 119番出前講座実施 | | | 担当 | 消防本部指令課 |
| 取組概要 | 指令課員が講座実施場所に出向き、適切な通報要領や緊急時の対応等を説明するとともに、模擬送受話器を使用し、実際に即した通報体験を含めた講座を実施する。また、感染症拡大防止を考慮して、WEB開催を併せて実施していく。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、年度内の講座実施件数を50件にする。 | | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | | 7件 | |

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|-------|
| 取組28(新) | 道路除排雪に関する効果的な情報発信 | | | 担当 | 道路維持課 |
| 取組概要 | 道路除雪車両運行管理システムの改良やLINE等を活用し、市民に対しより分かりやすく効果的な道路除排雪の作業情報および除雪マナー等に関する情報発信を行う。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 町内会へのアンケートにおける、情報発信に関する満足度を前年度よりも向上させる。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

(2) 行政サービスのデジタル化

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|--------------|-----------|
| 取組29 | 電子申請可能な行政手続の拡充 | | | 担当 | デジタル化推進本部 |
| 取組概要 | 市役所に来なくても各種行政手続が可能となる「デジタル市役所」の実現を目指し、市民ニーズや他都市の状況を踏まえ、電子申請可能な行政手続の拡充を図る。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和6年度までに、全行政手続のうち電子申請による手続件数の割合を30%以上とする。 | | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | | 19.5% | |

| | | | | |
|----------|---|----------|---------------------------------|----------|
| 取組30 | マイナンバーカードの普及促進とマイナポータルやマイキー等の活用 | | 担当 | 情報統計課 |
| 取組概要 | マイナンバーカードの申請サポートやPR等により、マイナンバーカードの市民への更なる普及促進を図るとともに、マイナポータル ³¹ やマイキー ³² 等の活用に向け、庁内の推進体制を整えて、マイナンバーカードを活用した利便性の高い行政サービスの拡充を目指す。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 国の目標に準拠し、マイナンバーカードの普及率を100%とする。 | | 指標の現状 (R4年度) | |
| | | | 46.2% (141,143枚) ※令和4年4月1日現在 | |

| | | | | |
|----------|--|----------|--------------|-----------|
| 取組31(新) | デジタルデバйд対策の推進 | | 担当 | デジタル化推進本部 |
| 取組概要 | デジタルデバйдにより、電子申請の拡充等の恩恵に浴せない市民がいる状況を踏まえ、スマートフォン相談窓口およびスマホ教室の開催等を通じてデジタルデバйд対策の推進を図るとともに、市民が情報を入手しやすいプラットフォームの構築を目指す。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和5年度から7年度までの3年間で、スマホ教室等について、165コマ開催する。 | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | 36コマ (設定コマ数) | |

³¹ マイナポータル

政府が運営するオンラインサービスのことで、子育てワンストップサービスの利用や、行政機関からのお知らせの確認などができる。

³² マイキー

マイナンバーカードに搭載されている民間活用可能な電子証明書とICチップの空き領域のこと。

| | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|
| 取組32(新) | SNSやAIを活用した災害情報の集約および効果的な情報の提供 | | 担当 | 防災安全対策課 |
| 取組概要 | 災害時に、市民からのスマートフォンアプリ（LINE）を使用した位置情報を含む写真等の投稿を受け、AIを活用して地図アプリに反映させることで、市および市民が災害状況を同時に確認することを可能とする。また、電話等で市に寄せられる情報についても、市職員等が同様の方法で地図アプリへ反映させることで、効果的かつ効率的に災害の現状等を把握する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和5年度までに、市内におけるLINEを活用した情報共有と災害対策本部室での情報整理を開始する。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

| | | | | |
|----------|--|----------|-------------|-----------|
| 取組33 | オープンデータの推進 | | 担当 | デジタル化推進本部 |
| 取組概要 | 市のホームページを通じて、平成30年7月から公開しているオープンデータ ³³ （令和4年7月時点で319件公開）について、市政の透明性・信頼性の確保や市民協働の取組を推進するため、随時、2次利用可能な形で提供していく。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、オープンデータがアプリ開発などに2次利用された事例を4件とする。 | | 指標の現状（R2年度） | |
| | | | 0件 | |

³³ オープンデータ

行政が保有するデータのうち、営利・非営利を問わず二次利用可能なルールが適用され、機械判読に適しており、無償で利用できる形で公開されたデータのこと。

| | | | | |
|-----------------|--|-----------|----------|----------|
| 取組34 | 中小企業関係等申請窓口のあり方の検討 | 担当 | 商工貿易振興課 | |
| 取組概要 | 中心市街地商業集積促進事業などの各種支援策や融資あっせん制度などについて、申請者の利便性と行政サービスを向上するため、補助金の申請や、金融機関との書類のやりとり等について、デジタル化への対応に向けた調査・研究を行い、電子申請等のデジタル技術導入を検討する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | | | 実施 |
| 成果指標 | 令和8年度までに、中小企業支援業務に電子申請等のデジタル技術を導入する。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

| | | | | |
|-----------------|---|-----------|--------------|----------|
| 取組35(新) | 図書館における電子書籍の拡充 | 担当 | 中央図書館明德館 | |
| 取組概要 | 読書のバリアフリー化を推進する取組のひとつとして、これまで提供してきた図書の検索・予約サービスに加え、図書館に来館しなくても、いつでも貸出し・返却ができる電子書籍のサービスを新たな図書館システムで提供する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 前年度を上回る電子書籍を提供する。 | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | 電子書籍環境なし | |

4 受益と負担の適正化

(1) 受益と負担の適正化

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|-----|
| 取組36(新) | 受益と負担の適正化 | | | 担当 | 総務課 |
| 取組概要 | 本市が提供する行政サービスの利用に係る受益と負担の適正化を一層推進するため、定期的にサービスに要する費用等を把握し、社会経済情勢を勘案しながら、施設使用料や事務手数料の見直しを検討する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | サービスに要する費用等を把握し、使用料等の見直しを検討する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

II 財政運営の改革

1 財政基盤の確立

(1) 中・長期財政見通しに基づく財政運営の推進

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|--|-----|
| 取組37 | 中・長期財政見通しの活用による財政運営の健全性の確保 | | | 担当 | 財政課 |
| 取組概要 | 当初予算をベースに、今後予定されている制度改正や大規模事業および公共施設等総合管理計画で想定される公共施設の改修に係る経費等を見込んだ中・長期財政見通しを毎年作成し、次年度以降の予算フレームとして活用する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 主要2基金（財政調整基金および減債基金）の残高について、毎年度一般会計予算規模の5%程度を維持する。 | | | 指標の現状（令和4年5月現在） 一般会計予算規模の4.8%（2基金残高6,531,567千円、予算規模136,850,000千円） | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|-----------------------------|-----|
| 取組38 | 市債残高の抑制 | | | 担当 | 財政課 |
| 取組概要 | 事業の年度間調整等により市債充当の平準化や新規発行の抑制に努めるとともに、各年度における市債の発行額を元金償還額を超えない範囲にするなど、市債残高を抑制する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度末の市債残高を1,458億円以下に抑制する。 | | | 指標の現状（R3年度末） 市債残高1,447億円 | |

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|--------------------------------|-----|
| 取組39(新) | 減債基金の積立て | | | 担当 | 財政課 |
| 取組概要 | 減債基金の残高や今後の市債発行に伴う償還を勘案し、市債の償還に必要な財源を確保する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、18億円積立てる。 | | | 指標の現状（令和4年5月現在） 2,306,672千円 | |

(2) 特定目的基金の見直し

| | | | | |
|------------|---|------------------|------------|----------|
| 取組40 | 特定目的基金の積立て | 担当 | 財政課ほか基金所管課 | |
| 取組概要 | 特定目的基金の残高や今後の事業計画の見込みなどを勘案し、設置目的に応じた必要額の確保等を図る。 | | | |
| 特定目的基金名 | 令和5～令和8年度の累計積立額 | 概要 | | |
| 公立大学法人支援基金 | 4億円 | 大学施設の修繕等のため | | |
| 地域振興基金 | 3億円 | 保健福祉活動事業等のため | | |
| 公共施設等整備基金 | 14億円 | 公共施設等の改修等のため | | |
| 公共交通活性化基金 | 5億円 | 公共交通の利便性向上事業等のため | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、上記の積立てを実施する。 | | 指標の現状 | |
| | | | — | |

(3) 市出資団体の経営の健全化

| | | | | |
|----------|---|----------|---------------|----------|
| 取組41 | 市出資団体の経営の健全化 | 担当 | 総務課ほか市出資団体所管課 | |
| 取組概要 | 市が出資する公社・第三セクターについて、それぞれの課題を把握し、必要に応じて経営の健全化に向けた具体策を順次実施する。 | | | |
| | 対象団体 | 所管課 | | |
| | (公財) 秋田市総合振興公社 | 総務課 | | |
| | (一財) 秋田市勤労者福祉振興協会 | 企業立地雇用課 | | |
| | (公財) 秋田観光コンベンション協会 | 観光振興課 | | |
| | (一財) 秋田市駐車場公社 | 都市総務課 | | |
| | 河辺地域振興(株) | 観光振興課 | | |
| | (株) 雄和振興公社 | 観光振興課 | | |
| | 太平山観光開発(株) | 建設総務課 | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 債務超過団体を0にする。 | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | 2団体 | |

2 歳入の確保

(1) 新規財源の開拓

| | | | | |
|----------|--|----------|--------------------------------------|----------|
| 取組42 | 新規財源の開拓 | 担当 | 財政課 | |
| 取組概要 | 広告料や貸付料をはじめとした新規財源をさらに開拓するため、「新規財源検討連絡協議会」において検討を重ねながら、他都市の先進事例や民間の発想を取り入れるなど、新たな視点のもとで財源確保に向けた取組を進める。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 広告料収入等の新規財源およびふるさと納税について、前年度を上回る収入額を確保する。 | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | 広告料等の新規財源92,115千円 ふるさと納税586,519千円 | |

| | | | | |
|--------------|--|----------|------------------------------|----------|
| 取組43 | ガバメントクラウドファンディング・ 企業版ふるさと納税の推進 | 担当 | 人口減少・移住定 住対策課 | |
| 取組概要 | 実施事業を具体的に示して寄附を募る取組として、ガバメントクラウドファンディング（G C F）のほか、企業版ふるさと納税を推進し、新規財源の開拓に努める。 | | | |
| 取組 スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和8年度まで4年間の寄附総額580万円を確保する。 | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | G C F 72万円 企業版ふるさと納税 10万円 | |

(2) 適正な債権管理と未収金の解消

| | | | | |
|--------------|--|----------|---------------------|----------|
| 取組44 | 滞納整理の推進 | 担当 | 特別滞納整理課 | |
| 取組概要 | 市が所管する債権の管理について、適切かつ効率的な徴収につながる指導・助言、体制強化の側面支援、未収金対策連絡協議会幹事会の開催による情報共有を行うことにより、滞納整理の推進を図る。 | | | |
| 取組 スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 前年度を下回る収入未済額（国・ 県支出金等除く） | | 指標の現状 | |
| | | | R3年度決算額 5,401,621千円 | |

| | | | | |
|----------------------|--|----------|-----------|--------------|
| 取組45 | 市税等の収入率向上 | | 担当 | 納税課ほか |
| 取組概要 | 税等の滞納を未然に防止するほか、納付指導や滞納処分により滞納整理の強化を図り、未収金の解消と収入率の向上を図る。 | | | |
| | 名称 | | | 令和3年度 収入率 |
| | 市税（納税課） | | | 99.1% |
| | 国民健康保険税（国保年金課） | | | 91.8% |
| | 後期高齢者医療保険料（後期高齢医療課） | | | 99.4% |
| | 生活保護費返還金（保護第一課・第二課） | | | 79.2% |
| | 生活保護費徴収金（保護第一課・第二課） | | | 13.5% |
| | 介護保険料（介護保険課） | | | 99.1% |
| | 私立保育所保護者負担金（子ども育成課） | | | 99.8% |
| | 公立保育所保護者負担金（子ども育成課） | | | 100.0% |
| | 公営住宅使用料（住宅整備課） | | | 97.3% |
| | 水道料金・下水道使用料等（お客様センター） | | | 99.5% |
| 取組 スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 前年度を上回る収入率（現年度） | | 指標の現状 | |
| | | | — | |

(3) 財産の適正管理と有効活用

| | | | | |
|----------------------|---|----------|-------------|----------------|
| 取組46 | 未利用資産の売却 | | 担当 | 財産管理活用課 |
| 取組概要 | 未利用資産の一般競争入札による売払いを促進し、歳入の確保を図る。また、入札参加者の増加による競争性を確保するため、周知方法の多様化を検討する。 | | | |
| 取組 スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 各年度31,980千円の売払い収入を確保する。 | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | 261,309千円 | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|-----|
| 取組47 | 基金の効率的な運用 | | | 担当 | 会計課 |
| 取組概要 | 本市の中・長期財政見通しにおいて、基金残高の減少が見込まれる状況にあることから、秋田市資金管理方針に基づき、安全性、流動性、効率性の確保を原則としつつ、長期債券による運用など、効率的な基金の運用を検討・実施し、運用収入を確保する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 効率的に基金を運用する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | — | |

3 歳出の見直し

(1) 公共施設等に係るコスト縮減

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|-------------|-------|
| 取組48 | 事前協議による公共工事のコスト縮減 | | | 担当 | 工事検査室 |
| 取組概要 | 秋田市公共工事コスト縮減要綱に該当する事業を対象に、予算要求段階において基本設計（原案）の内容や概算工事費等を確認する事前協議を行い、コスト縮減に係るノウハウの蓄積と意識の定着を図ることで、本市が発注する工事におけるコスト縮減を推進する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 事前協議における毎年度のコスト縮減率が1.5%を超えないようにする。 | | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | | 1.7% | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|--------------------------------------|-------|
| 取組49(新) | 再生可能エネルギー活用による電力コスト抑制とグリーン化 | | | 担当 | 環境総務課 |
| 取組概要 | <p>市有施設で使用する電力について、以下の取組を実施することで料金の上昇抑制や温室効果ガスの削減を図る。</p> <p>①現在、売却先を特定せずに売電している総合環境センターの余剰電力について、令和6年度までに、民間の発電小売事業者を通じて市有施設に特定して売電する。</p> <p>②国の脱炭素先行地域に採択された向浜汚泥再生処理センターについて、令和8年度までに、国の支援を受けて新たに設置する太陽光発電施設のほか、秋田県が設置する発電施設からの電力供給を受ける。</p> | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 上記の取組前と比較し、電気料金の抑制とCO2排出量の削減効果を得る。 | | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | | 電気料金 13億8252万円 CO2排出量 26,666t-CO2 | |

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|-------------------------------|-------|
| 取組50 | 省エネ推進による公共施設におけるコスト縮減 | | | 担当 | 環境総務課 |
| 取組概要 | <p>エネルギー集計システムを活用したエネルギー使用の量および料金の可視化と、専門技術者による省エネ支援の実施により、公共施設での省エネを推進する。</p> | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | ①エネルギー使用料金 ②CO2排出量 について、年平均1%削減する。 | | | 指標の現状 (R3年度) | |
| | | | | ①2,396,130千円 ②56,353 t-CO2 | |

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|-----------------------|-------|
| 取組51(新) | 公共施設への太陽光発電システムの設置 | | | 担当 | 環境総務課 |
| 取組概要 | 発電事業者負担により公共施設の屋根等に太陽光発電システムを設置し、発電した電力を当該公共施設へ供給する無償設置型太陽光発電事業により、再生可能エネルギーの導入と年間電気料金の削減を進める。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、設置施設数を4件以上とし、設置施設における年間電気料金単価を3%削減する。 | | | 指標の現状(R3年度) | |
| | | | | 1件設置(年間の電気料金単価を17%削減) | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------------------|---------|
| 取組52(新) | 公用車保有台数等の見直し | | | 担当 | 財産管理活用課 |
| 取組概要 | 財産管理活用課が保有している公用車について、運行データを収集・分析して今後の公用車保有更新計画を策定し、保有台数および車種比率の適正化を一層推進する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 準備・検討 | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和6年度までに、公用車保有更新計画を策定し、計画に基づく取組を実施する。 | | | 指標の現状(令和4年3月現在) | |
| | | | | (参考値) 公用車保有台数 57台 | |

Ⅲ 組織・執行体制の改革

1 適正かつ効率的な組織体制の構築

(1) 組織体制の最適化

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|-----|
| 取組53 | 組織機構の見直し | | | 担当 | 総務課 |
| 取組概要 | 創生プランの施策体系に沿った組織機構のあり方を検討するとともに、新たな行政課題に対応できるよう組織機構の見直しを行う。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 社会情勢の変化や行政課題に対応した効果的かつ効率的な組織機構を構築する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|---|---------|
| 取組54 | 消防体制の最適化 | | | 担当 | 消防本部警防課 |
| 取組概要 | <p>以下の取組により、効果的・効率的に災害対応能力を発揮できる体制を整備する。</p> <p>①消防団の組織体制の見直し 消防団員の確保が困難な地域がある現状に対応するため、班組織や器具置場を統廃合し、人員と資機材を集約する。</p> <p>②消防力の適正配置 消防署所の統合や、消防車両の適正配置に取り組む。</p> | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | <p>①消防団組織再編計画に基づき、地域の消防力として機能する団員数と資機材を備えた班組織に見直す。</p> <p>②適正な配置を検討し、署所の統合に着手する。</p> | | | 指標の現状（令和4年度） | |
| | | | | <p>①秋田市消防団 32分団 165班、157か所</p> <p>②14署所</p> | |

(2) 職員数の適正管理

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|-------------|-----|
| 取組55 | 職員数の適正管理 | | | 担当 | 人事課 |
| 取組概要 | 市政を取り巻く環境の変化に柔軟に対応した定員管理を行う。また、定年年齢の延長により、60歳を超える役職定年職員等の増加が見込まれるため、その経験や知識を活用できる部門に配置しながらも、職員の年齢構成等を考慮した新規採用を行う。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 職員数2,490人（再任用職員および役職定年職員等を除く。）を基本とする。 | | | 指標の現状（R4年度） | |
| | | | | 2,450人 | |

(3) 多様な人材の育成・活用

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|--|-----|
| 取組56 | 職員の働き方の検証 | | | 担当 | 人事課 |
| 取組概要 | 柔軟で多様な働き方を推進することにより、職員一人ひとりがいきいきと働くことができる環境をつくり、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図る。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 前年度を下回る時間外勤務時間 | | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | | 職員1人当たりの時間外勤務時間 令和3年度：135.5時間／年 （前年度比+18.2%） | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|-------------|
| 取組57 | 時代の変化や行政課題に対応できる人材の育成 | | | 担当 | 人事課自治研修センター |
| 取組概要 | 取り巻く環境変化に対応し、デジタル化推進など新たな時代の要請に応える行政運営を進めるための人材育成策と研修体系を構築し、人事評価制度と連携した職員研修等の充実を図る。また、秋田市人材育成基本方針および秋田市職員研修実施計画を見直し、改訂する（令和4年度～令和7年度の4か年方針・計画）。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和7年度に、秋田市人材育成基本方針および秋田市職員研修実施計画の内容を見直し、改訂する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | — | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|-------------|-----|
| 取組58 | 女性管理職の登用拡大 | | | 担当 | 人事課 |
| 取組概要 | 女性職員のさらなる活躍推進や仕事と生活の調和の推進に向けた意識啓発等の取組を実施するほか、将来の管理職を担う人材を育成するため、個々に応じてキャリア形成を考慮した人事運用を行う。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、女性管理職（課長級以上）の割合を20.0%とする。 | | | 指標の現状（R4年度） | |
| | | | | 16.9% | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|-------------|---------|
| 取組59(新) | 女性消防吏員の増員 | | | 担当 | 消防本部総務課 |
| 取組概要 | 「秋田市消防本部女性消防吏員の増員計画」に基づき、採用拡大に取り組むほか、増加を踏まえた職域の拡大に取り組むことで、女性消防吏員の活躍を推進し、女性の力を最大限に活用して消防組織の活性化を図り、市民サービスの向上を目指す。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、女性消防吏員を15名以上とする。 | | | 指標の現状（R4年度） | |
| | | | | 11名 | |

2 執行体制の見直し

(1) 適正な業務遂行体制の構築

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|-------------|-----|
| 取組60 | 内部統制の取組の推進 | | | 担当 | 総務課 |
| 取組概要 | 法令遵守のもと、効果的・効率的に職務を遂行する環境づくりを進めるため、職員が業務に係るリスクを分析・評価し、コントロールする取組を推進し、適正な事務の管理および執行を確保する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 不適正な事務処理等（重大な不備）の件数を0件にする。 | | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | | 3件 | |

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|-------|
| 取組61(新) | 応急仮設住宅建設に係る執行体制の整備 | | | 担当 | 住宅整備課 |
| 取組概要 | 大規模災害時に使用する仮設住宅の建設について、効果的・効率的に対応できるよう、建設候補地のデータおよび行動マニュアルを整備する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 準備・検討 | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和6年度までに、建設候補地データおよび行動マニュアルを整備する。 | | | 指標の現状 | |
| | | | | - | |

| | | | | | |
|----------|--|----------|----------|-------------|---------|
| 取組62 | 防火対象物に対する査察体制の充実 | | | 担当 | 消防本部予防課 |
| 取組概要 | 火災予防に関する高度な知識や技術を有する予防技術資格者について、更なる人材育成と合理的な人員配置に努め、消防法令等違反に対する是正推進と、査察体制の充実強化を図るとともに、当該資格者の配置不足と将来減を補完するため計画的に増員する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、新たに16人の予防技術資格者を認定する。 | | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | | 予防技術資格者71人 | |

(2) 業務の集約化および効率化

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|-------|
| 取組63(新) | 公印の押印省略の拡大に係る検討および実施 | | | 担当 | 文書法制課 |
| 取組概要 | 一部の文書については、公印の押印を省略して施行しているが、業務の効率化を図るため、対象となる文書の範囲の拡大およびその場合の事務の取扱いを検討し、および実施する。 | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 準備・検討 | | | 実施 | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、実施可能と判断したものについて、公印省略を実現する。 | | 指標の現状 | | |
| | | | - | | |

| | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|-------|
| 取組64(新) | 業務へのドローンの活用 | | | 担当 | 業務所管課 |
| 取組概要 | <p>ドローンの活用により、効果的かつ効率的に業務を遂行する。</p> <p>①各消防署等へのドローンの配置（消防本部指令課） 災害監視システム（セリオン・アトリオン・豊岩の各高所カメラ）の廃止・撤去の代替として、各消防署（4署）にドローンを配置するほか、消防本部指令課に配置しているドローンを更新し、映像による災害活動支援および検索活動へ活用する。</p> <p>②施設点検へのドローンの活用（上下水道局総務課） 配水場などの大型構造物や水管橋、橋梁添架管等の点検へ活用する。</p> | | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) | |
| | 実施 | | | | |
| 成果指標 | ①令和8年度までに、4署へ配置し、指令課のドローンを更新する。 | | 指標の現状 | | |
| | ②令和8年度までに、ドローンを活用した施設点検を計8か所で実施する。 | | - | | |

| | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|
| 取組65(新) | し尿および浄化槽汚泥の広域処理 | | 担当 | 環境総務課 |
| 取組概要 | 男鹿市と潟上市からの申入れを受け入れ、令和10年度から秋田市の汚泥再生処理センターでし尿等の広域処理を行い、両市から手数料を得ることで維持管理費用の負担軽減を図る。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | | | 実施 |
| 成果指標 | 令和8年度までに、両市が負担するし尿等処理手数料を算定し、令和10年度以降の維持管理費用の負担軽減額を確定する。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

| | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|
| 取組66(新) | 汚水中継ポンプ場集中監理による維持管理体制の再編 | | 担当 | 下水道施設課 |
| 取組概要 | 川口汚水中継ポンプ場の監視制御設備が老朽化による更新時期を迎えることから、同ポンプ場で監視制御している中島、外旭川、新屋、馬場、土崎の各ポンプ場と旭橋返送ポンプ場の7施設の監視制御機能を八橋汚水中継ポンプ場へ統合し、計8施設の運転監視ができる体制を構築することで、維持管理体制の効率化と維持管理費の削減を図る。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | 実施 | | |
| 成果指標 | 令和6年度に監視制御設備の更新工事を発注し、令和8年度に完成する。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

3 業務のデジタル化

(1) 業務のデジタル化

| | | | | |
|----------|--|----------|-------------|-----------|
| 取組67(新) | 先端技術活用による事務効率化 | | 担当 | デジタル化推進本部 |
| 取組概要 | RPAやAI-OCR ³⁴ 、議事録作成ツールや動画作成ツール等の先端技術を利用して事務の効率化およびICTスキルの向上を図る。また、効率化事例の共有を行い業務効率化への意識を醸成する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 基準年度(令和3年度)を上回る秋田市デジタル化推進計画の基本方針「先端技術を活用した取組」の個別施策数 | | 指標の現状(R3年度) | |
| | | | 15件 | |

| | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|
| 取組68(新) | 財務会計事務の効率化 | | 担当 | 会計課 |
| 取組概要 | 効率的な事務処理体制の構築に向け、令和8年9月に予定されている財務会計システムの更新に併せて、予算執行業務への電子決裁の導入を検討する。 | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | | | 実施 |
| 成果指標 | 令和8年度までに、予算執行業務へ電子決裁を導入する。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

³⁴ OCR

Optical Character Reader の略で、手書き、印刷された文字や数字を読み取る光学式文字読み取り装置のこと。AIの技術を掛け合わせるにより文字認識率の向上や読み取り位置の自動調整等ができるものをAI-OCRという。

(2) 情報システムの最適化

| | | | | |
|----------|---|-------------|----------|----------|
| 取組69(新) | 自治体情報システムの標準化 | 担当 | 情報統計課ほか | |
| 取組概要 | 自治体の主要な事務として、国が標準化の対象として定める20事務について、標準仕様に適合したシステムへ移行する。また、移行に当たっては、国が整備・運用を予定しているクラウドサービス「ガバメントクラウド」の利用も検討する。 | | | |
| | 事務名 | システム所管課 | | |
| | ①住民基本台帳 | 情報統計課 | | |
| | ②選挙人名簿管理 | | | |
| | ③固定資産税 | | | |
| | ④個人住民税 | | | |
| | ⑤法人住民税 | | | |
| | ⑥軽自動車税 | | | |
| | ⑦国民年金 | | | |
| | ⑧国民健康保険 | | | |
| | ⑨児童手当 | | | |
| | ⑩児童扶養手当 | | | |
| | ⑪印鑑登録 | | | |
| | ⑫就学 | 学事課 | | |
| | ⑬後期高齢者医療 | 後期高齢医療課 | | |
| | ⑭介護保険 | 介護保険課 | | |
| | ⑮障害者福祉 | 障がい福祉課 | | |
| | ⑯生活保護 | 保護第一課・保護第二課 | | |
| | ⑰健康管理 | 保健予防課 | | |
| | ⑱子ども・子育て支援 | 子ども育成課 | | |
| | ⑲戸籍 | 市民課 | | |
| | ⑳戸籍の附票 | 市民課 | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | | 実施 | |
| 成果指標 | 令和8年度までに、対象の20事務を順次標準化する。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

| | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|
| 取組70(新) | ごみ集積所管理システムのクラウド化 | | 担当 | 環境都市推進課 |
| 取組概要 | <p>システム運用の安全性・安定性および行政事務の効率化を図るため、現在、以下の3件で構成しているごみ集積所管理システムに係る契約を見直し、クラウド化することを検討する。</p> <p>①サーバーのリース（令和2年8月1日～令和7年7月31日）</p> <p>②システムの保守管理業務（毎年度）</p> <p>③最新版住宅地図のライセンス購入（毎年度）</p> | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 準備・検討 | | 実施 | |
| 成果指標 | 令和7年度から、新システムを稼働させる。 | | 指標の現状 | |
| | | | - | |

| | | | | |
|----------|---|----------|-------------|----------|
| 取組71(新) | 合併処理浄化槽台帳システムの高度化 | | 担当 | 環境保全課 |
| 取組概要 | <p>法定検査や保守点検等を受けていない合併処理浄化槽の指導に際し、既存の台帳システムは、GIS³⁵機能を搭載していないため、設置場所や管理状況の確認に時間を要し、速やかな指導に支障が生じている。そのため、上下水道統合型GISシステムに合併処理浄化槽の情報を加え、台帳システムを高度化することで、一地区の合併処理浄化槽の確認に要する時間を短縮し、効率よく速やかな指導を可能とする。</p> | | | |
| 取組スケジュール | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| | 実施 | | | |
| 成果指標 | 令和5年度に、合併処理浄化槽台帳システムを高度化し、令和6年度から浄化槽管理者への指導件数を毎年度200件以上とする。 | | 指標の現状（R3年度） | |
| | | | 74件 | |

³⁵ GIS

Geographic Information System の略で、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示することで、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術のこと。

第3 資料

【用語解説】

あ行

秋田市人口ビジョン（P2、P3）

本市の人口の現状と将来の目指すべき姿を示したもの。目指すべき姿の実現に向けた基本的な方向や具体的な施策をまとめた「秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年(2016)3月)」と合わせて策定した後、令和3年3月に改訂した。

維持補修費（P3、P4）

施設の効用を維持するために必要となる点検、補修、修繕に要する経費のこと。

オープンシステム（P7）

仕様が公開された製品で構成されるシステム。

オープンデータ（P28）

行政が保有するデータのうち、営利・非営利を問わず二次利用可能なルールが適用され、機械判読に適しており、無償で利用できる形で公開されたデータのこと。

か行

ガバメントクラウドファンディング（P6、P10、P34）

地方自治体や政府が、インターネット上で実施事業やプロジェクトを具体的に示し、共感した人から寄附を募る仕組みのこと。

企業版ふるさと納税（P10、P34）

地方公共団体に対する寄附金のこと、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除される制度。

行政サービス（P8、P9、P24、P26、P27、P29、P30）

行政(市)が提供するサービスの総称のこと。

クラウド化（P5、P7、P11、P47）

情報システムのハードウェア、ソフトウェア、データなどを外部のデータセンター等において管理・運用し、ネットワーク経由で利用することができるようにする取組のこと。

ゲートキーパー（P15）

自殺の危険を示すサインに気づき、必要な支援につなぎ、見守る等の適切な対応ができる人（命の門番）のこと。

減債基金（P3、P31）

地方債の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられる基金のこと。

県都『あきた』創生プラン（P1、P2、P8、P39）

本市の総合的かつ計画的な行政運営を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間の計画期間を通した目標とそれを実現するための基本的な考え方を示した第14次秋田市総合計画のこと。

公共サービス（P1、P2、P6、P8、P13）

行政のみならず、NPO等を含む民間によっても提供される公共的なサービスの総称のこと。NPOとはNon-Profit Organizationの略で、継続的・自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称のこと。

さ行

財政調整基金（P3、P31）

地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金のこと。

サウンディング型市場調査（P8）

事業発案段階や事業化段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法のこと。

施設カルテ（P18）

施設の用途、面積、コスト情報、劣化度など、施設ごとの情報をまとめた個票のこと。

シティプロモーション（P7）

自らの住む地域に関わる当事者意識を持った人を増やし、市民をはじめ市内内外の人々から、秋田市を好きになってもらう取組のこと。

市民サービス（P1、P8、P9、P41）

市民が受けるサービスの総称のこと。ここでは、地方自治法にある「住民福祉」を意味する。同法では、地方公共団体は住民福祉の増進を図ることを基本とすることが規定されている。

た行

デジタルデバイド（P9、P27）

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

投資的経費（P3、P4）

公共施設などを建設し資本形成に資するための経費のこと。

特定目的基金（P6、P9、P32）

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるために設置される基金のこと。

な行

内部統制（P7、P10、P42）

組織の内部をコントロールして不祥事や事故を防ぐこと。組織が持続的、安定的に成長するために、内部でコントロール(統制)すること。

ネーミングライツ（命名権）（P6）

契約により施設等の名称に企業名又は商品名等を冠した愛称を付与させる代わりに、ネーミングライツを取得した企業等から対価を得て、施設等の運営維持などに充てる手法のこと。

は行

汎用機システム（P7）

メーカー独自仕様の製品で構成される大型汎用コンピュータを利用したシステム。本市では、住民記録や税務などの業務に利用している。

フレイル（P15）

年を取って心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態のこと。

フレイルサポーター（P15）

市民に対するフレイルチェックの準備、進行、測定、結果説明を行う市民サポーターのこと。

ま行

マイキー（P27）

マイナンバーカードに搭載されている民間活用可能な電子証明書と I C チップの空き領域のこと。

マイナポータル（P27）

政府が運営するオンラインサービスのことで、子育てワンストップサービスの利用や、行政機関からのお知らせの確認などができる。

ら行

臨時財政対策債（P3）

地方公共団体の一般財源不足を補うため、地方財政法の規定に基づき、特別に発行を認められた地方債のこと。将来支払うべき元利償還金は、後年度の地方交付税としてその全額が措置される。

アルファベット

A I（P5、P28、P45）

Artificial Intelligence の略で、人工知能のこと。

G I S（P47）

Geographic Information System の略で、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示することで、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術のこと。

I C T（P5、P45）

Information Communication Technology の略で、情報通信技術のこと。

O C R（P45）

Optical Character Reader の略で、手書き、印刷された文字や数字を読み取る光学式文字読み取り装置のこと。A I の技術を掛け合わせることで文字認識率の向上や読み取り位置の自動調整等ができるものを A I - O C R という。

Park-PFI (P17)

公募により公園内に収益施設を設置する者を決定し、園路などの周辺公園施設と一体的に整備することで、許可期間の延伸等の特例が受けられる、民間提案による収益還元型の公園施設事業運営制度である。

PPP/PFI (P5、P17)

PPP (Public Private Partnership) とは、官民が連携して公共サービスの提供を行う手法で、この中にPFI、指定管理者制度、包括的業務委託、民設公営等が含まれる。PFI (Private Finance Initiative) とは、公共施設等の建設、維持管理、運営に民間の資金とノウハウを活用することにより、整備等に係るコストを縮減する手法のこと。

RPA (P5、P45)

Robotic Process Automation の略で、定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化する技術のこと。